

生涯学習に関する基礎調査報告書

(素 案)

令和8年2月
大田区

目次

第1章 アンケート調査実施概要.....	1
1. 調査目的.....	1
2. 調査の実施概要.....	1
3. 調査内容.....	1
4. 報告書の見方.....	2
5. 標本誤差.....	2
第2章 区民アンケート調査結果.....	3
1 学ぶことの意識について.....	3
2 生涯学習について.....	6
3 普段の生活について.....	27
4 大田区の生涯学習施策・事業について.....	34
5 基本属性.....	56
第3章 社会教育関係団体アンケート調査結果.....	62
1 団体全般について.....	62
2 団体の活動内容について.....	65
3 大田区の生涯学習施策・事業について.....	77
第4章 団体ヒアリング調査実施概要・調査結果.....	86
1. 調査概要.....	86
2. 調査結果.....	86
資料編（調査票）.....	87
1. 区民アンケート調査.....	87
2. 社会教育関係団体アンケート調査.....	95

第1章 アンケート調査実施概要

1. 調査目的

本調査は、区民の日頃の学習活動や地域での活動状況、学びに関わるニーズ、社会教育関係団体における活動実態等を把握するため、区民と社会教育関係団体を対象にしたアンケート調査を実施しました。

2. 調査の実施概要

	区民アンケート調査	社会教育関係団体アンケート調査
調査対象	大田区在住の満18歳以上の区民	区に登録している社会教育関係団体
抽出方法	住民基本台帳からの層化無作為抽出	全数※
調査方法	郵送による配付・回収、WEB回収併用	郵送による配付・回収、WEB回収併用
配布数	3,000名	1,948団体
有効回収数	1,236名 (郵送：585名、WEB：651名)	1,382団体 (郵送：910団体、WEB：472団体)
有効回収率	41.2%	70.9%
調査期間	令和7年(2025年)10月1日～10月31日	

※社会教育関係団体アンケート調査は、令和7年(2025年)3月末時点で更新が済んでおり、令和7年8月1日時点で解散していた団体を除いた社会教育関係団体全数を対象としています。

※前回調査の有効回収数及び有効回収率は、区民が1,164名で38.8%、団体が1,203団体で65.0%でした。

3. 調査内容

区民アンケート調査	社会教育関係団体アンケート調査
○学ぶことの意識について	○団体全般について
○生涯学習について	○団体の活動内容について
○普段の生活について	○大田区の生涯学習施策・事業について
○大田区の生涯学習施策・事業について	
○回答者情報	

4. 報告書の見方

- 1 図表中のnとは、回答者総数（または該当設問での該当者数）のことです。
- 2 集計は、小数点第2位を四捨五入しており、数値の合計が100.0%にならない場合があります。
- 3 回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出しました。したがって、複数回答の設問は全ての比率を合計すると100.0%を超える場合があります。
- 4 本報告書では、性別、年齢別など、比較分析を必要に応じて行っています。ただし、サンプルサイズが30未満と少ないものについては、集計結果を参考程度にとどめ、本文中のグラフ・表に示していますが、分析対象からは除きます。
- 5 本文や図表内の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化しています。
- 6 前回調査は、令和3年（2021年）7～8月に実施した調査結果をまとめた調査報告書からの引用です。

5. 標本誤差

今回の社会教育関係団体アンケート調査は、全数調査です。一方、区民アンケート調査は、区民全体の母集団の中から、地域、年齢の層別に無作為抽出した方を対象に実施した標本調査です。

標本誤差は、全数調査では生じませんが、標本調査では生じます。すなわち、仮に母集団を対象に調査を実施した場合の結果と、標本調査で実施した結果の値との間で想定される差が、標本誤差となります。

標本誤差は、以下の式で得られ、比率算出の基数、回答の比率によって誤差範囲が異なります。回答比率は、ある設問の1つの選択肢に対して得られた回答者の割合です。信頼率95%と設定した場合の定数は1.96となります。

$$\text{標本誤差} = \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}} \times 1.96$$

N：母集団数、n：サンプルサイズ（有効回答数）、p：回答比率

この計算式に従って算出される本調査の標本誤差は以下のとおりとなります。

【区民アンケート調査での標本誤差】

回答比率 n	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
1,236	1.7±	2.2±	2.6±	2.7±	2.8±

※例えば、1,236人が回答した設問の中で、ある選択肢の回答割合が50%の場合、標本誤差は±2.8になるので、仮に母集団（今回の調査では、令和7年8月時点での654,297名）を対象に調査した場合の結果は、95%の確率で、47.2%～52.8%の範囲にあることを示しています。

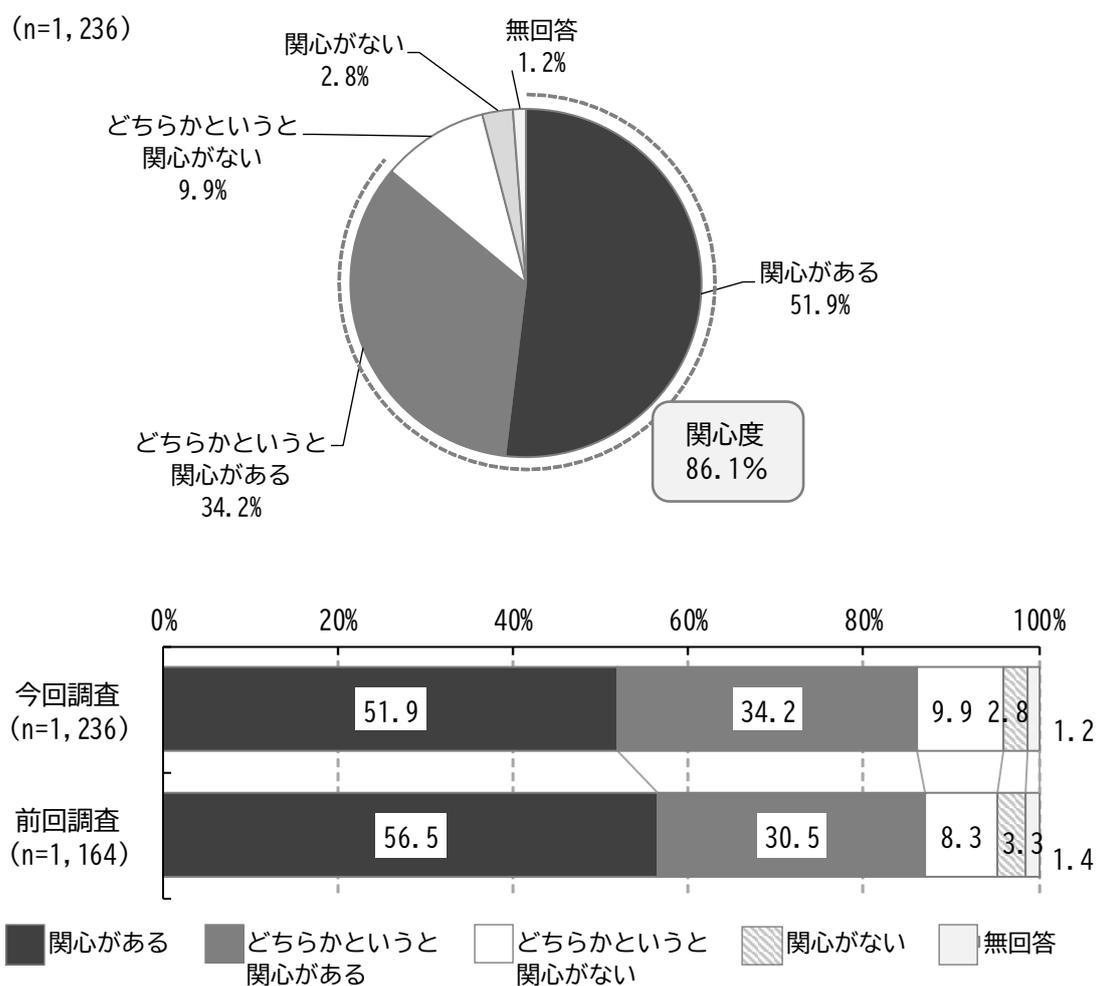
第2章 区民アンケート調査結果

1 学ぶことの意識について

問1 あなたは、何かを学ぶことに関心がありますか。(〇は1つ)

○学ぶことに対する関心度(「関心がある」と「どちらかというに関心がある」の合計)は、86.1%を占めています。

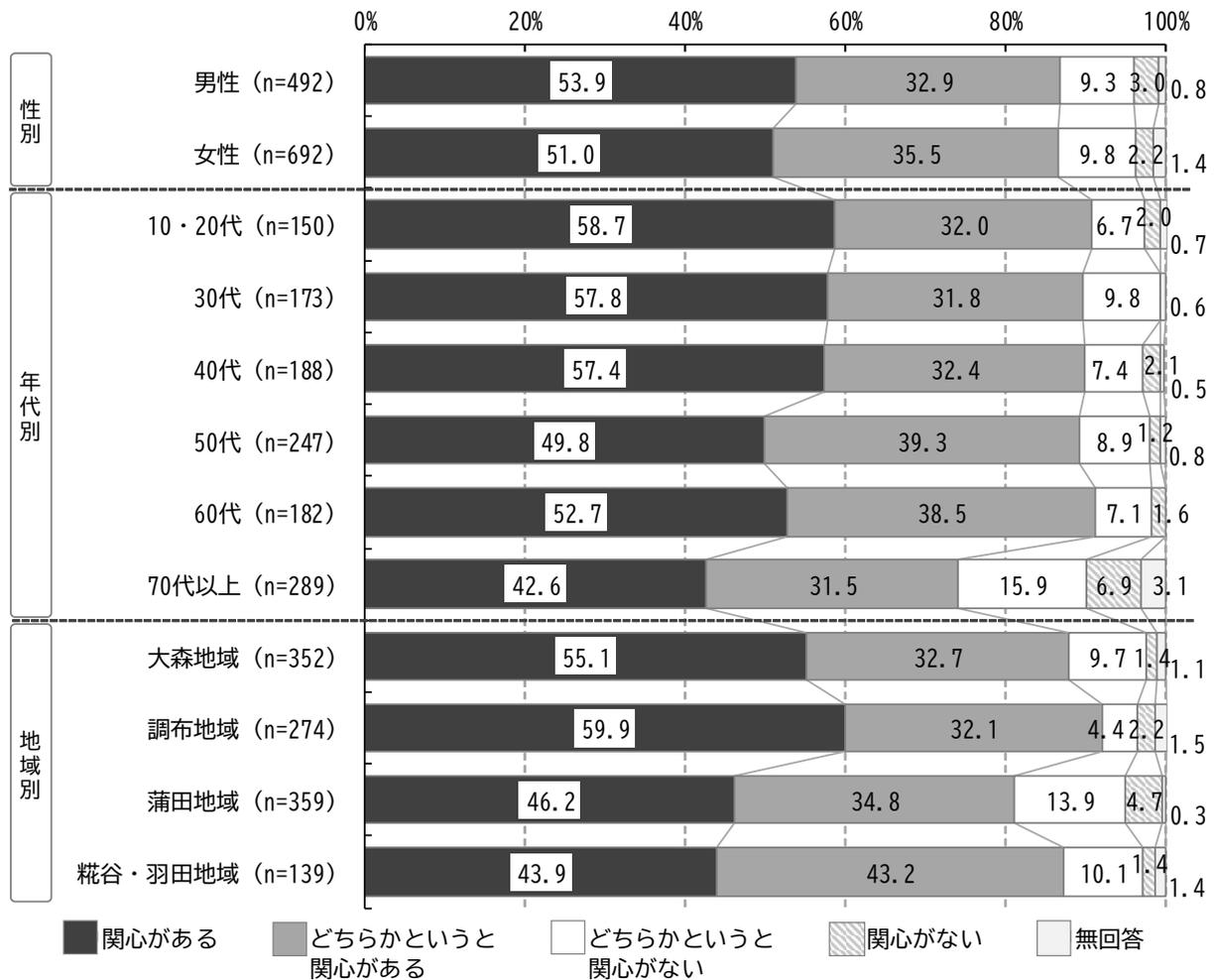
○前回調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっています。



○性別では、「男性」「女性」ともに関心度は同程度となっています。

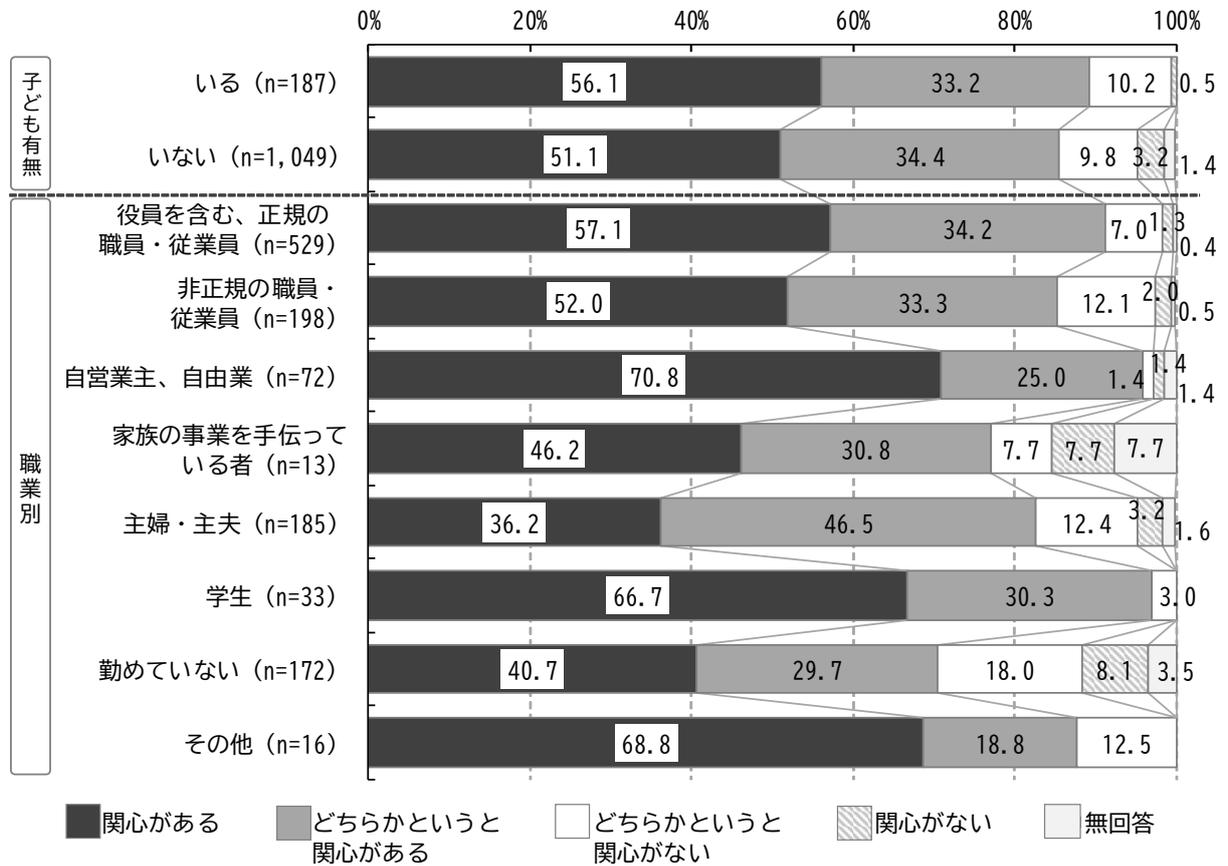
○年代別では、「60代」(91.2%)の関心度が最も高く、次いで「10・20代」(90.7%)となっています。

○地域別では、「調布地域」(92.0%)の関心度が最も高くなっています。



※クロス集計では、無回答及び回収数が少ない項目を除いています。以下、同様。

○子ども有無別では、「いる」が「いない」よりも関心度は3.8ポイント高くなっています。
 ○職業別では、「学生」「自分で、または共同で事業を営んでいる自営業主、自由業」「役員を含む、正規の職員・従業員」で関心度が9割を超えています。



※「子ども有無」は、「いる」は「未就学児もしくは小学生と一緒に暮らす方（両方を含む）」、「いない」はそれ以外。以下、同様。

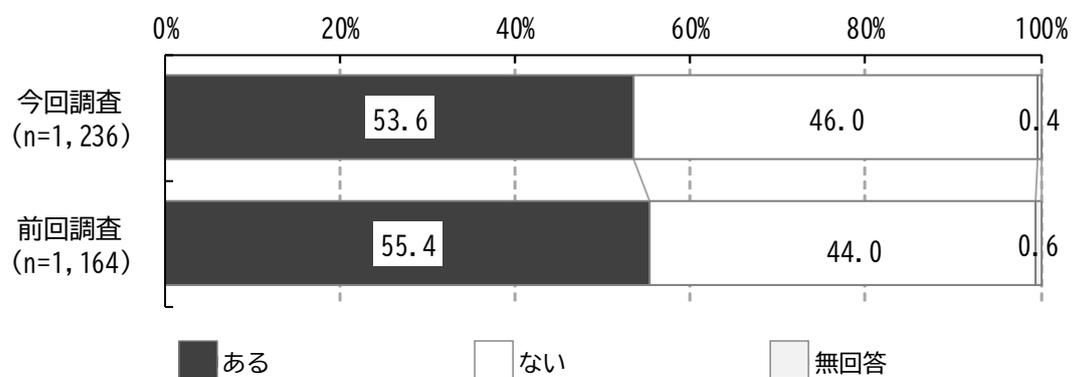
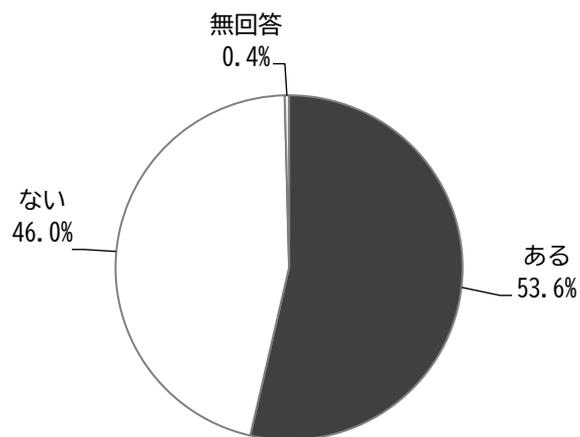
2 生涯学習について

問2 あなたは、最近1年間に生涯学習を行ったことがありますか。(○は1つ)

○最近1年間に生涯学習を行ったことがあるかについては、「ある」が53.6%、「ない」が46.0%となっています。

○前回調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっています。

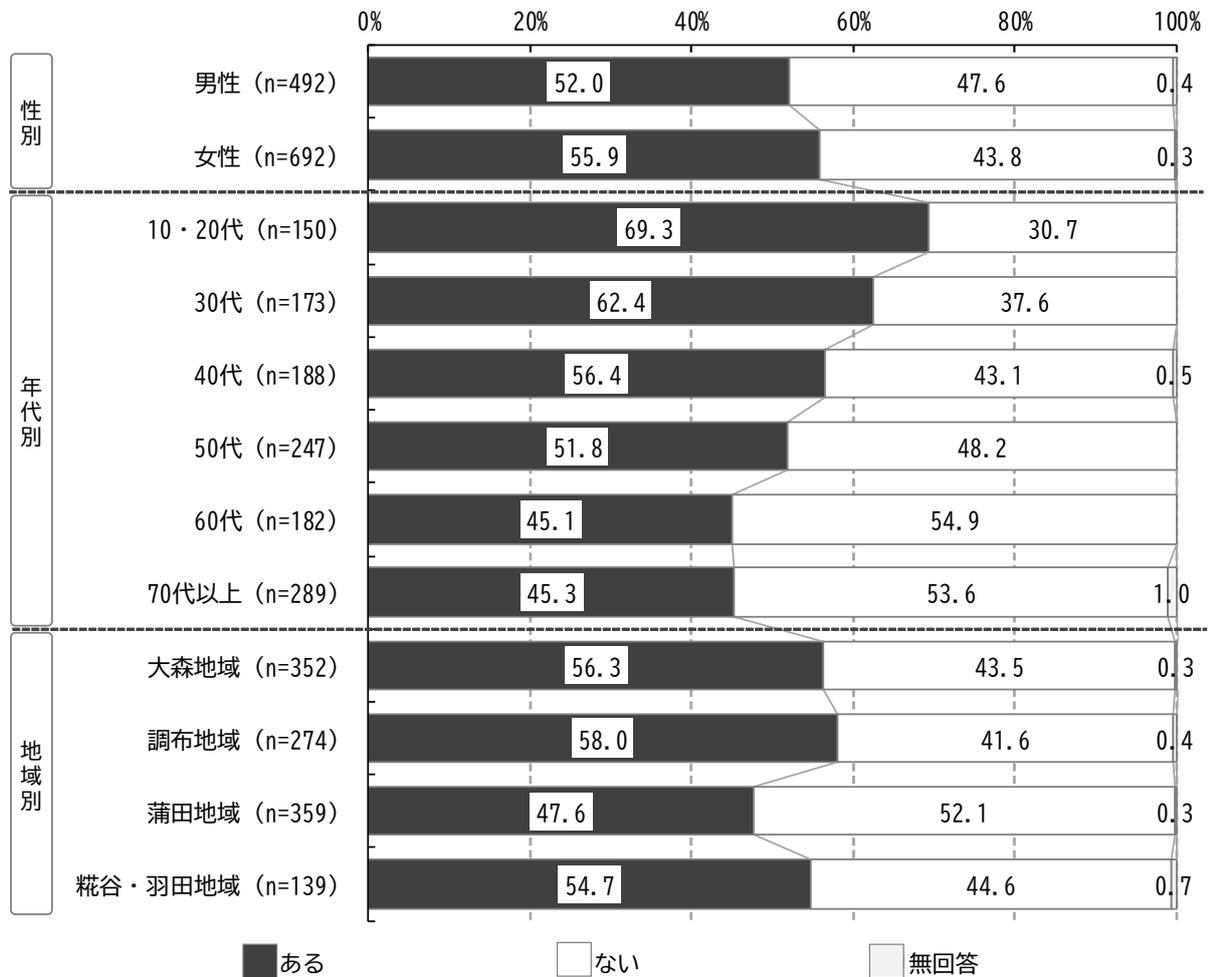
(n=1,236)



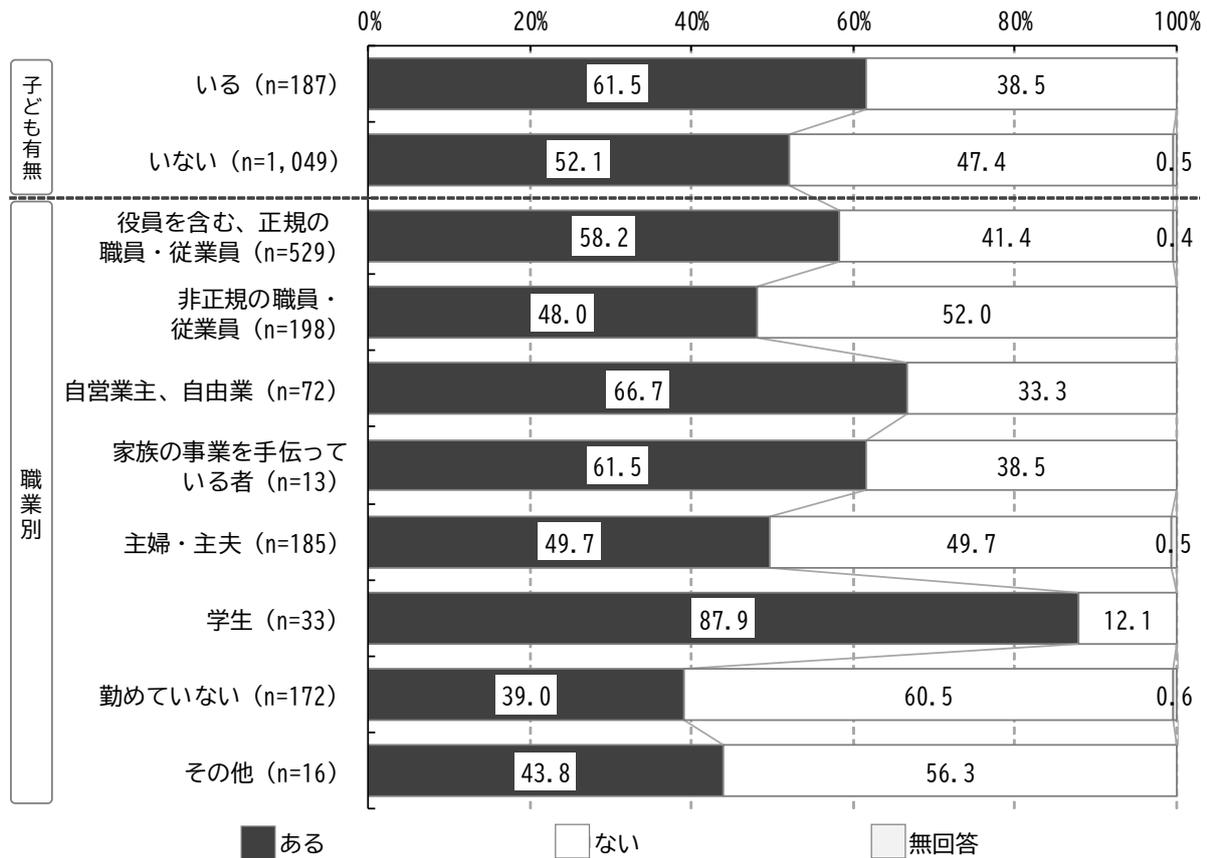
○性別では、「女性」で「ある」が55.9%、「男性」が52.0%となっています。

○年代別では、「10・20代」(69.3%)で「ある」が最も高く、若年層ほど「ある」の割合が高くなっています。

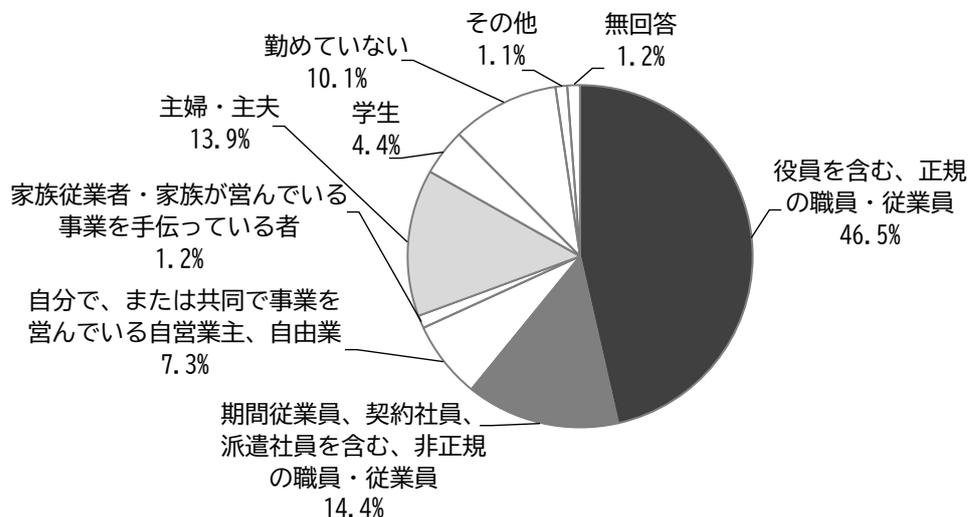
○地域別では、「調布地域」(58.0%)で「ある」が最も高くなっています。



- 子ども有無別では、「いる」が「いない」よりも「ある」は9.4ポイント高くなっています。
- 職業別では、「学生」(87.9%)で「ある」が最も高く、次いで、「自分で、または共同で事業を営んでいる自営業主、自由業」(66.7%)、「役員を含む、正規の職員・従業員」(58.2%)となっています。
- 「ある」の回答者の職業割合をみると、「役員を含む、正規の職員・従業員」(46.5%)が最も高くなっています。



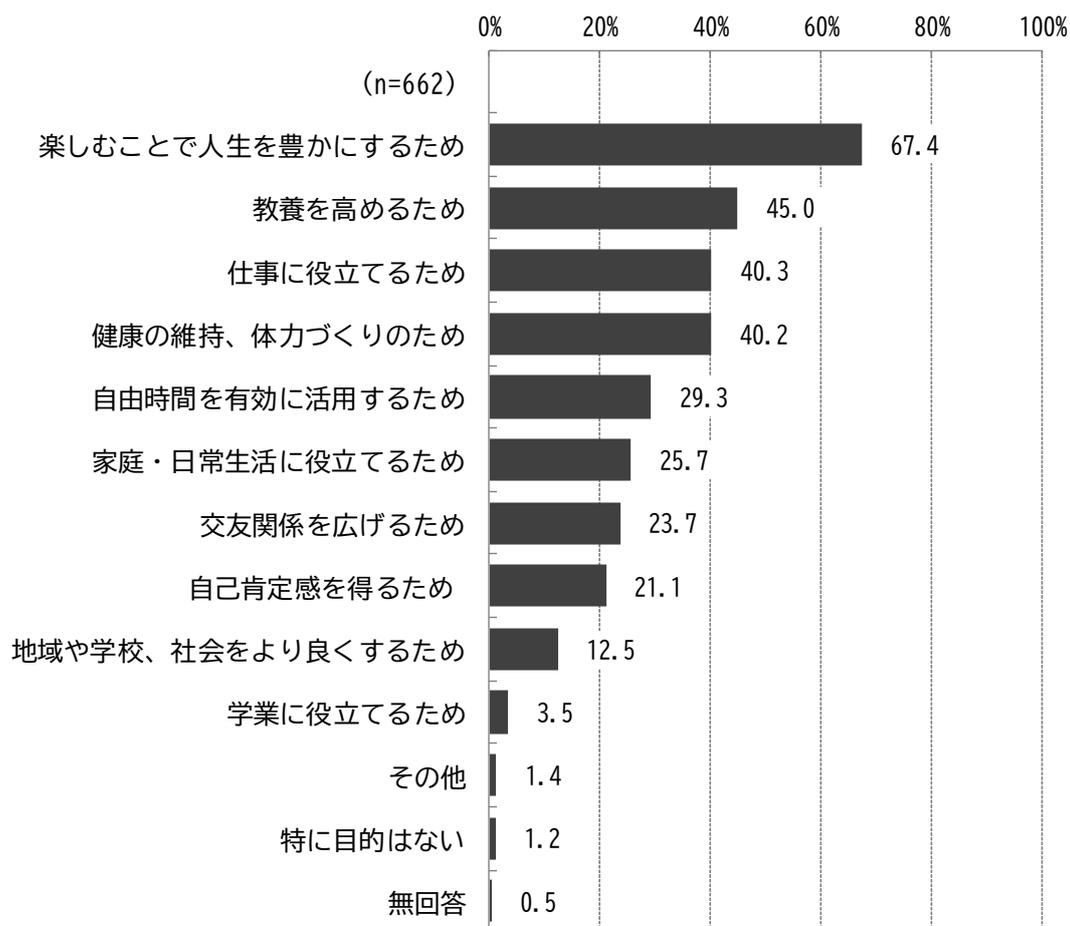
「ある」の回答者の職業割合 (n=662)



問3【問2で「1.ある」を選択の方】

あなたが生涯学習を行う目的は何ですか。(〇はいくつでも)

○最近1年間に生涯学習を行ったことがある方に目的をきいたところ、「楽しむことで人生を豊かにするため」(67.4%)が最も高く、次いで「教養を高めるため」(45.0%)、「仕事に役立てるため」(40.3%)、「健康の維持、体力づくりのため」(40.2%)となっています。



※最近1年間に生涯学習を行ったことが「ある」人 (n=662) が対象。

※前回調査では、「交友関係を広げるため」を「他の人との親睦を深めたり、交友関係を広げたりするため」、「仕事に役立てるため」と「学業に役立てるため」を「仕事や学業に役立てるため」としていました。

○年代別では、「10・20代」から「60代」までは「楽しむことで人生を豊かにするため」、「70代以上」では「健康の維持、体力づくりのため」が最も高くなっています。

○2番目の項目をみると、「10・20代」「30代」では「仕事に役立てるため」、「40代」「50代」では「教養を高めるため」、「60代」では「健康の維持、体力づくりのため」、「70代以上」では「楽しむことで人生を豊かにするため」となっています。

○また、「70代以上」では「交友関係を広げるため」が他の年代よりも高くなっています。

	n	楽しむことで人生を豊かにするため	教養を高めるため	仕事に役立てるため	健康の維持、体力づくりのため	自由時間を有効に活用するため
10・20代	104	67.3	52.9	59.6	26.9	30.8
30代	108	63.9	47.2	59.3	25.9	25.0
40代	106	63.2	59.4	51.9	34.9	13.2
50代	128	69.5	44.5	43.8	36.7	24.2
60代	82	75.6	39.0	25.6	42.7	40.2
70代以上	131	67.2	30.5	6.9	67.9	42.7

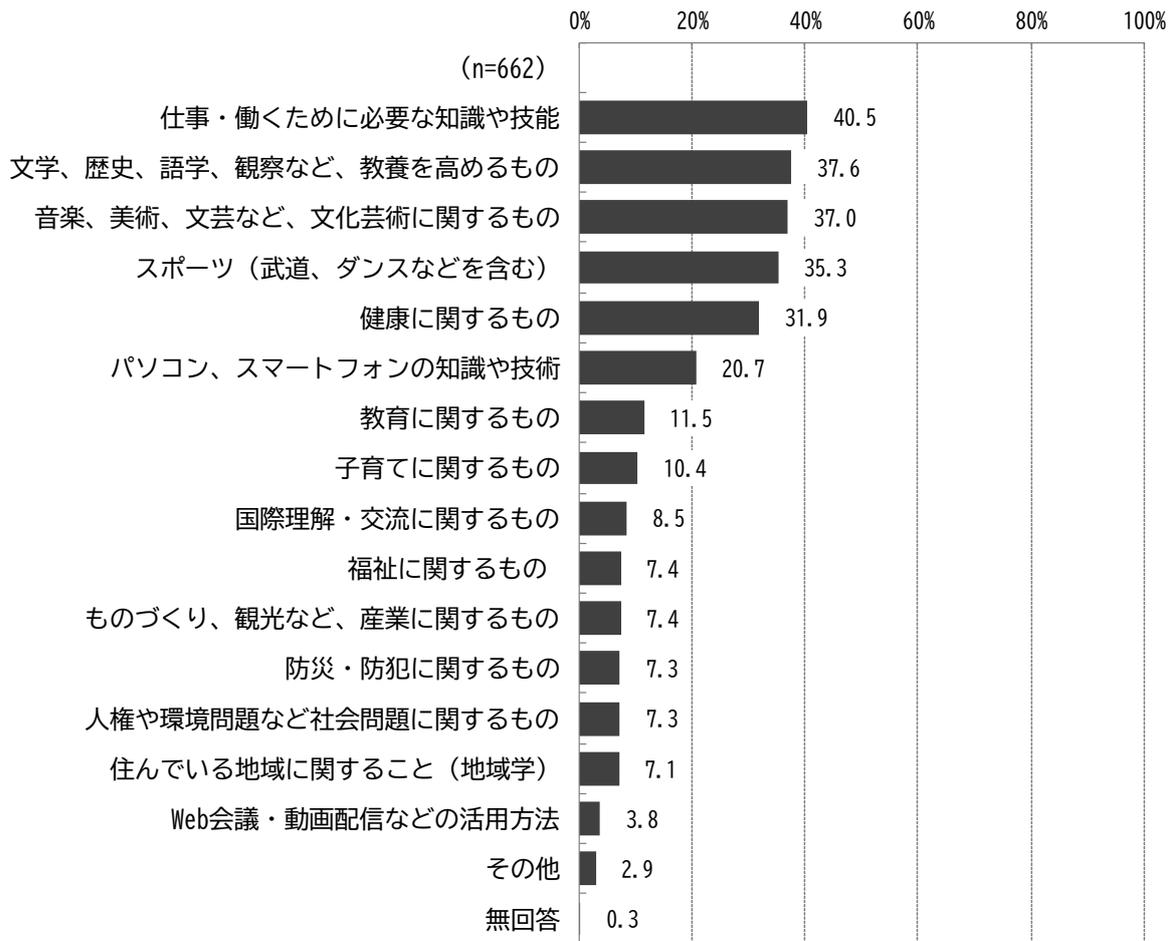
	n	家庭・日常生活に役立てるため	交友関係を広げるため	自己肯定感を得るため	地域や学校、社会をより良くするため	学業に役立てるため
10・20代	104	25.0	14.4	23.1	6.7	14.4
30代	108	33.3	13.9	33.3	14.8	4.6
40代	106	34.0	21.7	20.8	14.2	0.0
50代	128	26.6	20.3	18.0	11.7	1.6
60代	82	15.9	23.2	18.3	11.0	1.2
70代以上	131	18.3	43.5	15.3	16.0	0.0

	n	その他	特に目的はない	無回答
10・20代	104	1.0	1.9	0.0
30代	108	2.8	0.0	0.0
40代	106	0.9	1.9	0.9
50代	128	1.6	1.6	0.8
60代	82	0.0	0.0	0.0
70代以上	131	1.5	0.8	0.8

問4【問2で「1.ある」を選択の方】

あなたは、どのような生涯学習を行いましたか。(〇はいくつでも)

○最近1年間に生涯学習を行ったことがある方に内容をきいたところ、「仕事・働くために必要な知識や技能」(40.5%)が最も高く、次いで「文学、歴史、語学、観察など、教養を高めるもの」(37.6%)、「音楽、美術、文芸など、文化芸術に関するもの」(37.0%)、「スポーツ(武道、ダンスなどを含む)」(35.3%)、「健康に関するもの」(31.9%)となっています。



※最近1年間に生涯学習を行ったことが「ある」人(n=662)が対象。

○年代別では、「10・20代」から「50代」で「仕事・働くために必要な知識や技能」、「60代」で「音楽、美術、文芸など、文化芸術に関するもの」、「70代以上」で「健康に関するもの」が最も高くなっています。

	n	仕事・働くために必要な知識や技能	文学、歴史、語学、観察など、教養を高めるもの	音楽、美術、文芸など、文化芸術に関するもの	スポーツ（武道、ダンスなどを含む）	健康に関するもの
10・20代	104	56.7	41.3	34.6	32.7	25.0
30代	108	63.9	37.0	33.3	25.0	22.2
40代	106	50.9	47.2	33.0	38.7	31.1
50代	128	43.0	34.4	34.4	34.4	26.6
60代	82	25.6	32.9	40.2	35.4	31.7
70代以上	131	7.6	34.4	45.8	45.0	51.1

	n	パソコン、スマートフォンの知識や技術	教育に関するもの	子育てに関するもの	国際理解・交流に関するもの	福祉に関するもの
10・20代	104	29.8	18.3	7.7	13.5	8.7
30代	108	24.1	14.8	24.1	13.0	2.8
40代	106	20.8	11.3	21.7	6.6	2.8
50代	128	17.2	10.2	5.5	4.7	6.3
60代	82	18.3	9.8	1.2	7.3	11.0
70代以上	131	16.0	5.3	2.3	6.9	13.0

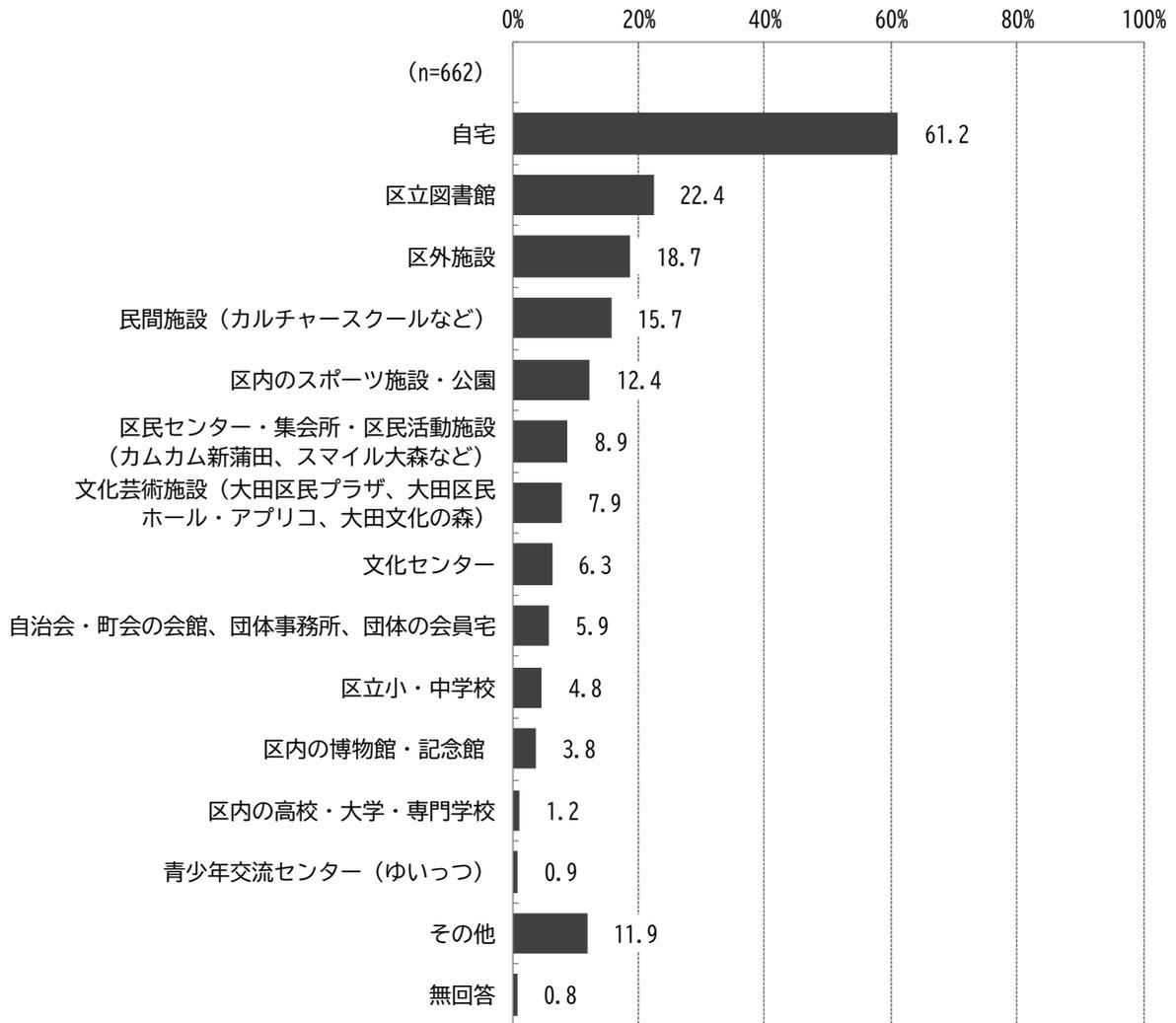
	n	ものづくり、観光など、産業に関するもの	防災・防犯に関するもの	人権や環境問題など社会問題に関するもの	住んでいる地域に関すること（地域学）	Web会議・動画配信などの活用方法
10・20代	104	6.7	7.7	7.7	2.9	5.8
30代	108	10.2	1.9	7.4	2.8	3.7
40代	106	6.6	6.6	4.7	8.5	1.9
50代	128	7.0	7.0	7.8	7.8	3.9
60代	82	8.5	3.7	4.9	4.9	4.9
70代以上	131	5.3	13.0	9.2	13.7	3.1

※その他、無回答を除いています。

問5【問2で「1.ある」を選択の方】

あなたが生涯学習を行っている場所はどこですか。(〇はいくつでも)

○最近1年間に生涯学習を行ったことがある方に行っている場所をきいたところ、「自宅」(61.2%)が最も高く、次いで「区立図書館」(22.4%)、「区外施設」(18.7%)となっています。



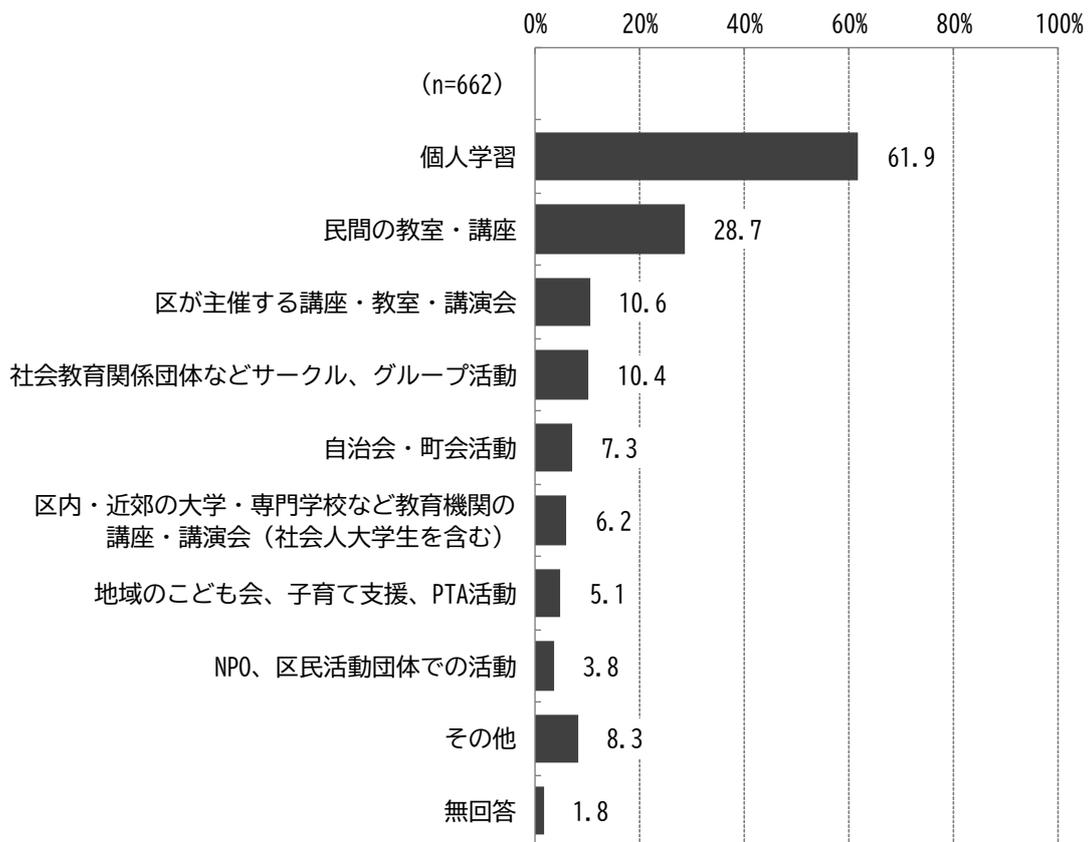
※最近1年間に生涯学習を行ったことが「ある」人 (n=662) が対象。

問6【問2で「1.ある」を選択の方】

あなたは、どのような方法で生涯学習を行っていますか。(〇はいくつでも)

○最近1年間に生涯学習を行ったことがある方に方法をきいたところ、「個人学習」(61.9%)が最も高く、次いで「民間の教室・講座」(28.7%)となっています。

○また、「区が主催する講座・教室・講演会」は10.6%、「社会教育関係団体などサークル、グループ活動」は10.4%となっています。



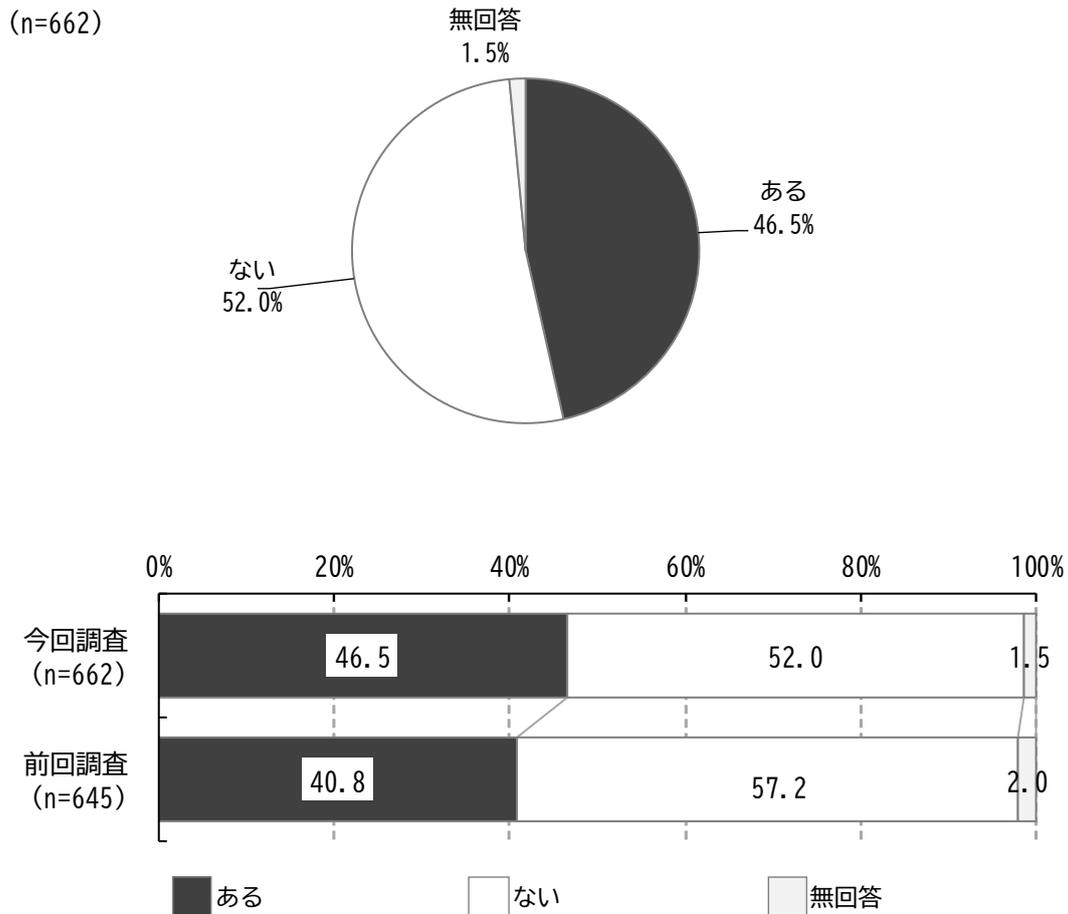
※最近1年間に生涯学習を行ったことが「ある」人 (n=662) が対象。

問7【問2で「1.ある」を選択の方】

あなたは、オンラインで生涯学習を行ったことがありますか。(○は1つ)

○最近1年間に生涯学習を行ったことがある方にオンラインで行ったことがあるかをきいたところ、「ある」が46.5%、「ない」が52.0%となっています。

○前回調査と比較すると、「ある」は5.7ポイント高くなっています。

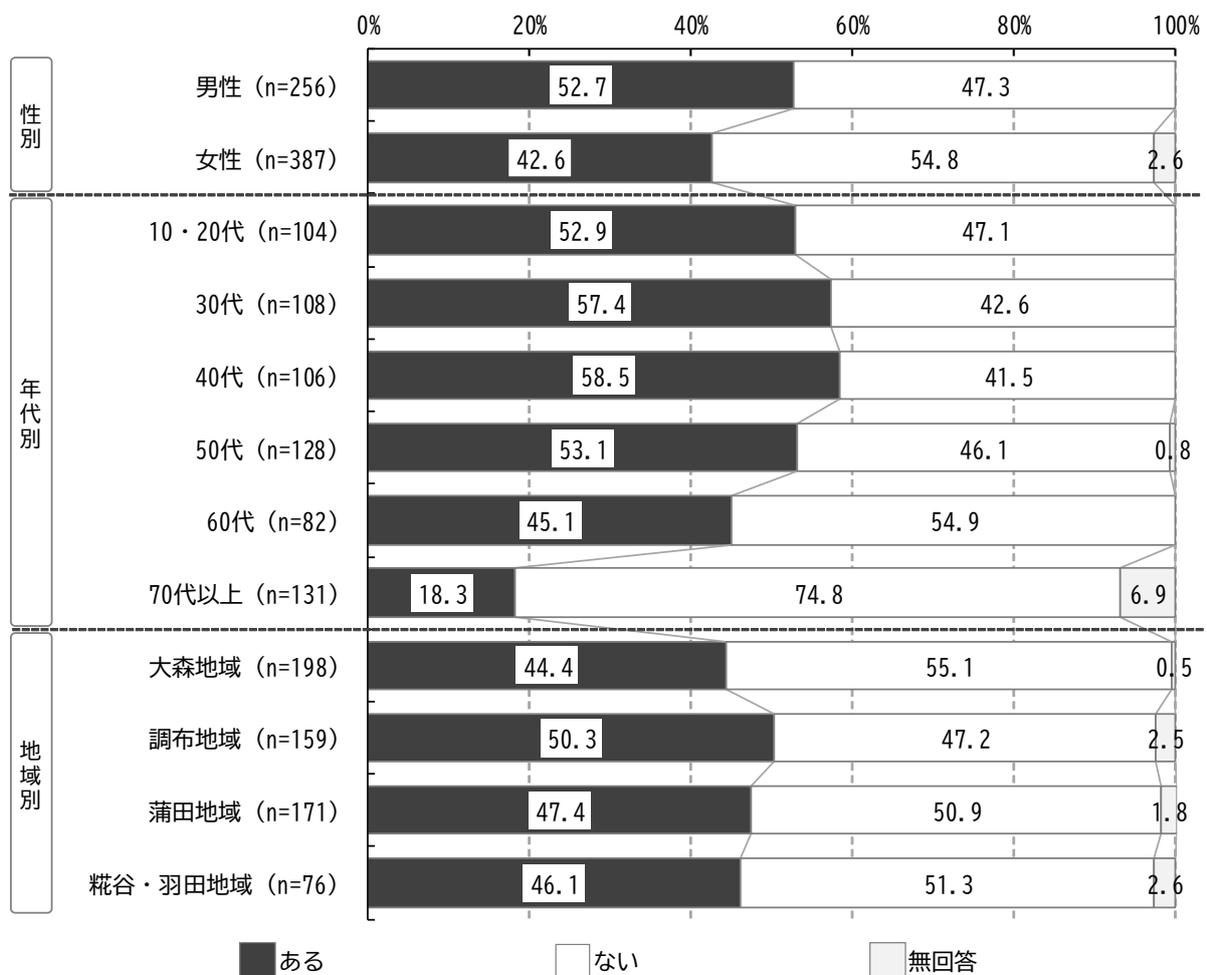


※最近1年間に生涯学習を行ったことが「ある」人 (n=662) が対象。

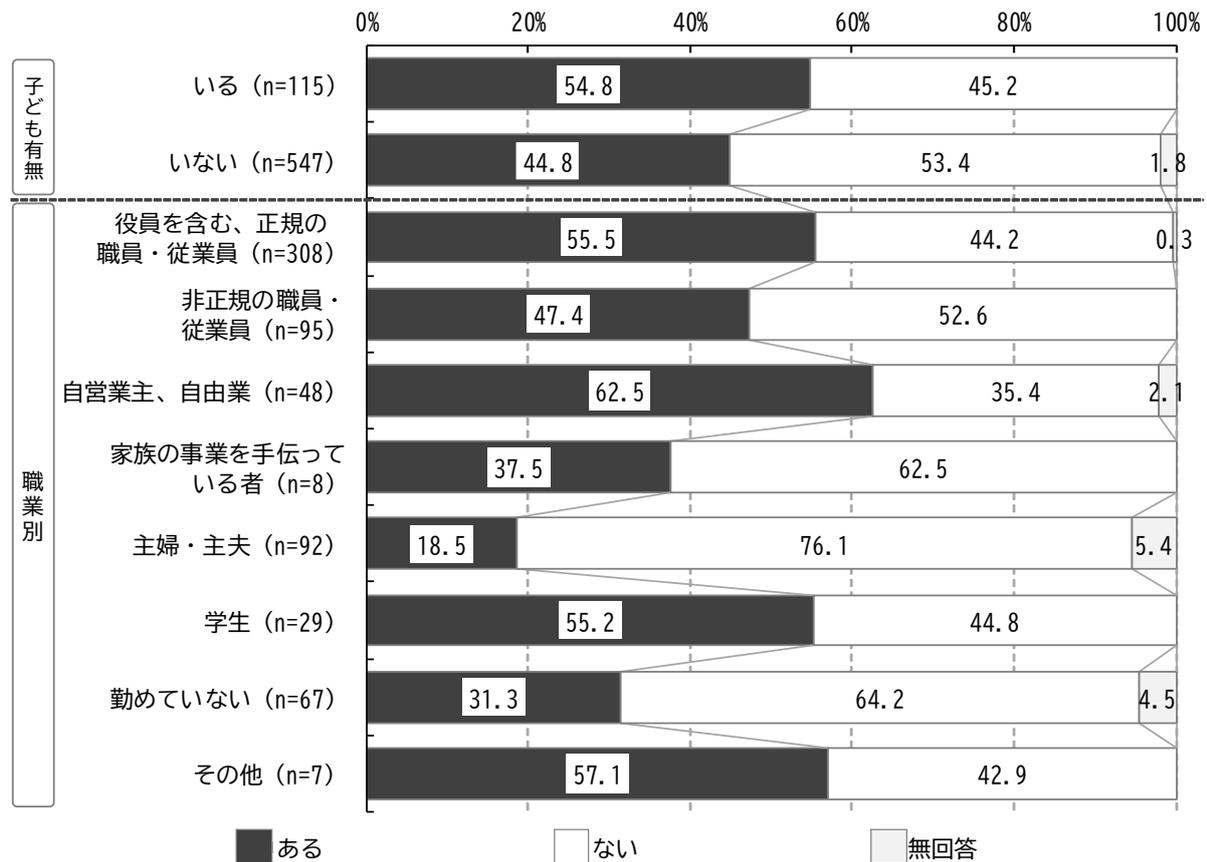
○性別では、「男性」で「ある」が52.7%であり、「女性」よりも10.1ポイント高くなっています。

○年代別では、「40代」(58.5%)で「ある」が最も高く、次いで「30代」(57.4%)、「50代」(53.1%)、「10・20代」(52.9%)となっています。

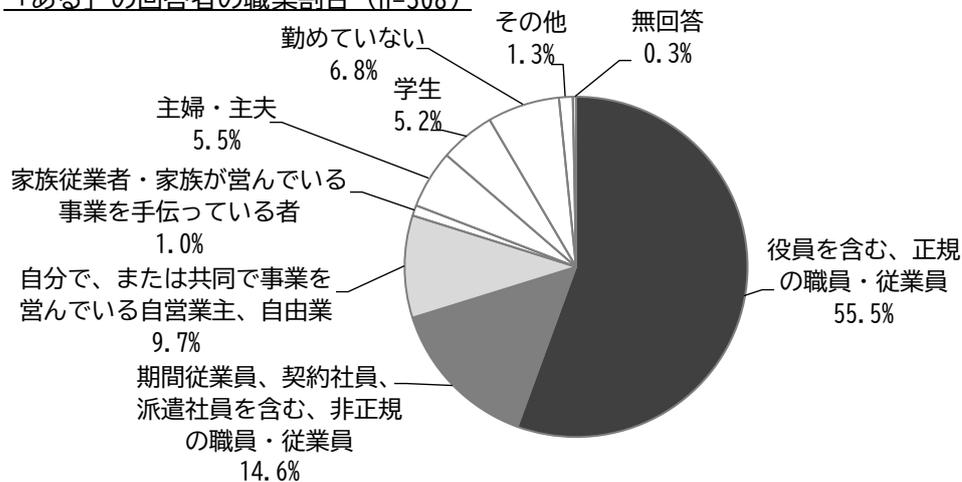
○地域別では、「調布地域」(50.3%)で「ある」が最も高くなっています。



- 子ども有無別では、「いる」が「いない」よりも「ある」は10ポイント高くなっています。
- 職業別では、「自分で、または共同で事業を営んでいる自営業主、自由業」(62.5%)、「役員を含む、正規の職員・従業員」(55.5%)で高くなっています。
- 「ある」の回答者の職業割合をみると、「役員を含む、正規の職員・従業員」(55.5%)が最も高くなっています。



「ある」の回答者の職業割合 (n=308)

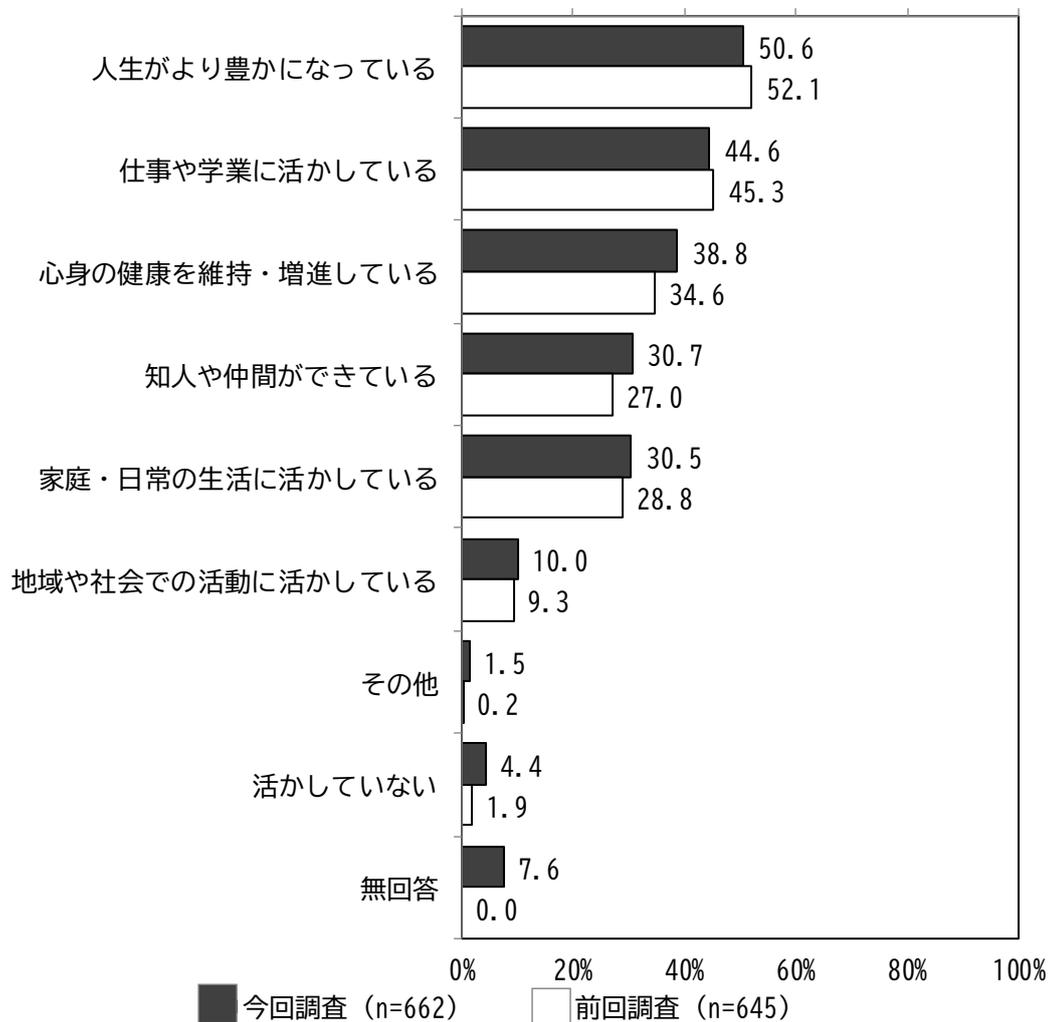


問8 【問2で「1.ある」を選択の方】

あなたは、生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験をどのように活かしていますか。(〇はいくつでも)

○最近1年間に生涯学習を行ったことがある方に、生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験をどのように活かしているかをきいたところ、「人生がより豊かになっている」(50.6%)が最も高く、次いで「仕事や学業に活かしている」(44.6%)、「心身の健康を維持・増進している」(38.8%)となっています。前回調査と比較すると、上位3項目は同様となっています。

○また、「知人や仲間ができている」は30.7%、「地域や社会での活動に活かしている」は10.0%となっています。



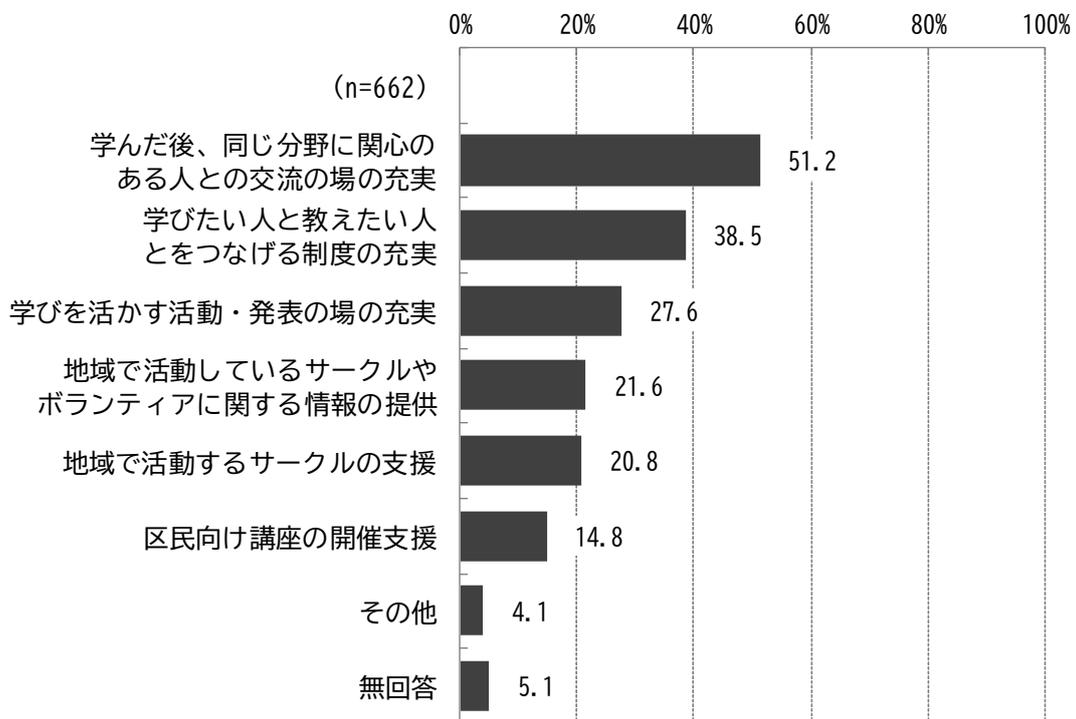
※最近1年間に生涯学習を行ったことが「ある」人が対象。

※今回調査の降順で並び替え。

問9【問2で「1.ある」を選択の方】

あなたは、生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験を、地域で活かすために、どのようなサポートが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

○最近1年間に生涯学習を行ったことがある方に、生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験を、地域で活かすために、どのようなサポートが必要だと思うかをきいたところ、「学んだ後、同じ分野に関心のある人との交流の場の充実」(51.2%)が最も高く、次いで「学びたい人と教えたい人とをつなげる制度の充実」(38.5%)、「学びを活かす活動・発表の場の充実」(27.6%)となっています。



※最近1年間に生涯学習を行ったことが「ある」人 (n=662) が対象。

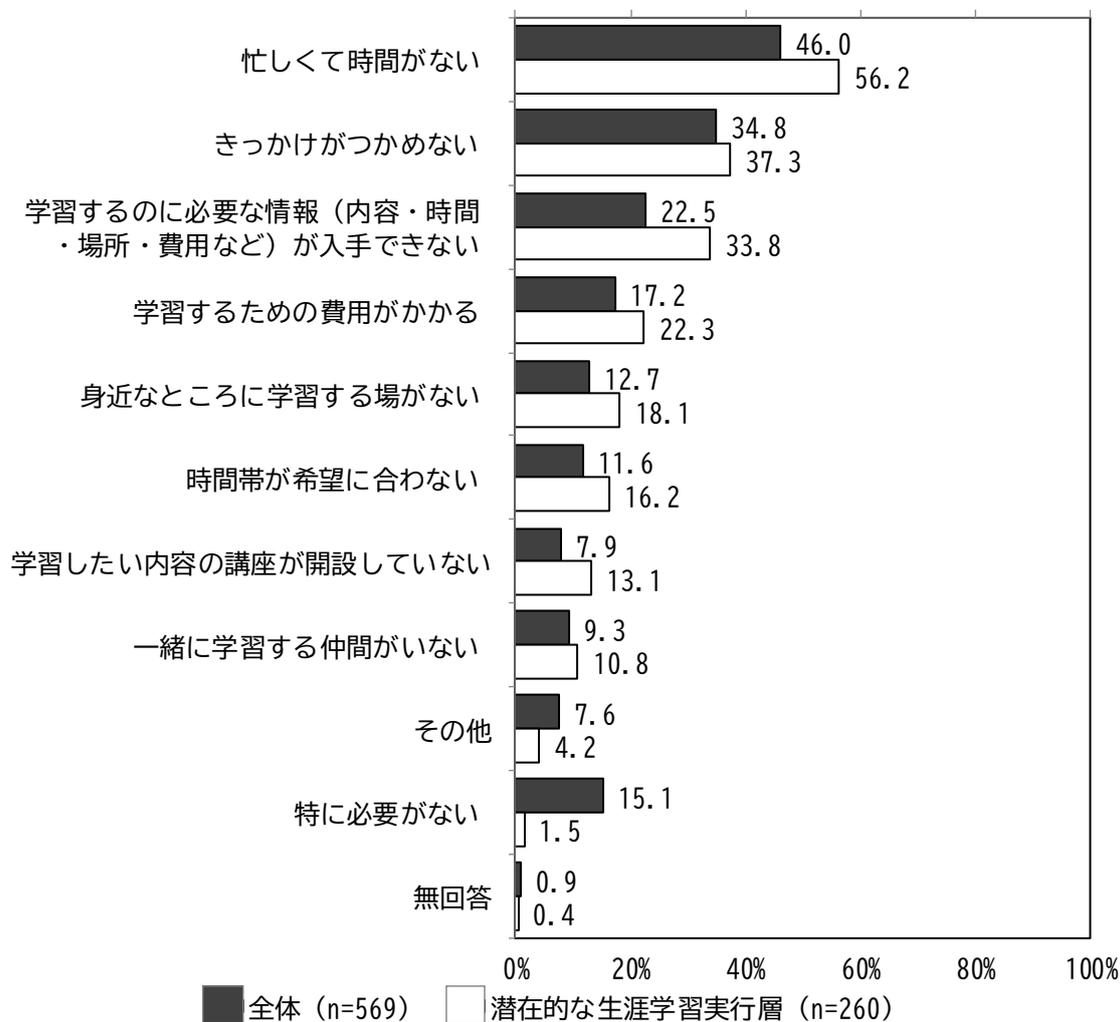
問10【問2で「2.ない」を選択の方】

最近1年間に生涯学習を行ったことがない理由をお答えください。

(○はいくつでも)

○最近1年間に生涯学習を行ったことがない方にその理由をきいたところ、「忙しくて時間がない」(46.0%)が最も高く、次いで「きっかけがつかめない」(34.8%)、「学習するのに必要な情報(内容・時間・場所・費用など)が入手できない」(22.5%)となっています。

○生涯学習に対する意識・行動別での「潜在的な生涯学習実行層」では、「忙しくて時間がない」(56.2%)が最も高く、次いで「きっかけがつかめない」(37.3%)、「学習するのに必要な情報(内容・時間・場所・費用など)が入手できない」(33.8%)と全体と同様の順位ですが、割合は全体よりも高くなっています。



※最近1年間に生涯学習を行ったことが「ない」人(n=569)が対象。

※潜在的な生涯学習実行層とは、学びへの関心が「ある」、最近1年間に生涯学習を行ったことが「ない」、今後の生涯学習について「行いたい」と回答した人。

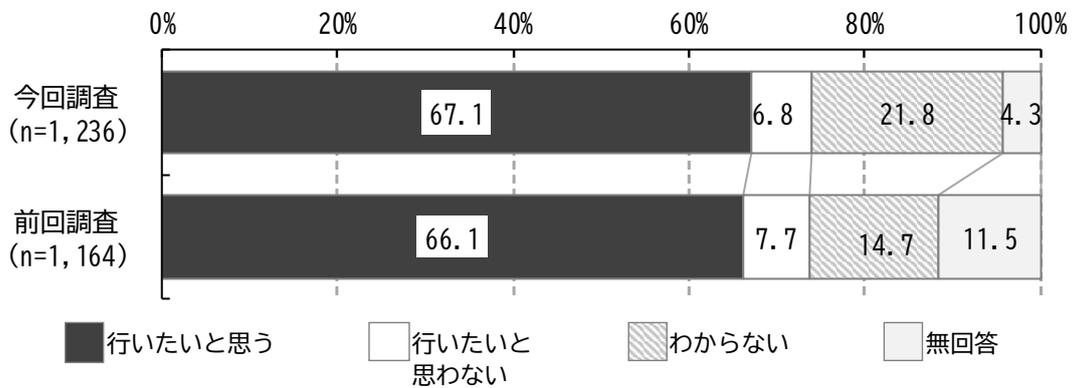
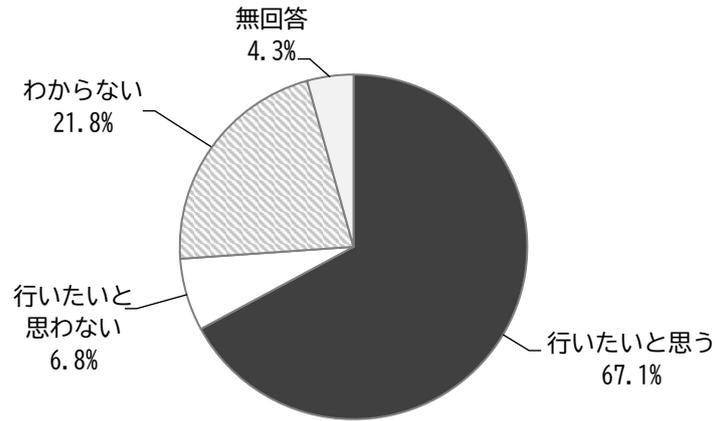
※全体の降順で並び替え。

問 11 あなたは、今後、生涯学習を行いたいと思いますか。(○は1つ)

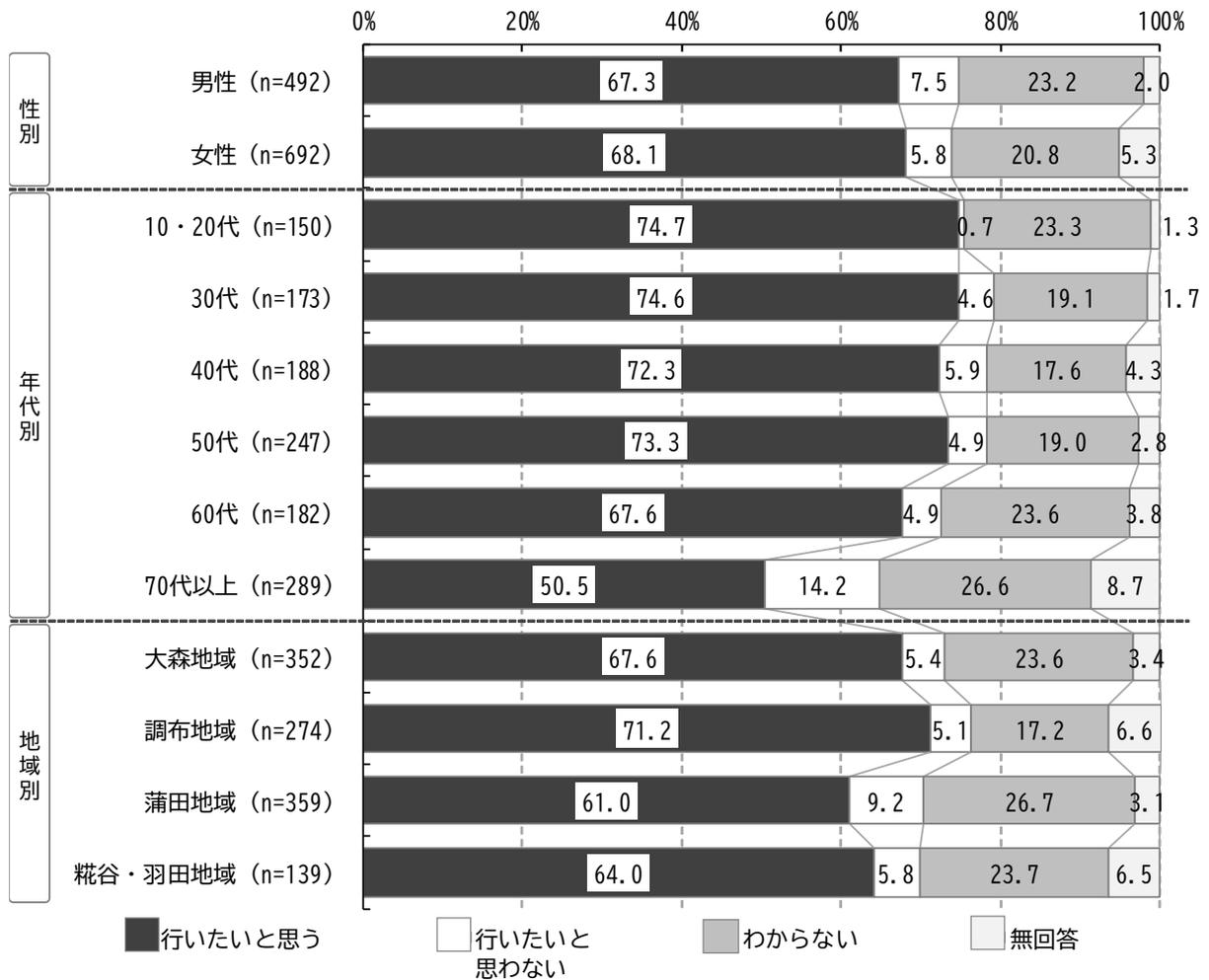
○今後の生涯学習の実行意向については、「行いたいと思う」が67.1%、「わからない」が21.8%、「行いたいと思わない」が6.8%となっています。

○前回調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっています。

(n=1,236)



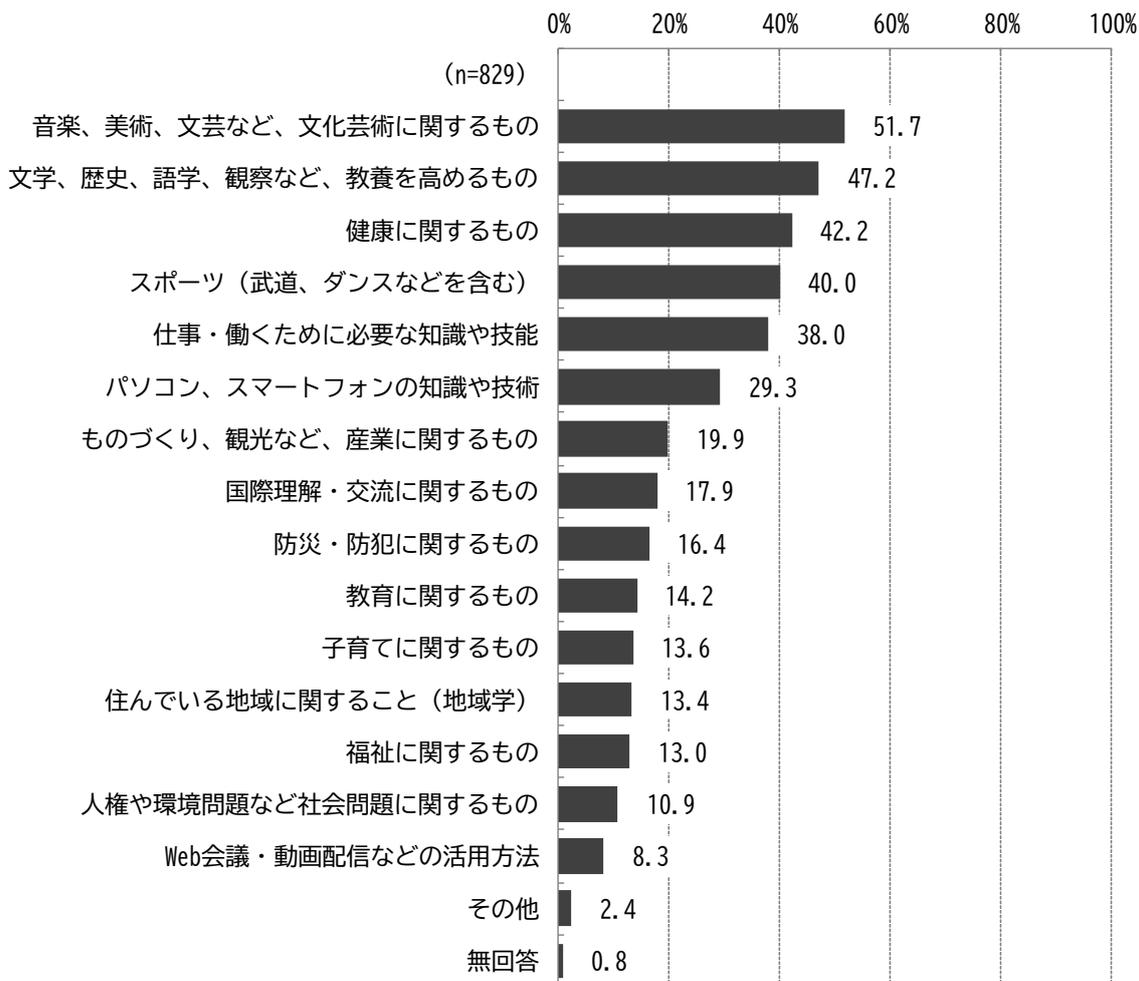
- 性別では、「男性」「女性」ともに「行きたいと思う」はほぼ同じ割合となっています。
- 年代別では、「10・20代」(74.7%)で「行きたいと思う」が最も高く、次いで「30代」(74.6%)となっています。
- 地域別では、「調布地域」(71.2%)で「行きたいと思う」が最も高くなっています。



問 12【問 11 で「1. 行いたいと思う」を選択の方】

今後、行いたい生涯学習の内容をお答えください。(〇はいくつでも)

○生涯学習を行いたいと思うと回答した方に、今後、行いたい生涯学習の内容をきいてみると、「音楽、美術、文芸など、文化芸術に関するもの」(51.7%)が最も高く、次いで「文学、歴史、語学、観察など、教養を高めるもの」(47.2%)、「健康に関するもの」(42.2%)、「スポーツ(武道、ダンスなどを含む)」(40.0%)となっています。

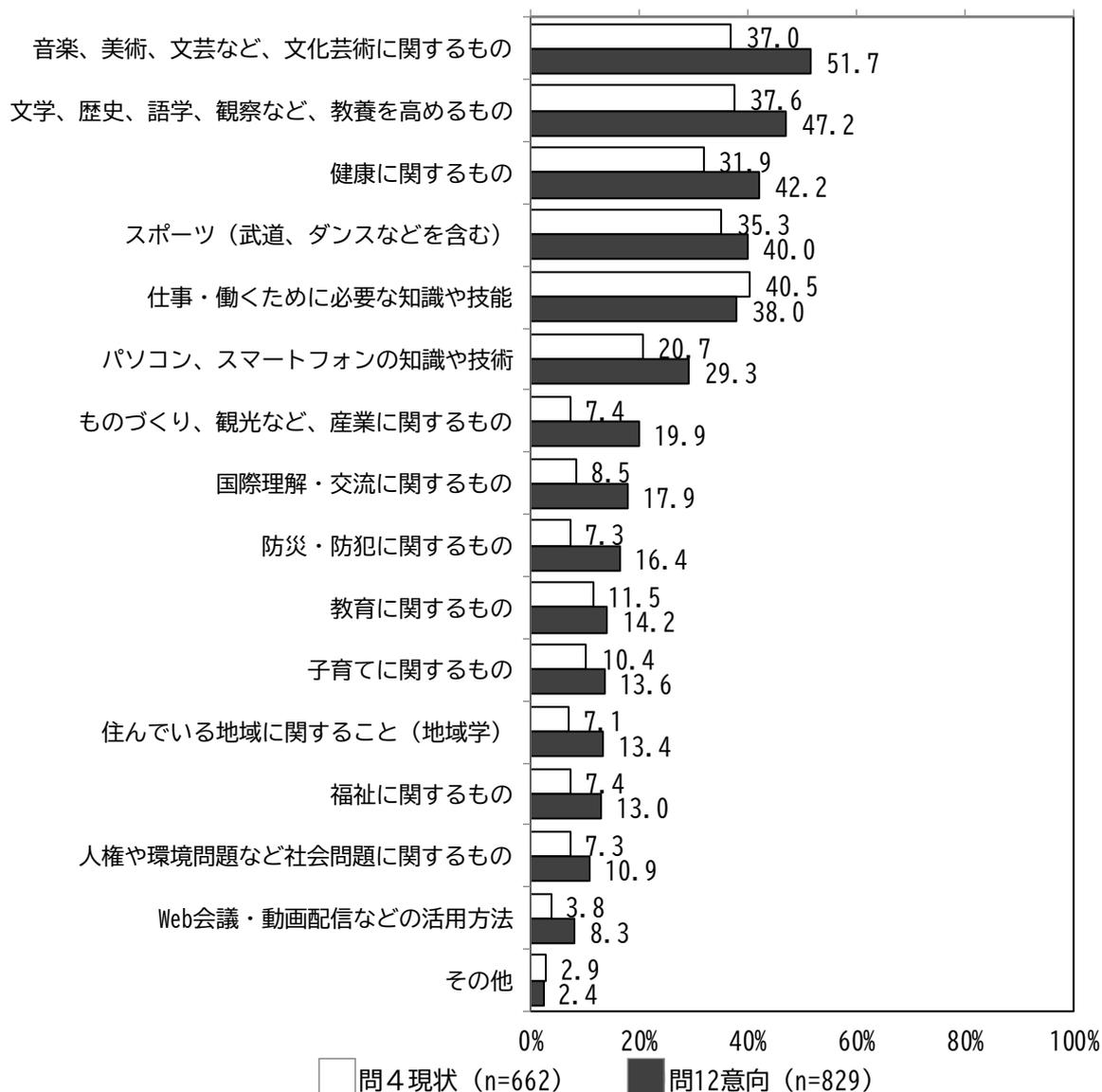


※今後の生涯学習を「行いたい」と回答した人(n=829)が対象。

○生涯学習の内容に関して、行ったもの（現状）と今後行いたいもの（意向）を比較したところ、「仕事・働くために必要な知識や技能」「その他」を除き、現状よりも意向の方が高くなっています。

○また、「音楽、美術、文芸など、文化芸術に関するもの」「健康に関するもの」「ものづくり、観光など、産業に関するもの」では、現状よりも意向の方が10ポイント以上高くなっています。

【問4（最近1年間で行った生涯学習）と問12（今後、行いたい生涯学習）の比較】



※現状（n=662）：最近1年間に生涯学習を行ったことが「ある」人

※意向（n=829）：今後の生涯学習を「行いたい」と回答した人

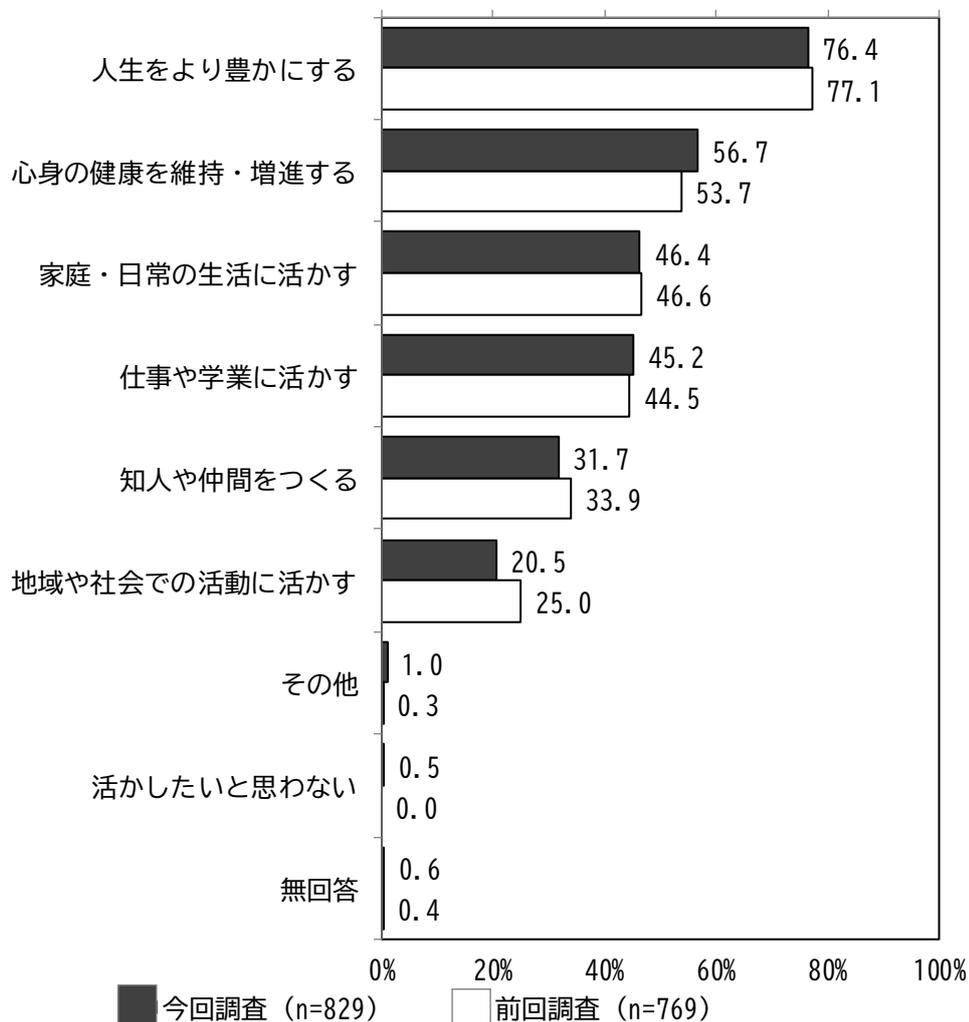
※問12意向の降順で並び替え。

問 13 【問 11 で「1. 行いたいと思う」を選択の方】

あなたは、生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験をどのように活かしていきたいと思いますか。(〇はいくつでも)

○生涯学習を行いたいと思うと回答した方に、生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験をどのように活かしていきたいかをきいたところ、「人生をより豊かにする」(76.4%)が最も高く、次いで「心身の健康を維持・増進する」(56.7%)となっています。また、「地域や社会での活動に活かす」は20.5%となっています。

○前回調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっています。



※今後の生涯学習を「行いたい」と回答した人が対象。

○性別では、「男性」「女性」ともに「人生をより豊かにする」が最も高くなっています。

○年代別では「10・20代」から「60代」までは「人生をより豊かにする」、「70代以上」で「心身の健康を維持・増進する」が最も高くなっています。

○地域別では、4地域全てで「人生をより豊かにする」が最も高くなっています。

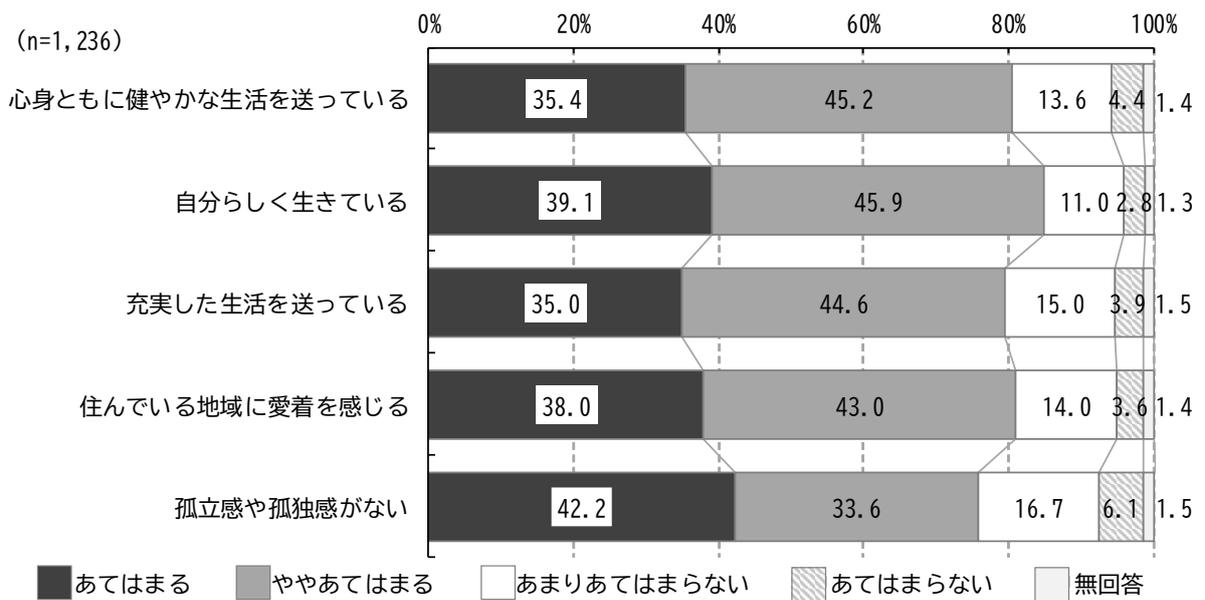
		n	人生をより豊かにする	心身の健康を維持・増進する	家庭・日常生活に活かす	仕事や学業に活かす	知人や仲間をつくる
性別	男性	331	75.8	50.8	41.1	49.5	31.1
	女性	471	77.5	60.9	49.5	43.1	32.5
年代別	10・20代	112	82.1	48.2	51.8	67.9	23.2
	30代	129	81.4	53.5	58.9	65.1	34.9
	40代	136	83.1	56.6	50.7	64.0	26.5
	50代	181	75.7	53.6	47.0	47.0	25.4
	60代	123	75.6	58.5	38.2	29.3	39.0
	70代以上	146	63.7	67.8	33.6	4.8	42.5
地域別	大森地域	238	81.9	58.4	45.0	47.5	31.1
	調布地域	195	77.9	52.3	48.7	47.2	30.8
	蒲田地域	219	72.1	56.2	47.5	41.6	32.0
	糀谷・羽田地域	89	74.2	57.3	47.2	47.2	27.0

		n	地域や社会での活動に活かす	その他	活かしたいと思わない	無回答
性別	男性	331	22.1	1.2	0.3	0.0
	女性	471	19.7	0.8	0.6	0.8
年代別	10・20代	112	13.4	0.0	0.0	0.0
	30代	129	21.7	0.0	0.0	0.8
	40代	136	22.1	1.5	0.0	0.0
	50代	181	21.0	1.7	0.6	1.1
	60代	123	25.2	0.8	0.8	0.0
	70代以上	146	19.2	1.4	1.4	1.4
地域別	大森地域	238	21.0	1.7	0.4	0.0
	調布地域	195	22.6	1.0	0.5	0.0
	蒲田地域	219	16.4	0.5	0.0	0.9
	糀谷・羽田地域	89	16.9	1.1	1.1	1.1

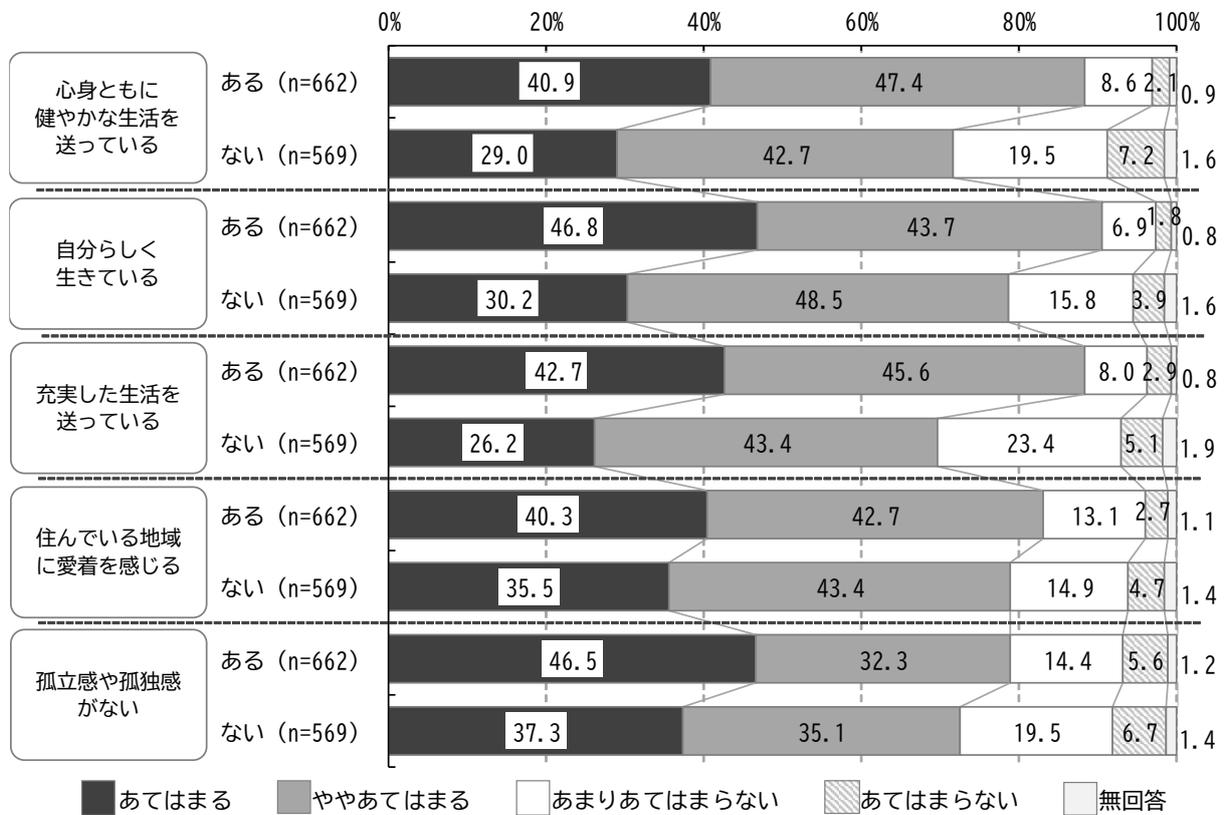
3 普段の生活について

問 14 普段の生活について、あなたのお気持ちに最も近い番号に○を1つしてください。
(○は各1つ)

○普段の生活での意識について、「自分らしく生きている」では「肯定的評価」（「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計）が 85.0%で最も高く、次いで「住んでいる地域に愛着を感じる」（81.0%）、「心身ともに健やかな生活を送っている」（80.6%）となっています。



○最近1年間に生涯学習の実施状況別では、5項目全てにおいて「ある」の方が「ない」よりも「肯定的評価」が高くなっています。



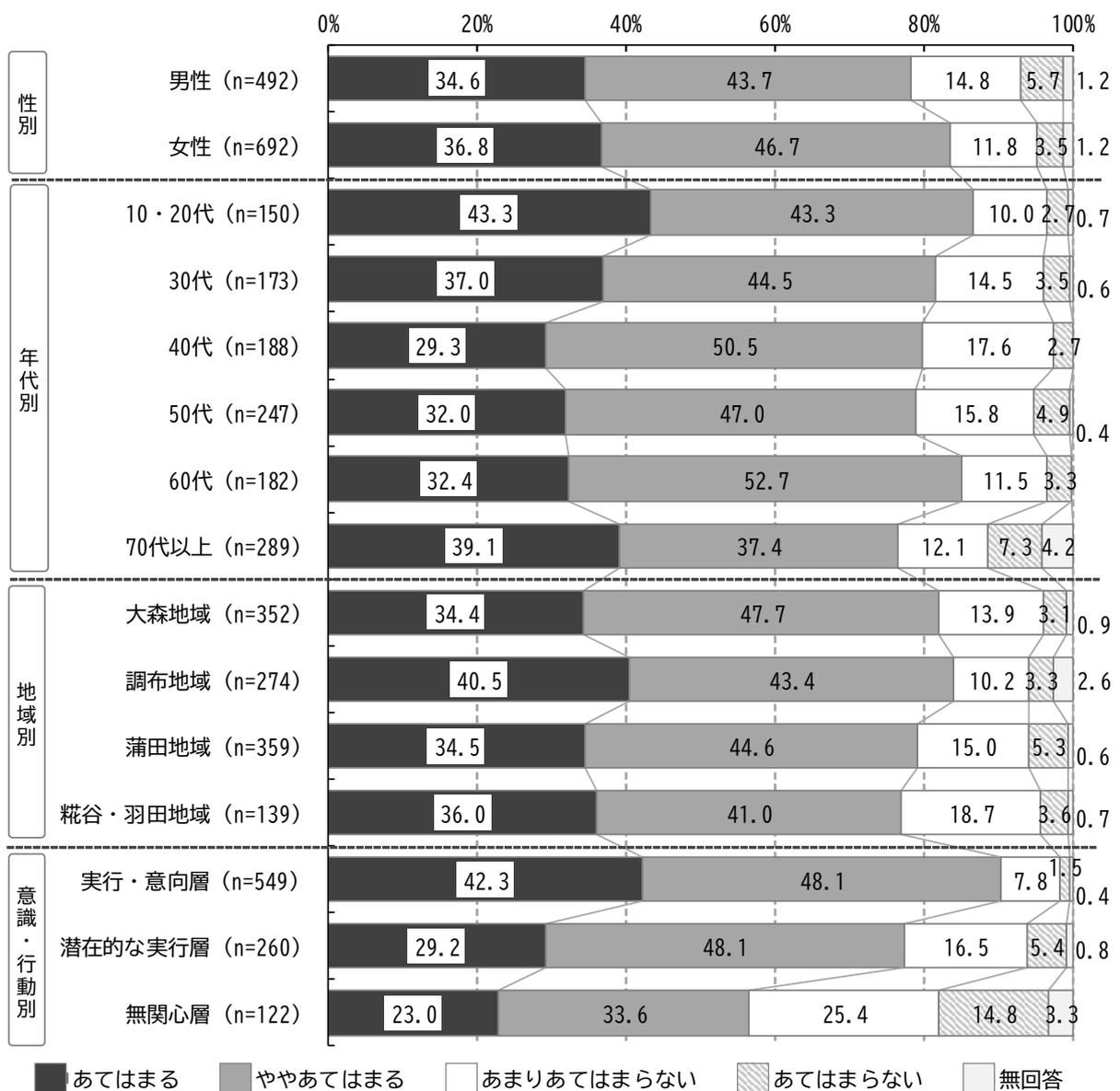
心身ともに健やかな生活を送っている

○「肯定的評価」をみると、性別では、「女性」の方が「男性」よりも5.2ポイント高くなっています。

○年齢別では、「10・20代」が最も高くなっています。

○地域別では、「調布地区」が最も高くなっています。

○生涯学習に対する意識・行動別では、「生涯学習実行・意向層」では90.4%である一方、「潜在的な生涯学習実行層」では77.3%、「無関心層」では56.6%にとどまっています。



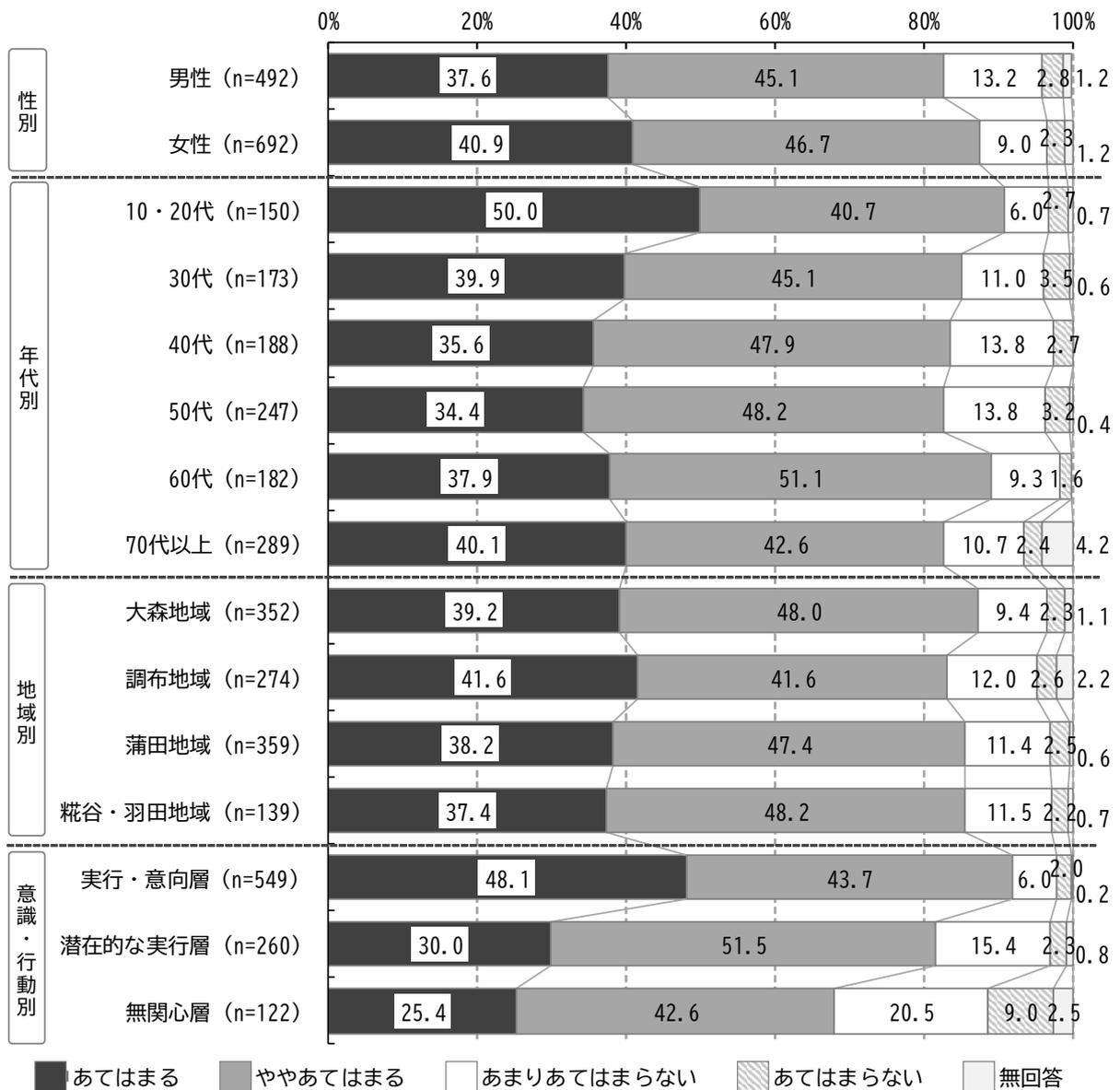
自分らしく生きている

○「肯定的評価」をみると、性別では、「女性」の方が高くなっています。

○年齢別では、「10・20代」が9割を超え最も高くなっています。

○地域別では、「大森地域」が最も高くなっています。

○生涯学習に対する意識・行動別では、「生涯学習実行・意向層」では91.8%である一方、「潜在的な生涯学習実行層」では81.5%、「無関心層」では68.0%にとどまっています。



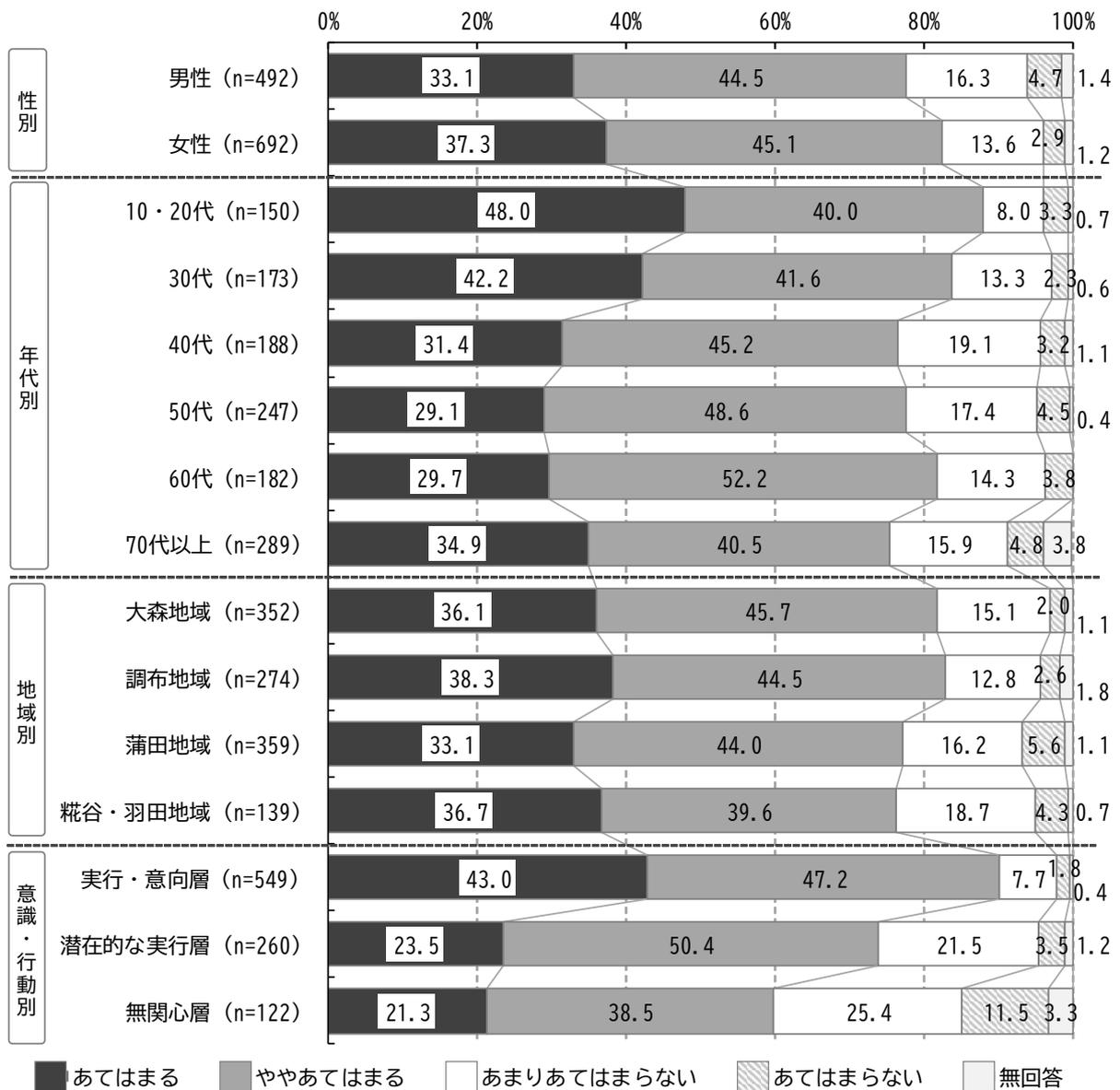
充実した生活を送っている

○「肯定的評価」をみると、性別では、「女性」の方が高くなっています。

○年齢別では、「10・20代」が最も高くなっています。

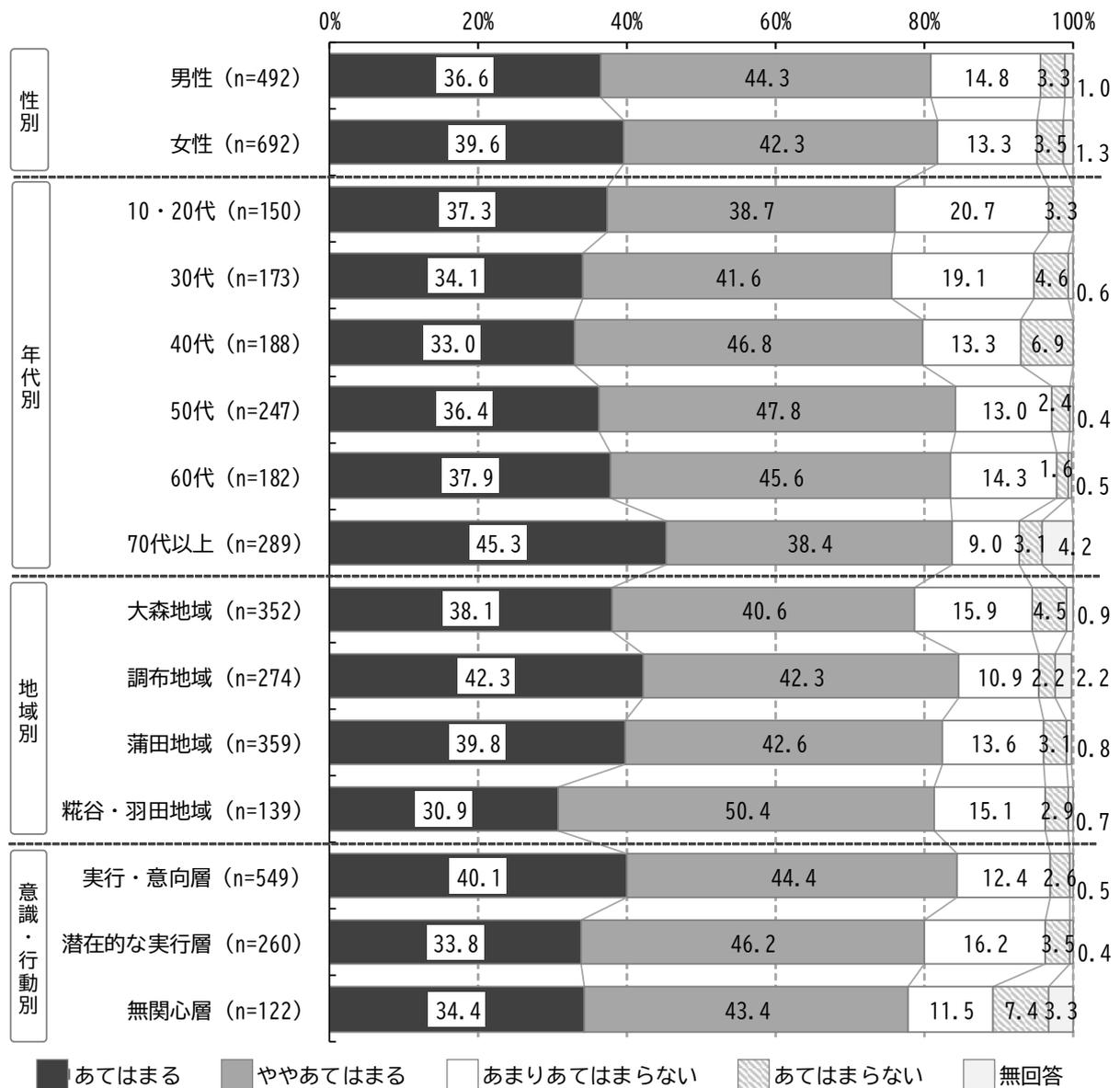
○地域別では、「調布地域」が最も高くなっています。

○生涯学習に対する意識・行動別では、「生涯学習実行・意向層」では90.2%である一方、「潜在的な生涯学習実行層」では73.9%、「無関心層」では59.8%にとどまっています。



住んでいる地域に愛着を感じる

- 「肯定的評価」をみると、性別では、「男性」「女性」ともにほぼ同等となっています。
- 年齢別では、「50代」が最も高くなっています。
- 地域別では、「調布地域」が最も高くなっています。
- 生涯学習に対する意識・行動別では、「生涯学習実行・意向層」では84.5%である一方、「潜在的な生涯学習実行層」では80.0%、「無関心層」では77.8%にとどまっています。



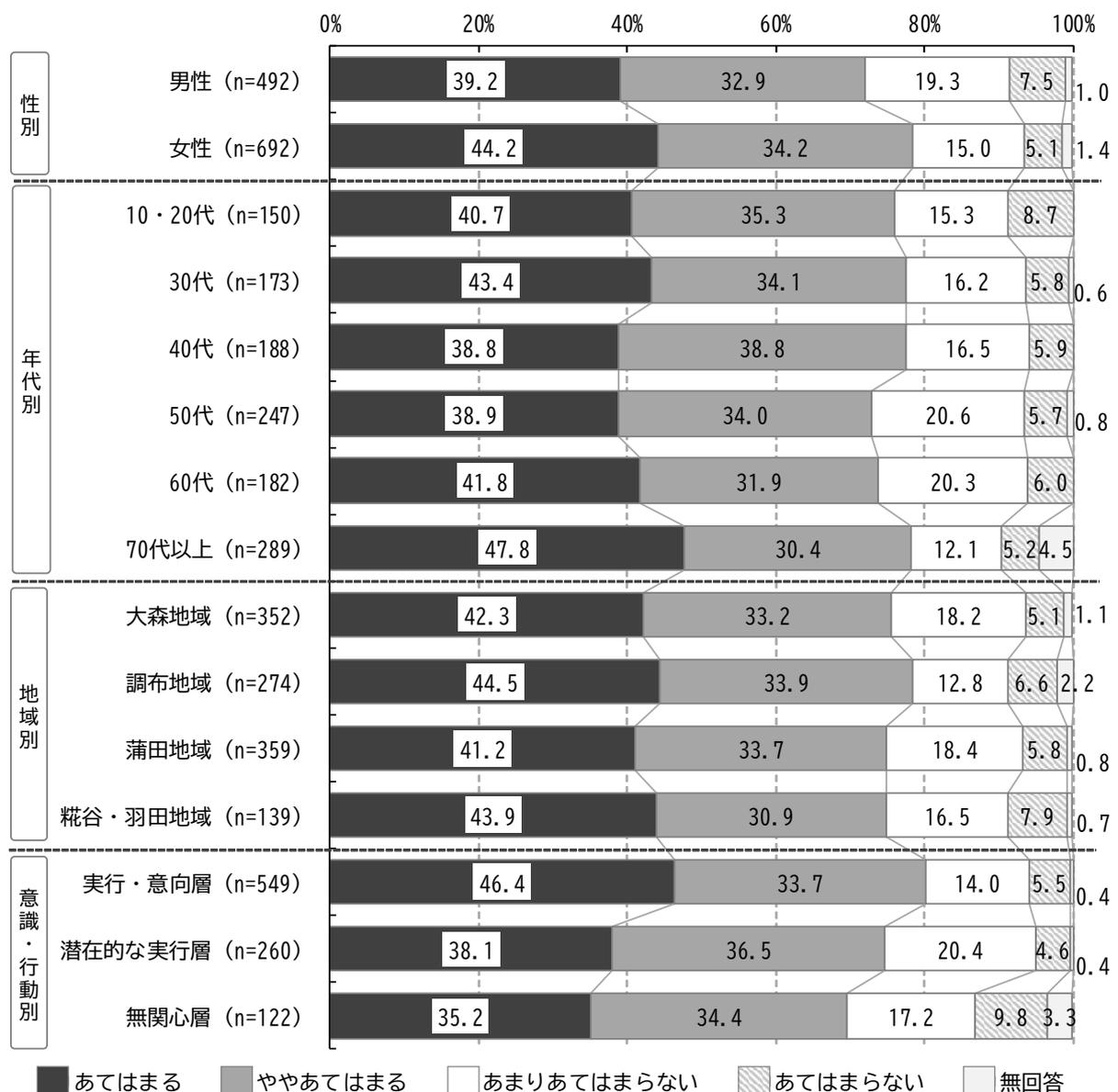
孤立感や孤独感がない

○「肯定的評価」をみると、性別では、「女性」の方が「男性」よりも6.3ポイント高くなっています。

○年齢別では、「70代以上」が最も高くなっています。

○地域別では、「調布地域」が最も高くなっています。

○生涯学習に対する意識・行動別では、「生涯学習実行・意向層」では80.1%である一方、「潜在的な生涯学習実行層」では74.6%、「無関心層」では69.6%にとどまっています。

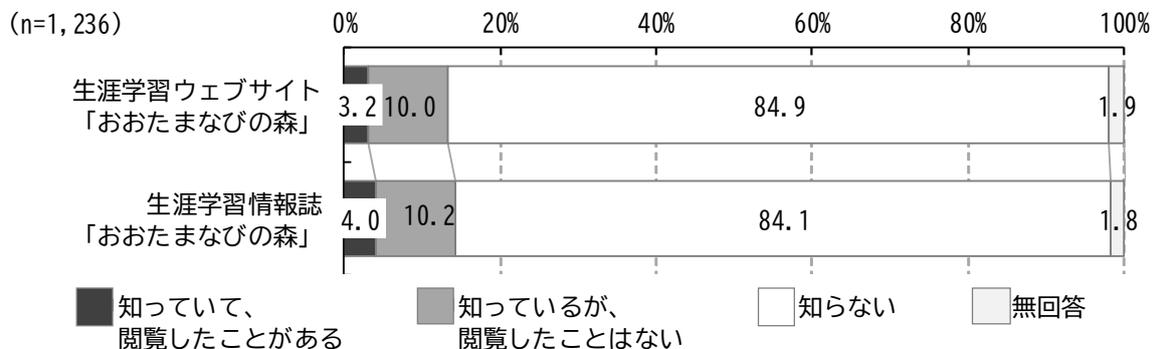


4 大田区の生涯学習施策・事業について

問 15 大田区の生涯学習に関する情報誌などについて、ご存じのものはありますか。
(○は各1つ)

○大田区の生涯学習に関する情報誌などについての認知度（「知っていて、閲覧したことがある」と「知っているが、閲覧したことはない」の合計）は、「生涯学習ウェブサイト「おおたまなびの森」」では13.2%、「生涯学習情報誌「おおたまなびの森」」では14.2%となっており、ともに「知らない」が8割半ばとなっています。

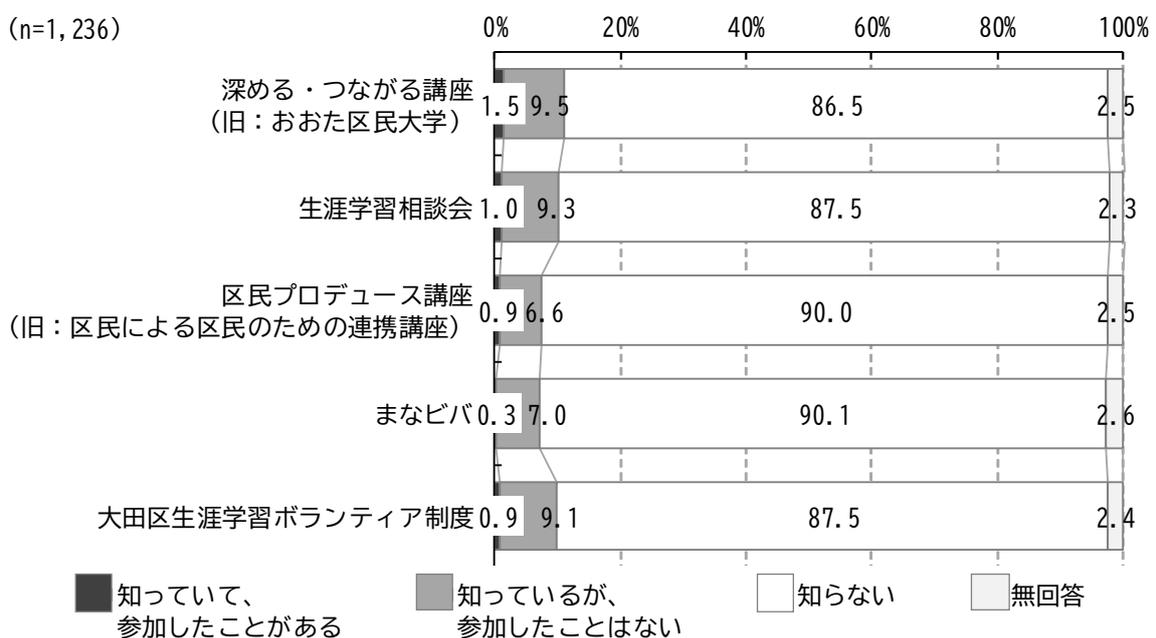
○閲覧経験については、「生涯学習ウェブサイト「おおたまなびの森」」では3.2%、「生涯学習情報誌「おおたまなびの森」」では4.0%となっています。



問 16 大田区の生涯学習に関する事業について、ご存じのものはありますか。(○は各1つ)

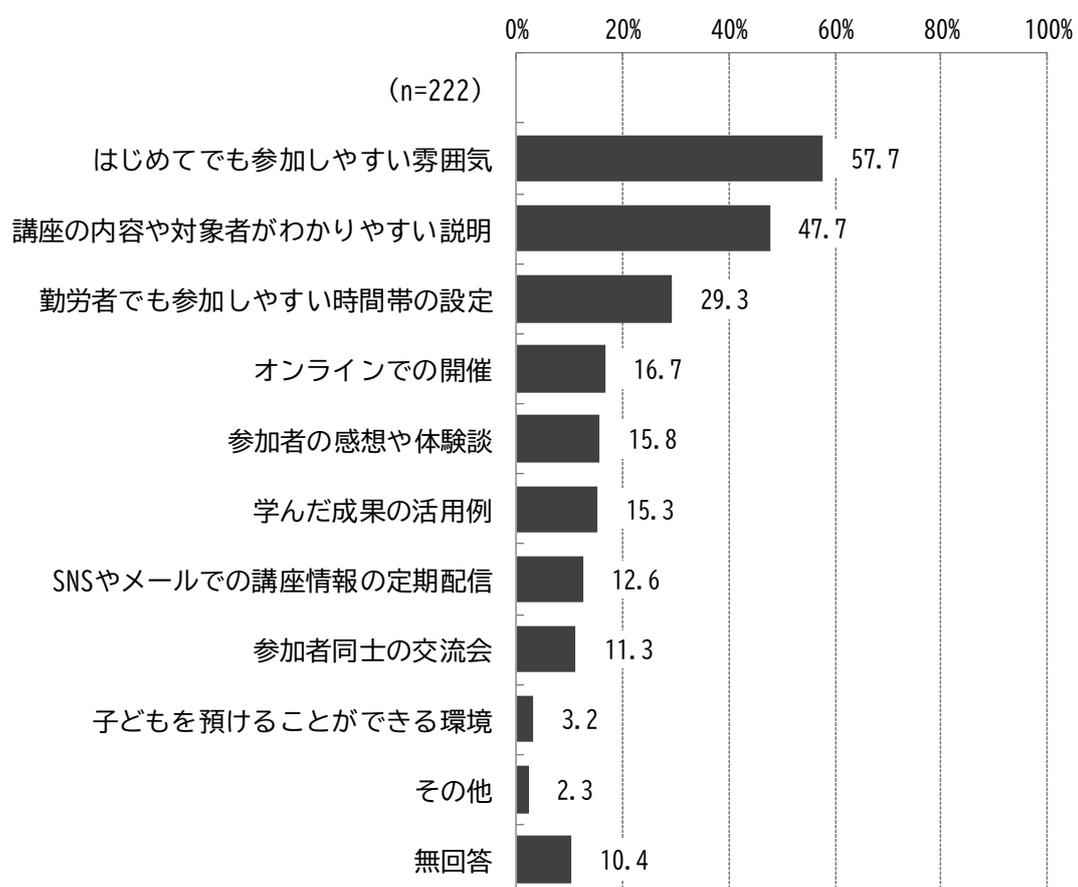
○大田区の生涯学習に関する事業などについての認知度（「知っている、参加したことがある」と「知っているが、参加したことはない」の合計）は、「深める・つながる講座（旧：おおた区民大学）」では11.0%、「生涯学習相談会」では10.3%、「大田区生涯学習ボランティア制度」では10.0%、「区民プロデュース講座（旧：区民による区民のための連携講座）」では7.5%、「まなびバ」では7.3%となっており、5事業全てについて「知らない」が8割半ばから約9割となっています。

○参加経験については、5事業全てについて1%台以下となっています。



問 17【問 16 のいずれかで「2. 知っているが、参加したことはない」を選択の方】
 どのような情報や環境があれば、生涯学習事業（講座など）に参加したいと思いますか。（〇はいくつでも）

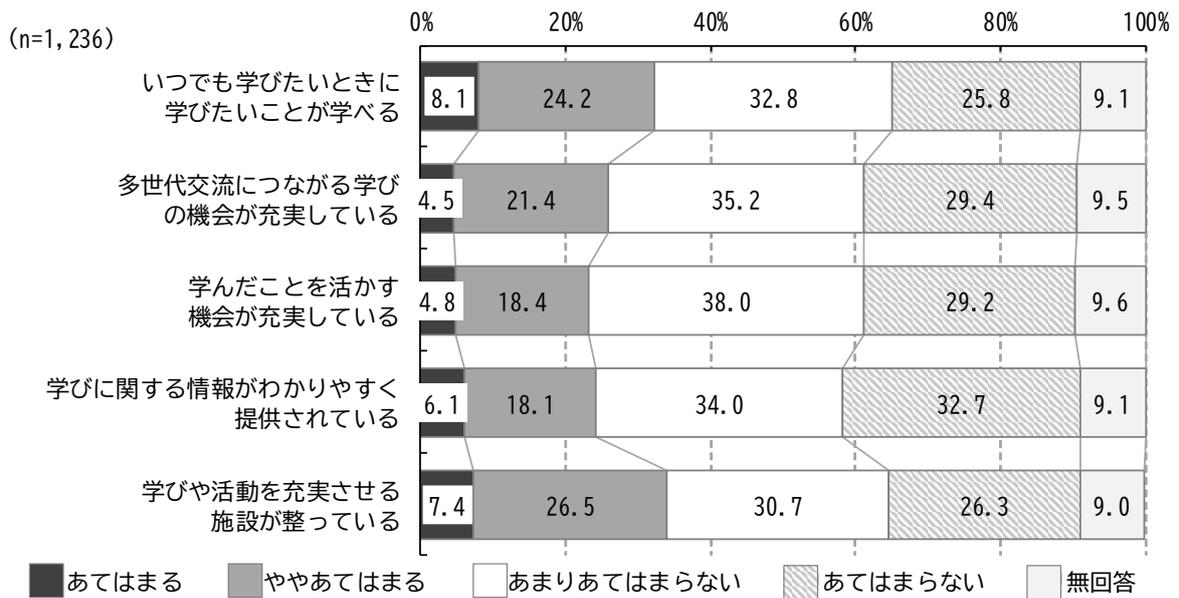
○大田区の生涯学習に関するいずれかの事業について、知っているが、参加したことはないと回答した方に、どのような情報や環境があれば、生涯学習事業（講座など）に参加したいと思うかについて、「はじめてでも参加しやすい雰囲気」（57.7%）が最も高く、次いで「講座の内容や対象者がわかりやすい説明」（47.7%）、「勤労者でも参加しやすい時間帯の設定」（29.3%）となっています。



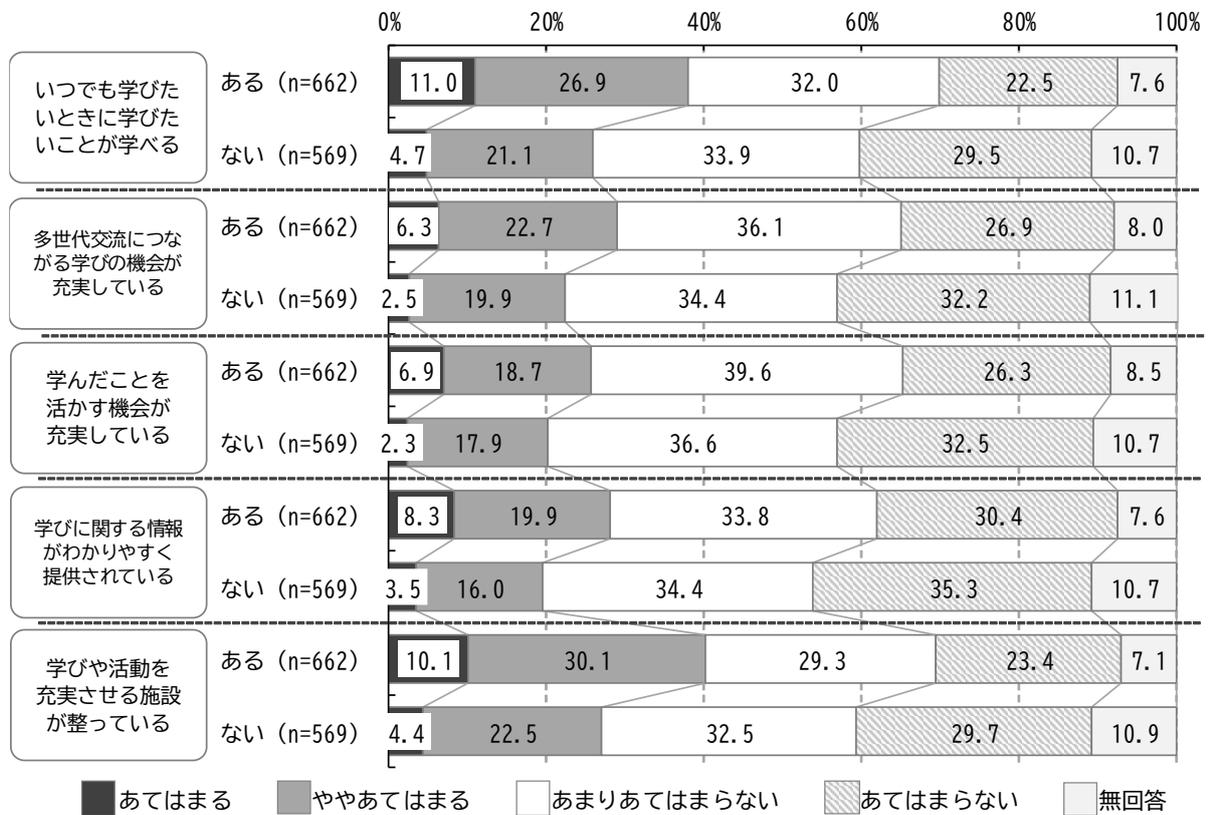
※大田区の生涯学習に関するいずれかの事業について「知っているが、参加したことはない」と回答した人（n=222）が対象。

問 18 現在の大田区の生涯学習について、あなたのお気持ちに最も近い番号に○を1つしてください。(○は各1つ)

○現在の大田区の生涯学習について、「学びや活動を充実させる施設が整っている」では「肯定的評価」（「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計）が33.9%で最も高く、次いで「いつでも学びたいときに学びたいことが学べる」（32.3%）となっており、5項目全てについて「否定的評価」（「あまりあてはまらない」と「あてはまらない」の合計）が5割半ばから6割半ばとなっています。



○最近1年間に生涯学習の実施状況別では、5項目全てにおいて「ある」の方が「ない」よりも「肯定的評価」が高くなっています。



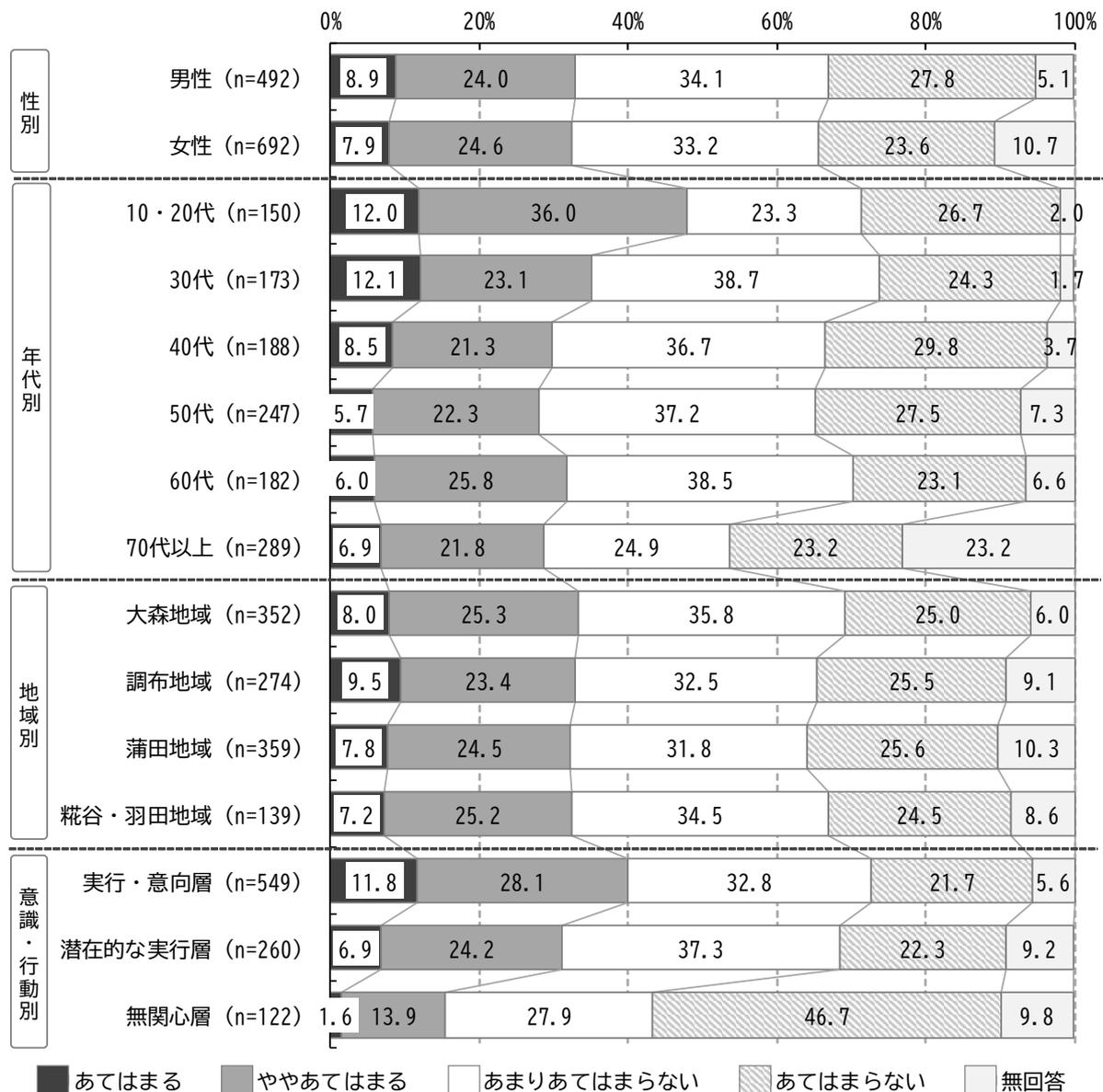
いつでも学びたいときに学びたいことが学べる

○「肯定的評価」をみると、性別では、「男性」「女性」ともにほぼ同等となっています。

○年齢別では、「10・20代」が最も高くなっています。

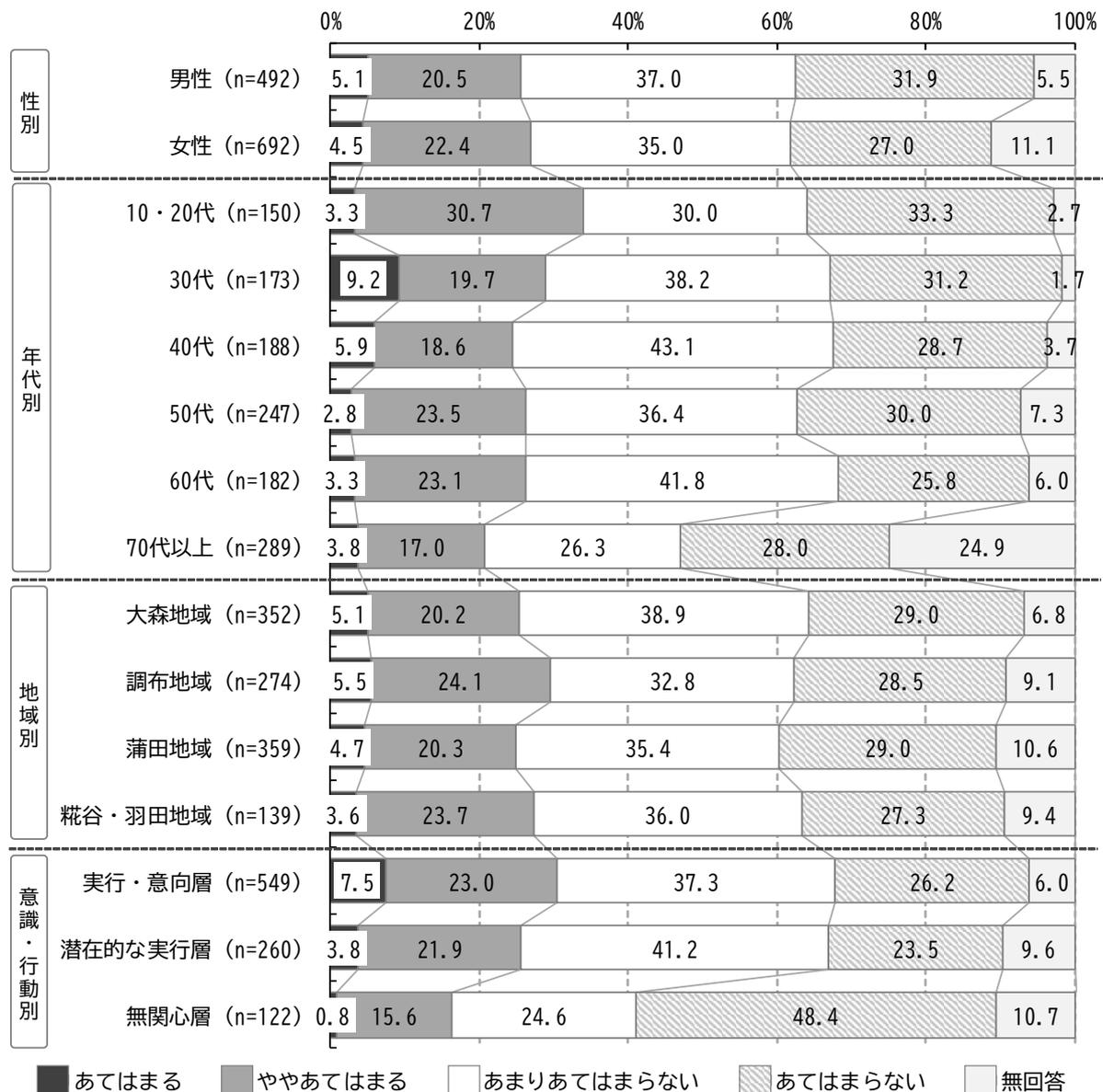
○地域別では、どの地域もほぼ同等となっています。

○生涯学習に対する意識・行動別では、「生涯学習実行・意向層」では39.9%である一方、「潜在的な生涯学習実行層」では31.1%、「無関心層」では15.5%にとどまっています。



多世代交流につながる学びの機会が充実している

- 「肯定的評価」をみると、性別では、「男性」「女性」ともにほぼ同等となっています。
- 年齢別では、「10・20代」が最も高くなっています。
- 地域別では、「調布地域」が最も高くなっています。
- 生涯学習に対する意識・行動別では、「生涯学習実行・意向層」では30.5%である一方、「潜在的な生涯学習実行層」では25.7%、「無関心層」では16.4%にとどまっています。



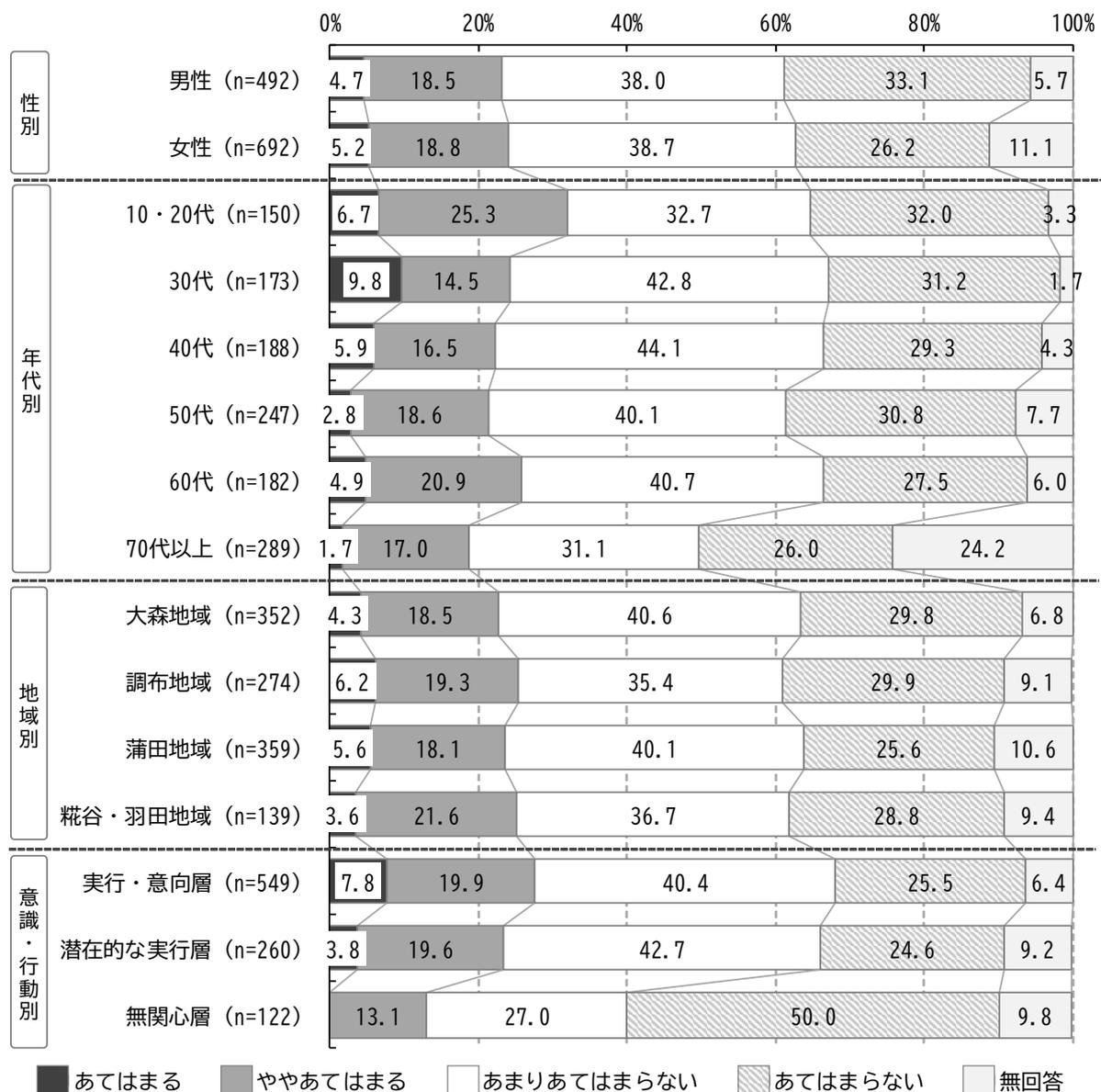
学んだことを活かす機会が充実している

○「肯定的評価」をみると、性別では、「男性」「女性」ともにほぼ同等となっています。

○年齢別では、「10・20代」が最も高くなっています。

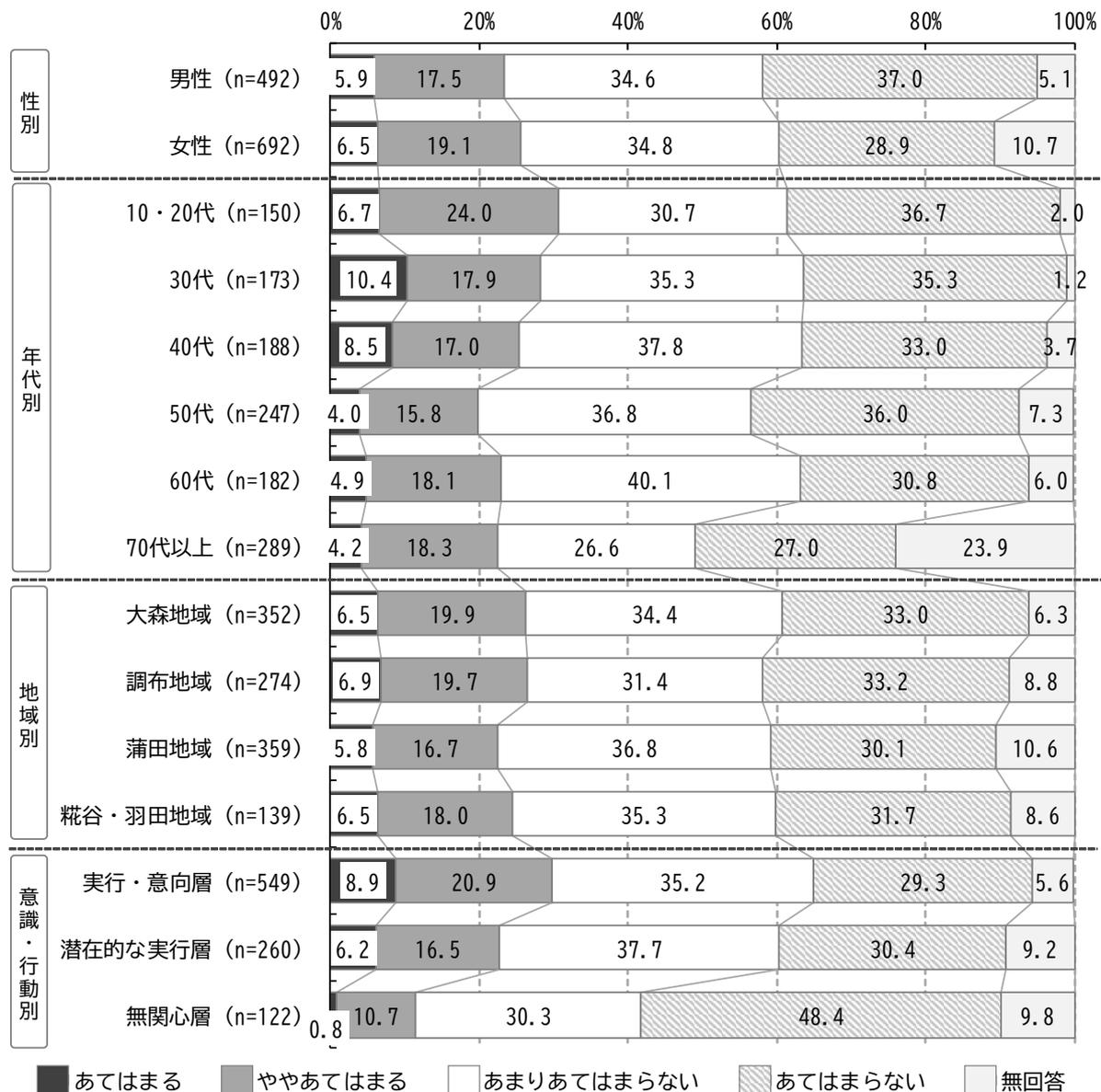
○地域別では、どの地域もほぼ同等となっています。

○生涯学習に対する意識・行動別では、「生涯学習実行・意向層」では27.7%である一方、「潜在的な生涯学習実行層」では23.4%、「無関心層」では13.1%にとどまっています。



学びに関する情報がわかりやすく提供されている

- 「肯定的評価」をみると、性別では、「女性」の方が高くなっています。
- 年齢別では、「10・20代」が最も高くなっています。
- 地域別では、「調布地域」が最も高くなっています。
- 生涯学習に対する意識・行動別では、「生涯学習実行・意向層」では29.8%である一方、「潜在的な生涯学習実行層」では22.7%、「無関心層」では11.5%にとどまっています。



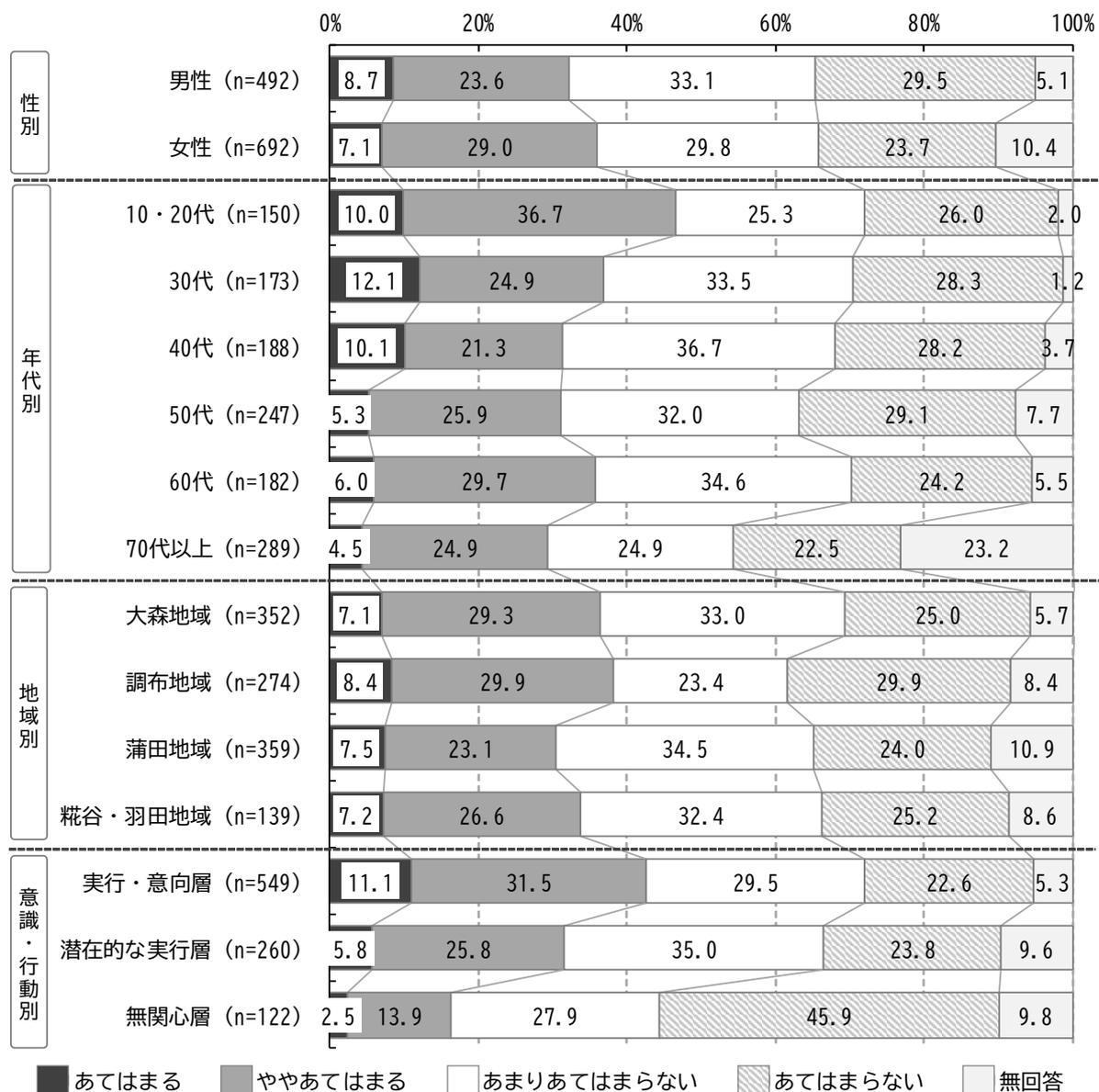
学びや活動を充実させる施設が整っている

○「肯定的評価」をみると、性別では、「女性」の方が高くなっています。

○年齢別では、「10・20代」が4割半ばで最も高くなっています。

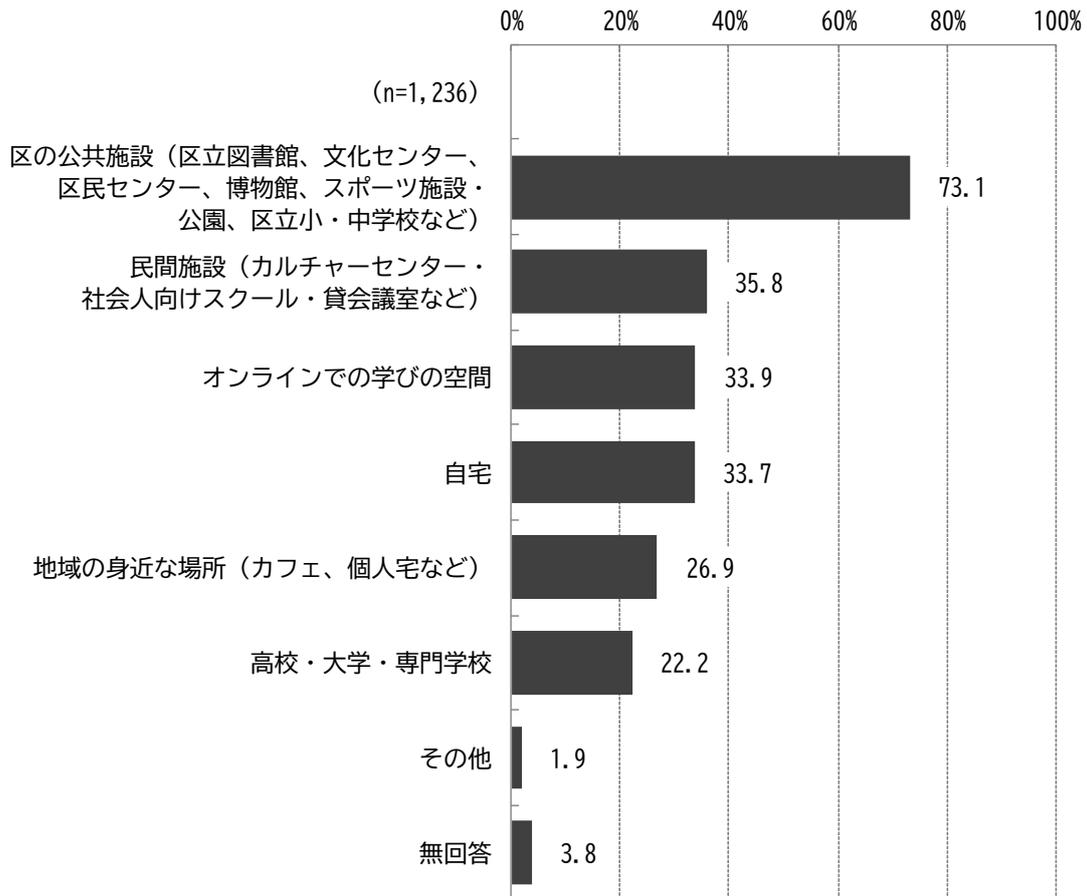
○地域別では、「調布地域」が最も高くなっています。

○生涯学習に対する意識・行動別では、「生涯学習実行・意向層」では42.6%である一方、「潜在的な生涯学習実行層」では31.6%、「無関心層」では16.4%にとどまっています。



問 19 あなたが生涯学習をするうえで、重要だと思う場所はどこですか。(〇はいくつでも)

○生涯学習をするうえで重要だと思う場所について、「区の公共施設（区立図書館、文化センター、区民センター、博物館、スポーツ施設・公園、区立小・中学校など）」(73.1%)が最も高く、次いで「民間施設（カルチャーセンター・社会人向けスクール・貸会議室など）」(35.8%)、「オンラインでの学びの空間」(33.9%)、「自宅」(33.7%)となっています。



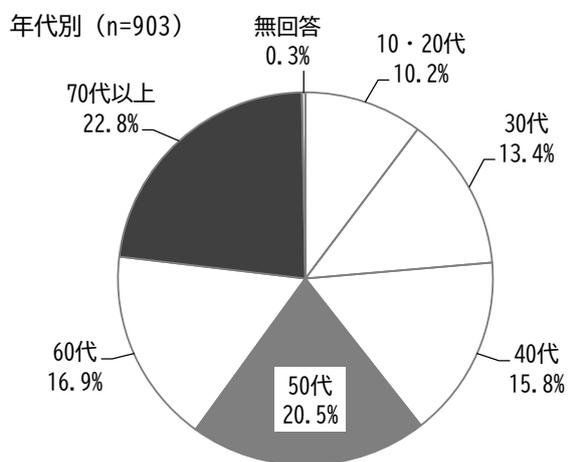
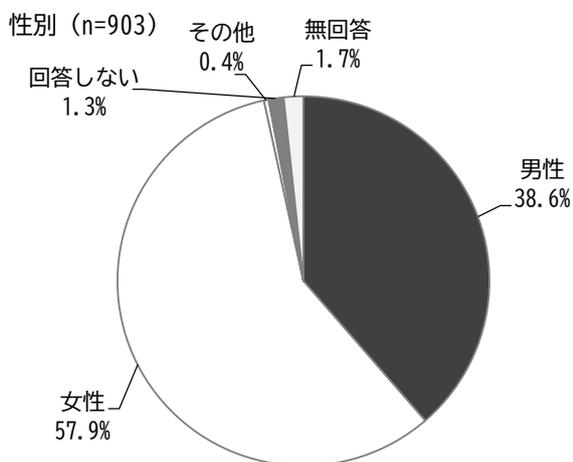
○性別、年代別ともに、全ての層で「区の公共施設（区立図書館、文化センター、区民センター、博物館、スポーツ施設・公園、区立小・中学校など）」最も高くなっています。

○「区の公共施設」に○をしたか・していないか別では、性別では「女性」（57.9%）の方が「男性」（38.6%）よりも「○をした」が高く、年代別では「70代以上」（22.8%）が最も高くなっています。

		n	区の公共施設 (区立図書館、文化センター、区民センター、博物館、スポーツ施設・公園、区立小・中学校など)	民間施設(カルチャーセンター・社会人向けスクール・貸会議室など)	オンラインでの学びの空間	自宅	地域の身近な場所(カフェ、個人宅など)
性別	男性	492	70.9	32.5	36.8	39.4	23.4
	女性	692	75.6	39.2	32.2	29.8	29.9
年代別	10・20代	150	61.3	30.7	44.0	58.7	40.7
	30代	173	69.9	39.9	45.7	49.7	44.5
	40代	188	76.1	37.8	49.5	41.5	32.4
	50代	247	74.9	42.5	41.3	31.2	21.9
	60代	182	84.1	44.0	26.9	21.4	18.1
	70代以上	289	71.3	24.2	10.0	16.3	15.9

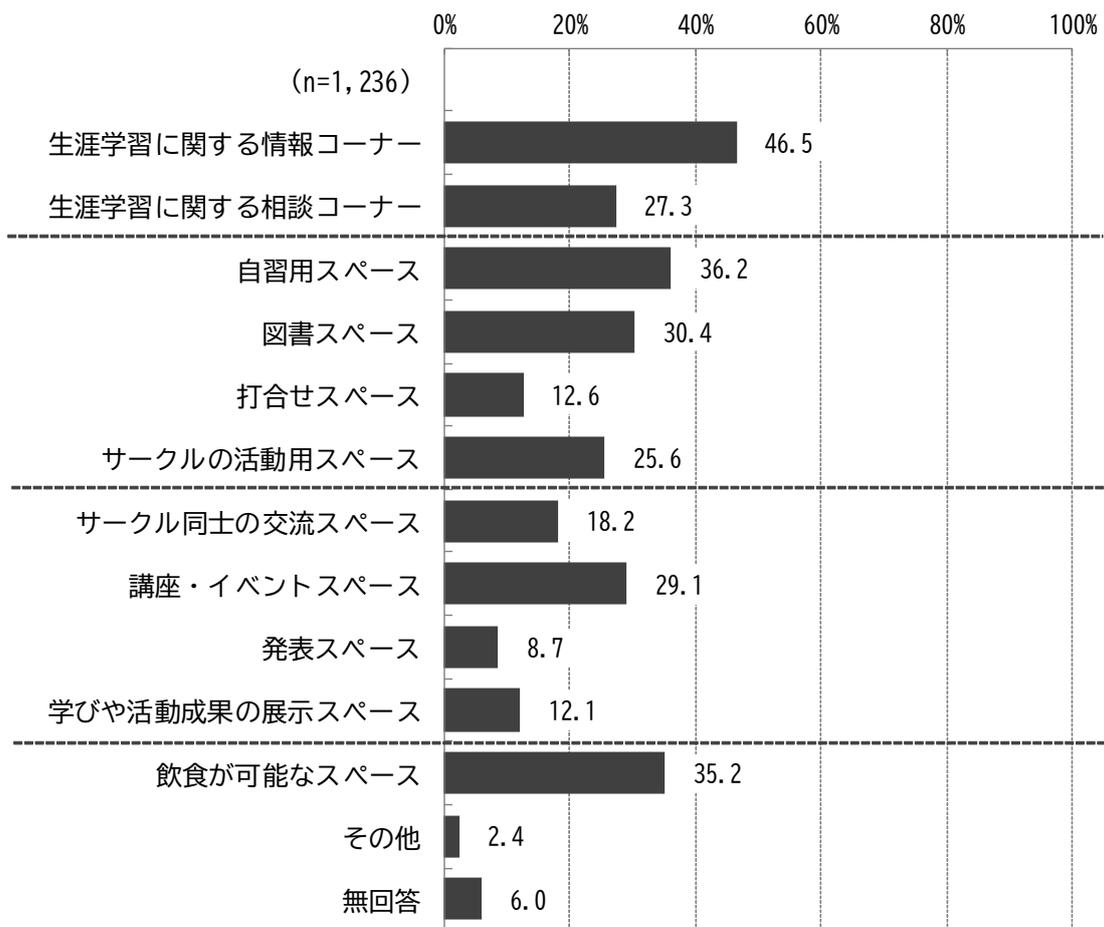
		n	高校・大学・専門学校	その他	無回答
性別	男性	492	26.2	2.6	2.6
	女性	692	19.7	1.3	3.8
年代別	10・20代	150	28.0	1.3	0.7
	30代	173	32.4	1.2	0.0
	40代	188	27.7	2.7	0.5
	50代	247	22.7	0.8	2.0
	60代	182	21.4	0.5	2.7
	70代以上	289	10.4	3.5	11.4

「区の公共施設」に○をしたか・していないか別

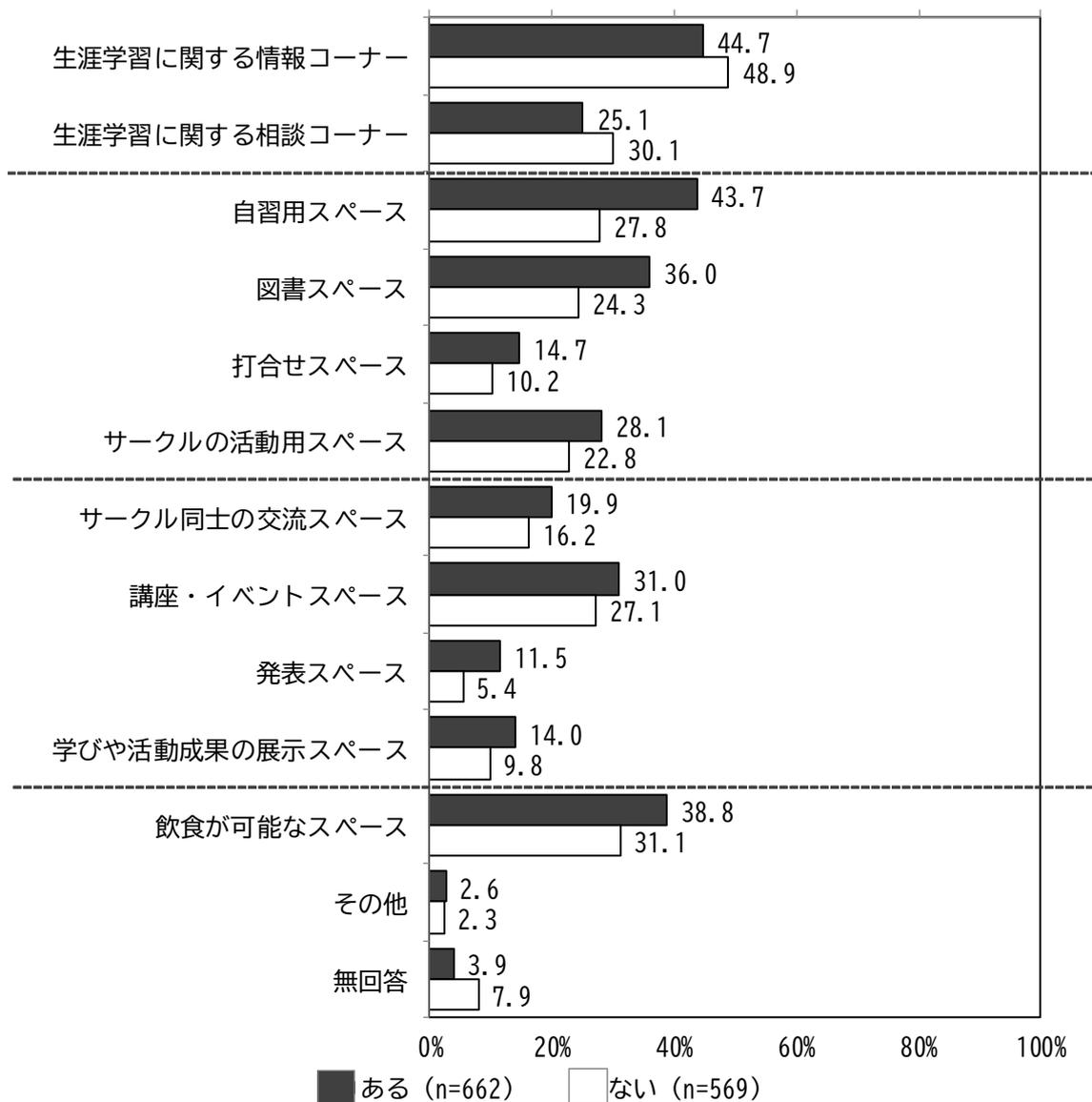


問 20 あなたが生涯学習を行う施設には、どのような機能・スペースがあるとよいと思いますか。(〇はいくつでも)

○生涯学習を行う施設には、どのような機能・スペースがあるとよいかについては、「生涯学習に関する情報コーナー」(46.5%)が最も高く、次いで「自習用スペース」(36.2%)、「飲食が可能なスペース」(35.2%)、「図書スペース」(30.4%)、「講座・イベントスペース」(29.1%)となっています。

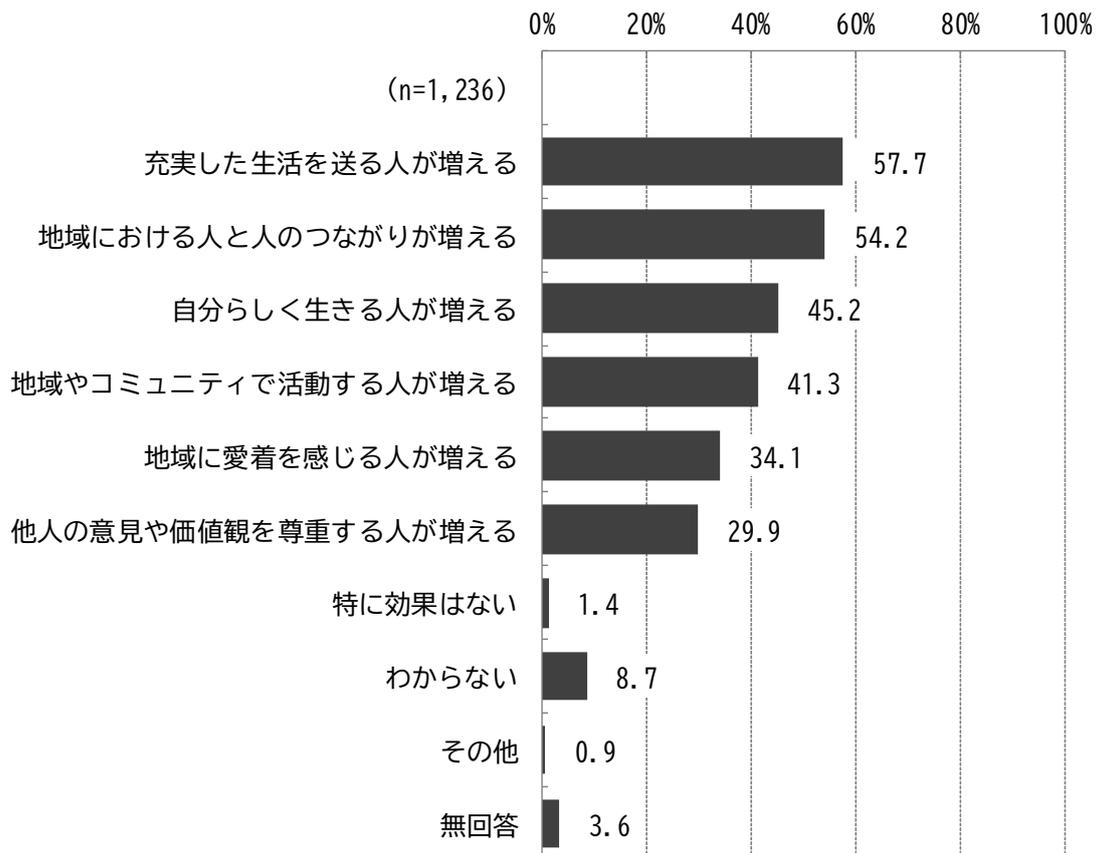


○最近1年間に生涯学習の実施状況別でみると、「ある」では「生涯学習に関する情報コーナー」(44.7%)が最も高く、次いで「自習用スペース」(43.7%)、「飲食が可能なスペース」(38.8%)、「図書スペース」(36.0%)、「講座・イベントスペース」(31.0%)となっています。



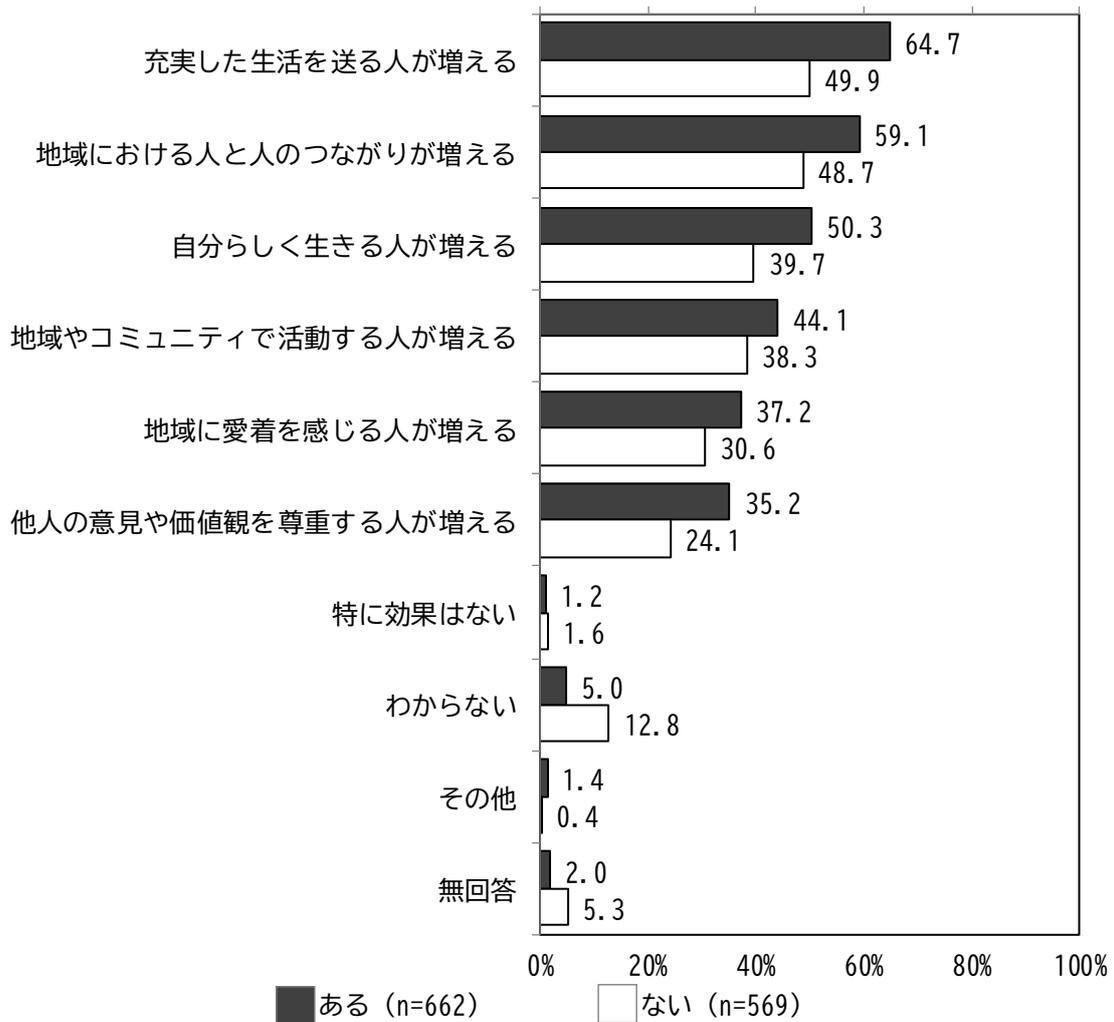
問 21 区が生涯学習を推進することで、まちにどのような効果があると思いますか。
(〇はいくつでも)

○大田区が生涯学習を推進することで、まちにどのような効果があるかについて、「充実した生活を送る人が増える」(57.7%)が最も高く、次いで「地域における人と人のつながりが増える」(54.2%)となっています。



○最近1年間に生涯学習の実施状況別では、「ある」「ない」とともに、全体と同様、「充実した生活を送る人が増える」が最も高く、次いで「地域における人と人のつながりが増える」となっています。

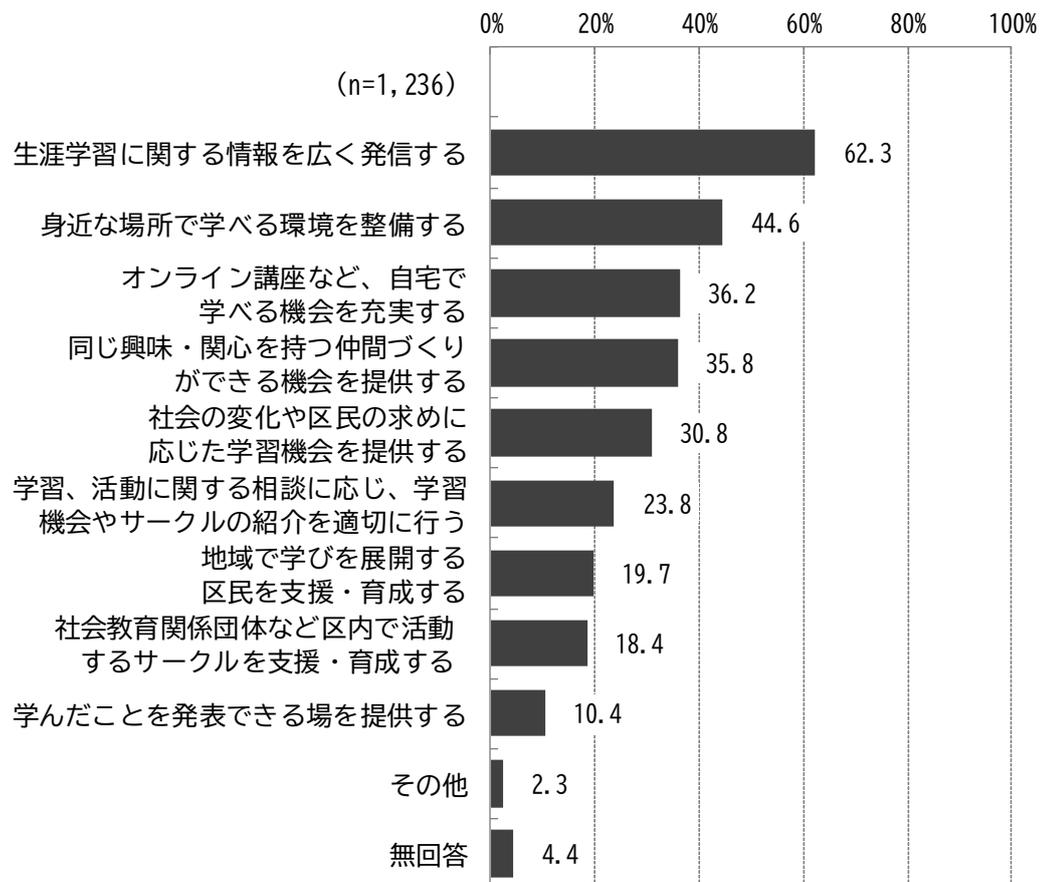
○また、「特に効果はない」「わからない」以外の項目では、「ある」の方が「ない」よりも高くなっています。



※全体の降順で並び替え。

問 22 大田区において、今後、生涯学習をもっと盛んにしていくために、どのような取組みを重視した方が良いと思いますか。(〇はいくつでも)

○大田区において、今後、生涯学習をもっと盛んにしていくために重視した方が良い取組みについて、「生涯学習に関する情報を広く発信する」(62.3%)が最も高く、次いで「身近な場所で学べる環境を整備する」(44.6%)、「オンライン講座など、自宅で学べる機会を充実する」(36.2%)、「同じ興味・関心を持つ仲間づくりができる機会を提供する」(35.8%)、「社会の変化や区民の求めに応じた学習機会を提供する」(30.8%)となっています。



○性別では、「男性」「女性」とともに「生涯学習に関する情報を広く発信する」が高くなっています。

○年代別、地域別では、全ての層で「生涯学習に関する情報を広く発信する」が高くなっています。

○生涯学習に対する意識・行動別では、サンプルサイズが小さい層を除き、全ての層で「生涯学習に関する情報を広く発信する」が高くなっています。

		n	生涯学習に関する情報を広く発信する	身近な場所で学べる環境を整備する	オンライン講座など、自宅で学べる機会を充実する	同じ興味・関心を持つ仲間づくりができる機会を提供する	社会の変化や区民の求めに応じた学習機会を提供する
性別	男性	492	63.6	39.2	39.8	35.8	32.5
	女性	692	63.2	48.8	34.4	36.4	30.5
年代別	10・20代	150	62.7	45.3	44.7	28.7	22.7
	30代	173	59.5	45.7	43.4	39.3	33.5
	40代	188	64.4	45.2	50.5	40.4	38.3
	50代	247	66.8	47.4	45.3	30.4	35.6
	60代	182	70.9	46.2	29.1	36.3	36.8
	70代以上	289	54.0	40.1	14.5	39.1	21.5
地域別	大森地域	352	59.9	46.3	36.6	36.6	34.4
	調布地域	274	64.6	46.4	37.6	32.5	31.0
	蒲田地域	359	62.4	42.3	38.4	35.9	29.0
	糀谷・羽田地域	139	61.2	47.5	30.2	33.8	22.3
意識・行動別	生涯学習実行・意向層	549	65.9	47.9	41.5	39.2	38.3
	潜在的な生涯学習実行層	260	71.2	48.8	35.8	39.2	34.6
	無関心層	122	39.3	37.7	20.5	24.6	10.7

		n	学習、活動に関する相談に応じ、学習機会やサークルの紹介を適切に行う	地域で学びを展開する区民を支援・育成する	社会教育関係団体など区内で活動するサークルを支援・育成する	学んだことを発表できる場を提供する	その他
性別	男性	492	26.8	20.3	19.5	10.4	2.0
	女性	692	22.1	19.9	18.2	10.3	2.5
年代別	10・20代	150	22.7	16.0	14.7	10.0	0.7
	30代	173	24.3	27.7	22.0	14.5	2.9
	40代	188	28.2	22.9	21.3	9.6	3.7
	50代	247	21.1	21.1	17.0	11.3	1.6
	60代	182	30.8	20.3	19.8	8.8	2.2
	70代以上	289	19.7	13.5	17.3	9.0	2.8
地域別	大森地域	352	22.2	21.0	20.7	11.4	3.7
	調布地域	274	23.7	21.5	17.5	9.9	1.8
	蒲田地域	359	22.3	17.0	17.8	9.5	1.1
	糀谷・羽田地域	139	25.9	16.5	13.7	8.6	2.9
意識・行動別	生涯学習実行・意向層	549	27.0	25.5	23.3	13.7	2.6
	潜在的な生涯学習実行層	260	30.0	21.2	20.0	10.4	1.5
	無関心層	122	15.6	9.8	8.2	5.7	3.3

問 23 あなたが大田区で自主的に学ぶことや学んだことを活かす場・機会などについて、御意見があれば御記入ください。(抜粋)

■内容 ※意見は原文のまま記載しています。

(1) 学習機会の充実

- オンライン講座などでも、顔出しなしで耳だけの参加でもよいなど、移動時間や隙間時間などで気軽に参加できるもの、試しに参加してみようと思えるもの、はじめの一步を踏み出しやすいものがあれば良いと思う。(女性、30 歳代)
- 平日の夜や土日など、働く若い世代が横のつながりを得ることができるような仕組みがあると、いい気がします。(女性、30 歳代)
- 子育て中は中々参加出来ない為、子連れ OK なサークル等があると参加してみたい。その情報を自分からつかみに行かないと得られないので、興味がわからない限りある事すら知らない。(女性、30 歳代)
- 小学校の中で放課後子どもたちが習い事などできたらいいと思う。(女性、40 歳代)
- シニアにとって、場所が遠く通えない等がある。働く人は時間が合わない。指導者が完全に資格等がなくても、少しやってみたい、人が集まれる場所、機会があればと思う。1 歩何かに参加出来るような、きっかけがあれば広がるのでは。その中に入る 1 歩、ドアを開ける行動が重い。大きなスペースで見学会、紹介イベント等どうでしょうか。(女性、50 歳代)
- 一人でも参加できる場の提供や、お試して体験できる機会があれば、やってみたいけど躊躇している人が参加しやすくなると思います。(女性、50 歳代)
- もっと身近な事が色々あれば気楽に参加したいです。(女性、70 歳代)
- オンライン講座の充実と発信がもっと必要だと思います。(男性、50 歳代)
- 1 回からでも気軽に参加できる場 (男性、60 歳代)

(2) 施設・環境整備

- みんなが気軽に使えるスポーツ施設が増えたらいいですね！バスケットボールのコートなど。(女性、20 歳代)
- 図書館や集会所に、解放された広いエントランスホールがあったり、管理された施設の一部に、多様な世代が集えるような、いこいの場所があると良いと思う。(女性、40 歳代)
- 良い場所は競争が激しくなかなか利用出来る機会が無い。(女性、50 歳代)
- 自宅近くに学べる場所があれば参加したい。公共の電車・バスに乗ってまで行く気になれない。(女性、60 歳代)
- 図書館ではなく、自習のみ出来る飲食可能なスペースがあれば良いと思います。24 時間 365 日で。学校・自宅以外のサードスペースが欲しいです。(男性、10 歳代)
- 音楽を練習できる環境が少ないです。騒音問題も以前より深刻化してますし、環境整備がなければ音楽活動ができません。(男性、30 歳代)
- 気軽にランニングができる場、距離表示や信号がないところ、トラックなど活動しやすい場所がもっとあれば良いと思う。(男性、40 歳代)

- 図書館のように充実した施設や、気軽に利用できる自習スペースを更に発展させていく事で利用者が増え自主的な学びをする人が増える。(男性、40 歳代)
- ボランティア活動の部屋や打合せルームの使用施設を充実して欲しい。(男性、70 歳代)

(3) 情報発信・周知徹底

- サークルやボランティアに関する情報をもっと目に入る所で見える化してほしい。何処で何が行われているかが分からないので学ぶ機会や学ぼうと思う人が増えていかないだと思います。(女性、20 歳代)
- 学ぶ、学んだことを活かせる場の情報を SNS などでも積極的に発信して目にする機会を増やすとよいのではと思う。(女性、40 歳代)
- 大田区の生涯学習の事業がたくさんあるのに、全く知らなかったのこれから活用したいと思いました。気軽に挑戦できる講座などがあれば参加し、より自分や家族、友達の人生が豊かに出来ると思います。(女性、50 歳代)
- 大田区で生涯学習を行っている情報をもっと知りたい。(女性、70 歳代)
- 活かす場を演出する機会があることを、もっと広報すべきだと思う。(男性、30 歳代)
- おおたまなびの森、1 日おおた区民大学等の存在を知らなかったの、活用していきたい。図書館や公園は充実していると思う。(男性、40 歳代)
- デジタルサイネージ web 広告を使って情報にふれる機会を増やして欲しい。利用する毎にポイントがつき、税の優遇が受けられるようにすれば、利用者が増え、地域貢献につながる。(男性、40 歳代)
- そもそも情報が全く入ってこない。(男性、50 歳代)

(4) 交流・コミュニティ形成

- 20 代、30 代の人間がもう少し参加しやすい環境がほしい。行政機関で働いていた経験があるため市民活動や生涯学習といった言葉に馴染みがありますが、周りの多くの知り合いは、たとえば区民が利用できるスペースがあることすら知らない人も多いと思います。また平等性を重視しすぎるせいで非常に使いにくい予約システムや市の情報ページなども改善できたらしてほしいです。また多くのサークルなどは高齢者やママ友で構成されているイメージで、友達や何か新しい趣味を探したい独身の人間は参加しにくいイメージです。新しい参加者が入って行きやすいように SNS などでも情報発信してほしいです。(女性、30 歳代)
- 言語交流会（ランゲージエクステンション）があると、地域に住む外国人と交流もできるしお互いの言語を勉強できていいかもしれないと思います（大田区がどんな生涯学習を展開しているのかそもそも知らないのでもうあったらすみません）。(女性、40 歳代)
- 同じ趣味や興味がある分野を持つもの同士が交流できる機会。(女性、50 歳代)
- 私自身は長年外国語をカルチャーセンターや語学学校で学んでいますが、それが他の方の役に立つようなものかわかりません。例えば、「～が学びたい」「～が知りたい」といったリクエストと、提供できる人を結べるシステムがあれば良いかと思います。(女性、60 歳代)

- 健康な高齢者は、自分ももっと他人の為に役に立ちたいと思っている。ただ、どこで人を求めているかが分からない。(女性、70 歳代)
- 自分がしたい/学びたい/出きることを事前に登録しておき、地域の講座やボランティア、サークルとマッチングする仕組みを作って欲しいです。(男性、40 歳代)
- 仲間を集めたいが、誰が来るかわからないのが、少々怖い。大田区で身元を確認した方に声をかける仕組みがあれば良いと思います。(男性、60 歳代)
- NP0・地域活動フォーラムのようなもので、出展発表する側のハードルがもう少し下がってよりたくさんの方のサークルや人が参加できるもの、そこで時間をかけて交流したい。(男性、70 歳代)

(5) 活動・成果の活用支援

- 作った作品の展示会、同じ年代の人との楽しめる展示会があると良いと思う。(女性、30 歳代)
- 年配の方が生きがいを持てるボランティアが充実すると良いですね。自治会館には年配の方の無料スマホ講座に人が沢山集まっています。フリーランスの人が活躍できる様な場もあると思います。物づくりを発表、販売する場やマルシェの様な感じで色々な講座が気軽に体験できる場。生涯学習で学んだことを発表する→インストラクターも完全ボランティアというよりは報酬も得られる場の方が、お互いにとって質の高いものが生まれると思う。活発な場になると思いました。(女性、40 歳代)
- 活かすという点では地域のボランティアや学びの場でのマンパワーの輪を広げていくための学び自体の機会を有償で設定する・地域内の施設（保育園含む学校、公共団体）などで働く方へ学びの機会を積極的に案内することでその後の活かすまで繋がる。(女性、50 歳代)
- 資格や技術を持っている区民が自分の情報を宣伝できるオンラインの選手名鑑みたいなサイト。区民はこれを見て興味のある人へ学びの申込をでき、学んだ事を活かしたい人は、活かせる機会を創出できる可能性が持てる。学んだ事を活かしたいのに、その場がなかったり、どうやれば活かせるのか分からない人も多いと思う。学びを通じて区民が活発に交流できると素晴らしいと思います！(女性、50 歳代)
- 2年、3年とより専門的に学んだ場合、大田区でボランティア指導者として登録し、活躍出来る場や機会があれば良いのにと願う。(女性、70 歳代)
- 区民による発表の場を提供。場所がない場合はオンラインを活用して発表をするのもいいかもしれない。区の SNS を有効活用し、区民に対して情報発信を継続する必要があると思う。(男性、20 歳代)
- 会社員や自営業者が副業（またはスポットでの有償講師）として自身のスキルを教えられる仕組みがあると良いと思う。(男性、40 歳代)
- 学んだ事を活かす場として、発表の他に人に伝える練習ができる場などがあると嬉しい。例えば講師の卵として教えられる教室など。試しに体験することができると嬉しい。(男性、50 歳代)
- 学んだことが活かされる仕事やボランティアの斡旋紹介。(男性、60 歳代)
- 。区民による研究発表の場を、規模に関わらず継続的に提供していくことが大切だと思う。(男性、70 歳代)

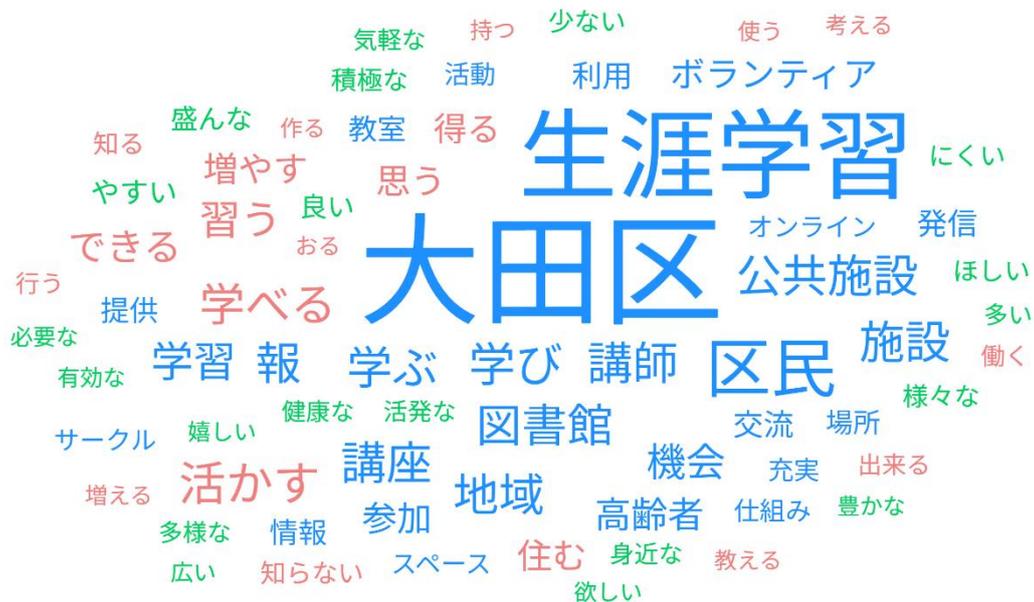
(6) 費用負担・優遇

- もう少し区民を優遇してほしい。(女性、20 歳代)
- 自分でやっているなので助成金等が出れば積極的に参加するかもしれません。(男性、30 歳代)
- 教室を使用する時の費用を安く使用したい。(男性、60 歳代)

(7) その他

- 私は JAL 工場見学に 1 回行ったらものすごくはまり、1 回目は今年の 5 月、それから 5 回も行きました。元 CA や、パイロット他が案内してくれて、とても楽しい場所です。(女性、50 歳代)
- 文化センターで着付けを習い、近所の方にお着せ出来る迄になり、感謝しています。(女性、70 歳代)

【ワードクラウド】



○「大田区の生涯学習」において、「区民」「施設」「講座」「講師」「地域」「機会」「学ぶ/学び/学習」「活かす」等の単語が比較的大きく抽出されていることから、「大田区の生涯学習において、区民は、施設、講座、講師、地域、機会等のキーワードを軸として、どのように学び・活かすのかを重視している」ことがうかがえます。

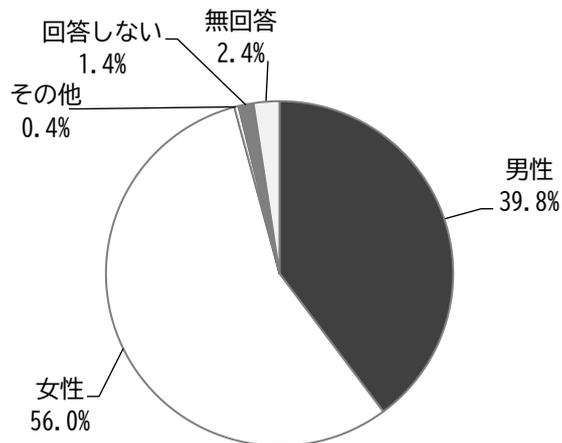
※「ユーザーローカル AI テキストマイニングによる分析 (<https://textmining.userlocal.jp/>)」をもとに作成。

5 基本属性

性別 (○は1つ)

○性別は、「女性」が56.0%、「男性」が39.8%、「回答しない」が1.4%となっています。

(n=1,236)

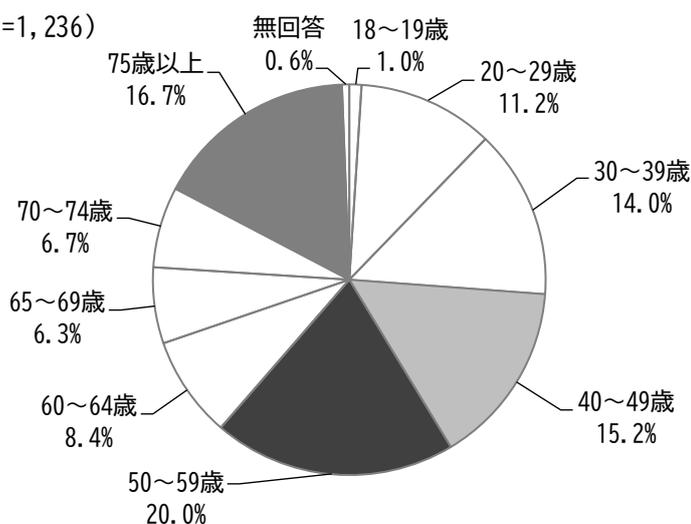


年齢 (○は1つ)

○年齢は、「50～59歳」(20.0%)が最も高く、次いで「75歳以上」(16.7%)、「40～49歳」(15.2%)となっています。

○母集団の18歳以上人口での年齢別割合と比較すると、「20～29歳」「30～39歳」で低い一方、「40～49歳」でほぼ同等、「50～59歳」以上では高くなっています。

(n=1,236)



【母集団の年齢別人口割合 (%)】

18歳以上人口全体 (654,297名)	
18～19歳	1.7
20～29歳	17.6
30～39歳	15.7
40～49歳	15.8
50～59歳	17.6
60～69歳	11.8
70～79歳	10.9
80歳以上	8.9

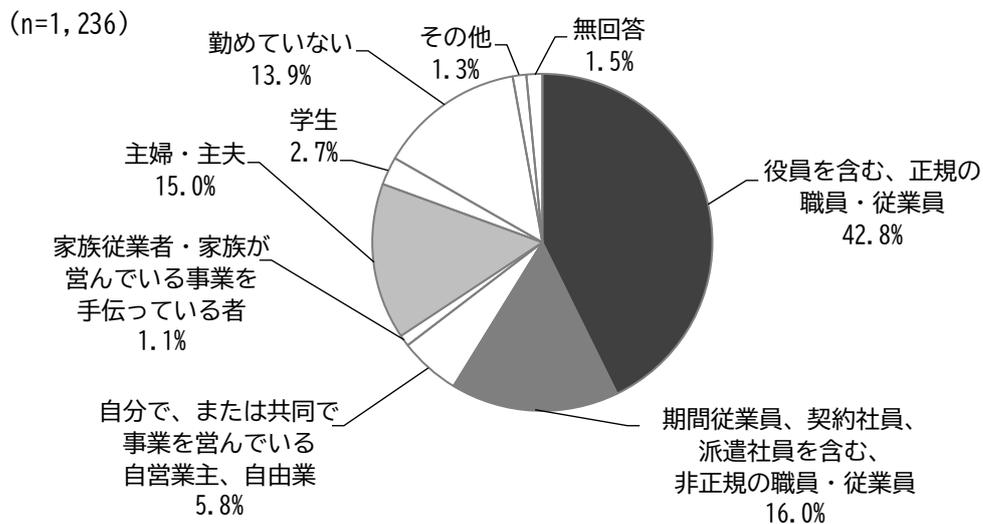
【性別・年齢別】

単位: n

	合計	18～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 74歳	75歳 以上	無回答
男性	492	11	49	83	77	99	47	33	33	59	1
女性	692	-	86	88	101	145	50	42	46	132	2
その他	5	-	2	1	2	-	-	-	-	-	-
回答しない	17	-	-	1	7	1	2	1	2	3	-

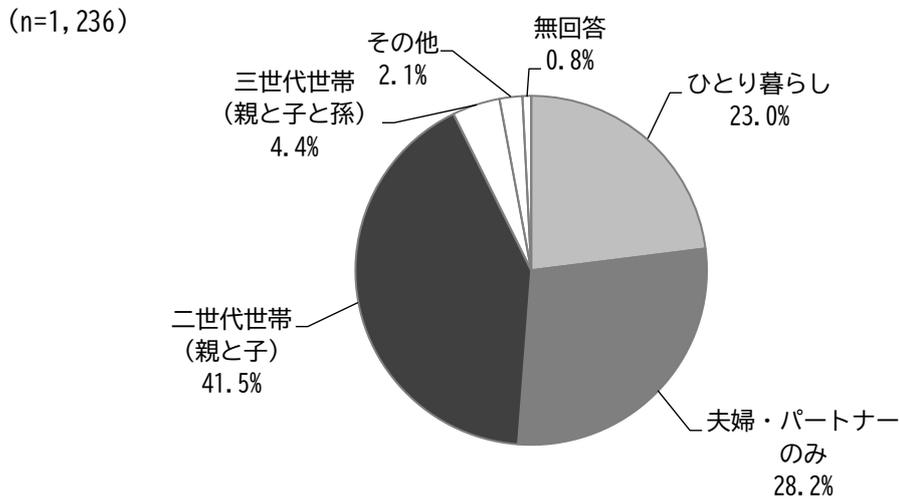
職業 (○は1つ)

○職業は、「役員を含む、正規の職員・従業員」(42.8%) が最も高く、次いで「期間従業員、契約社員、派遣社員を含む、非正規の職員・従業員」(16.0%)、「主婦・主夫」(15.0%) となっています。



世帯類型 (〇は1つ)

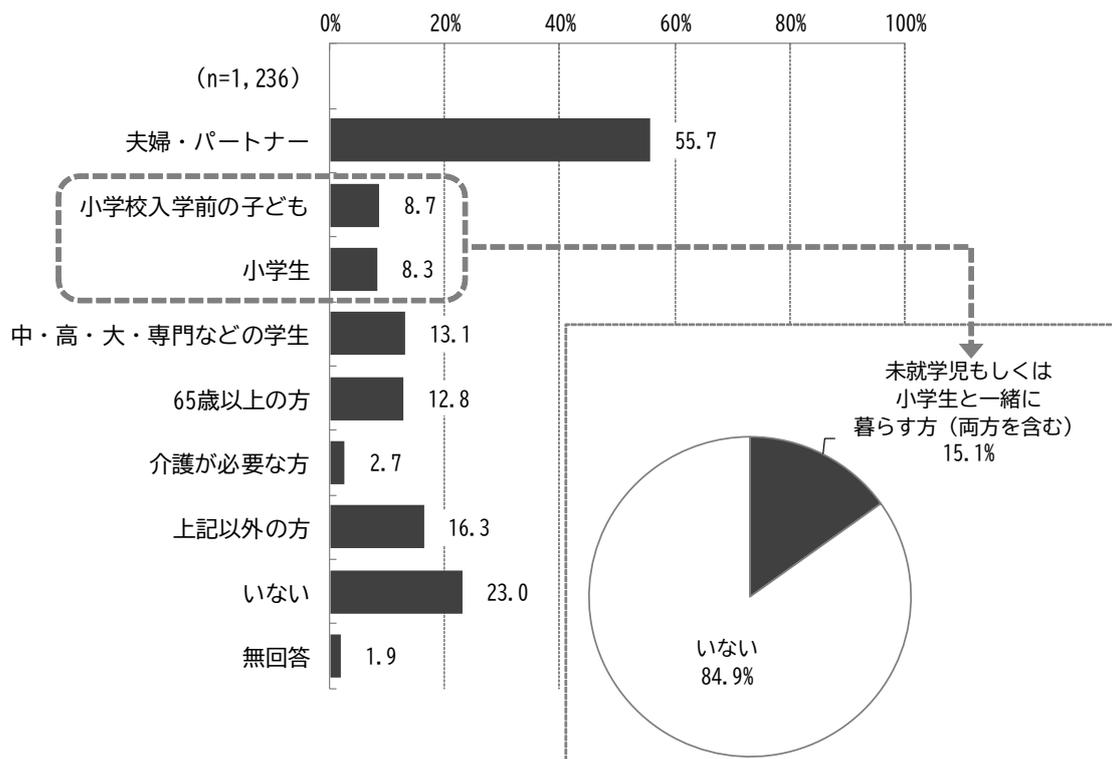
○世帯類型は、「二世帯世帯 (親と子)」(41.5%) が最も高く、次いで「夫婦・パートナーのみ」(28.2%)、「ひとり暮らし」(23.0%) となっています。



現在一緒に暮らす方 (〇はいくつでも)

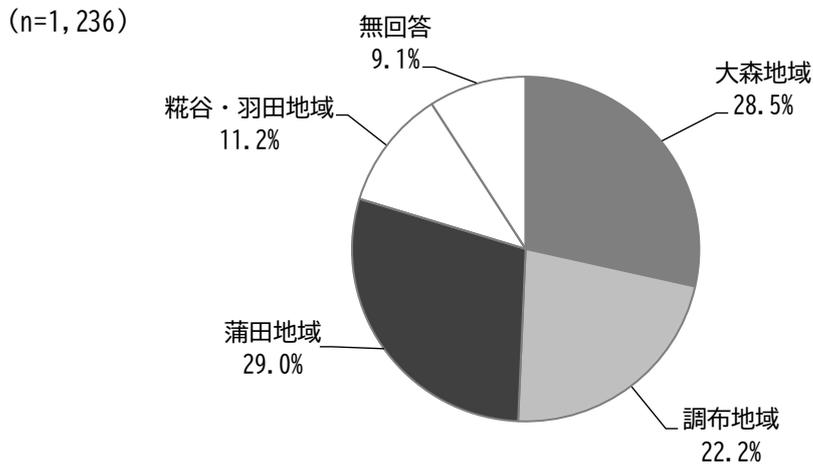
○現在一緒に暮らす方は、「夫婦・パートナー」(55.7%) が最も高くなっています。

また、「未就学児もしくは小学生と一緒に暮らす方 (両方を含む)」は 15.1% となっています。



居住地区（〇は1つ）

○居住地は、「蒲田地域」が29.0%、「大森地域」が28.5%、「調布地域」が22.2%、「糀谷・羽田地域」が11.2%となっています。



単位：%

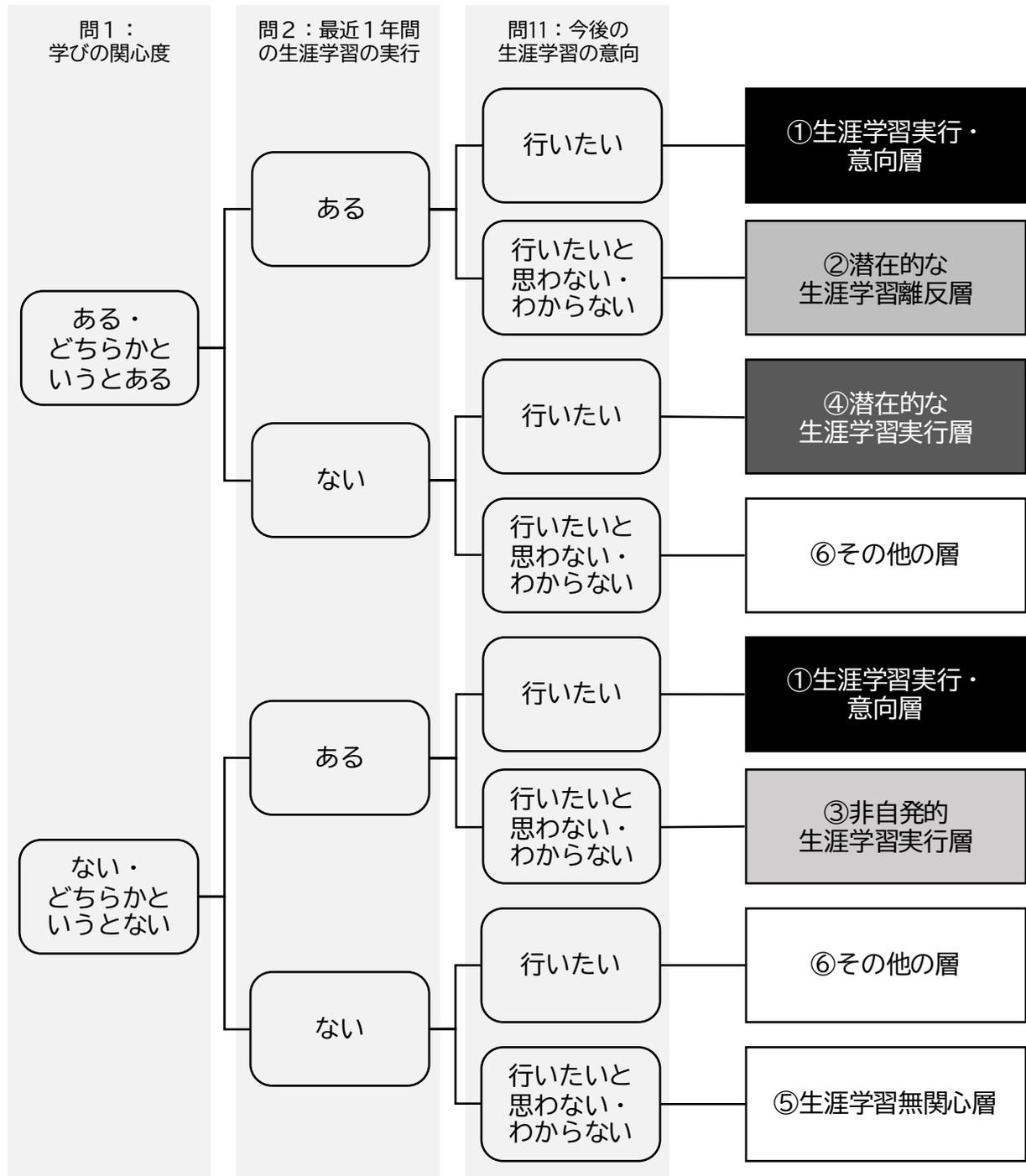
大森地域		調布地域		蒲田地域		糀谷・羽田地域	
大森東	3.7	嶺町	1.9	六郷	10.4	糀谷	7.0
大森西	4.6	田園調布	4.4	矢口	7.5	羽田	4.3
入新井	5.3	鷓の木	2.8	蒲田西	4.9		
馬込	8.6	久が原	5.1	蒲田東	6.2		
池上	4.7	雪谷	5.2				
新井宿	1.6	千束	2.9				

※四捨五入の関係で、円グラフでの各地域の値と、表に示す各地域内の詳細な地区の割合の合計値が合わない場合があります。

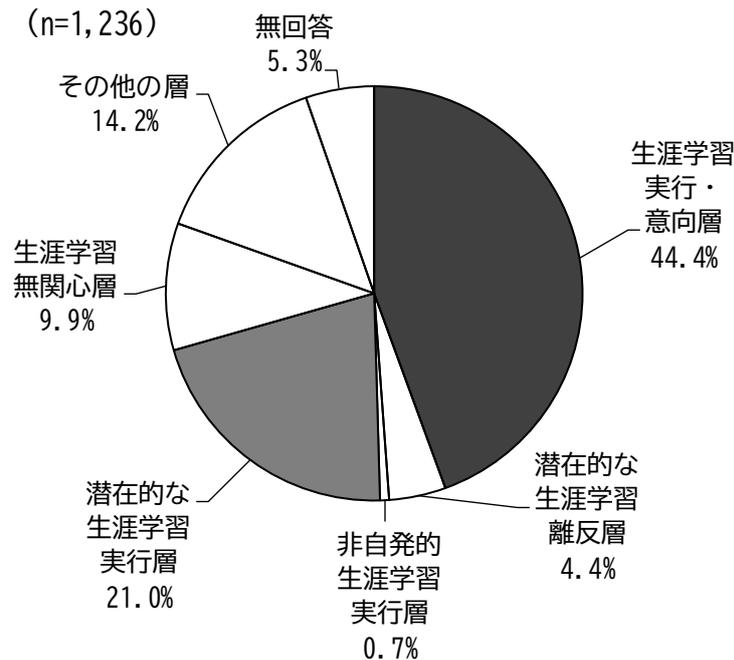
生涯学習に対する意識・行動別の分類

(問1：学びの関心度、問2：最近1年間の生涯学習の実行、問11：今後の生涯学習の意向の回答パターン別での対象者分類)

○問1、問2、問11への回答パターンにより、生涯学習に対する意識・行動別の観点から、対象者を6つの層へ分類することを試みました。



- 生涯学習に対する意識・行動別の観点から分類した対象者について、「生涯学習実行・意向層」(44.4%)が最も高く、次いで「潜在的な生涯学習実行層」(21.0%)となっています。
- 「生涯学習実行・意向層」の属性をみると、「女性」の方が高く、「50～59歳」「30～39歳」「40～49歳」の順で高く、「大森地域」が最も高くなっています。
- 「潜在的な生涯学習実行層」の属性をみると、「女性」の方が高く、「50～59歳」「40～49歳」の順で高く、「蒲田地域」が最も高くなっています。



【性別】

	(%)					
	n	男性	女性	その他	回答しない	無回答
生涯学習実行・意向層	549	40.8	56.6	0.4	0.7	1.5
潜在的な生涯学習実行層	260	38.8	56.9	0.4	1.5	2.3

【年齢】

	n	(%)									無回答
		18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	
生涯学習実行・意向層	549	1.5	15.1	16.6	16.4	20.4	8.2	4.9	5.8	10.7	0.4
潜在的な生涯学習実行層	260	0.4	6.5	13.5	15.8	25.8	12.7	6.5	6.5	12.3	0.0

【地域】

	n	(%)				無回答
		大森地域	調布地域	蒲田地域	糀谷・羽田地域	
生涯学習実行・意向層	549	30.4	23.5	25.7	10.2	10.2
潜在的な生涯学習実行層	260	25.0	25.0	26.9	12.3	10.8

※生涯学習実行・意向層とは、最近1年間に生涯学習を行ったことが「ある」、今後生涯学習を「行いたい」と回答した人。

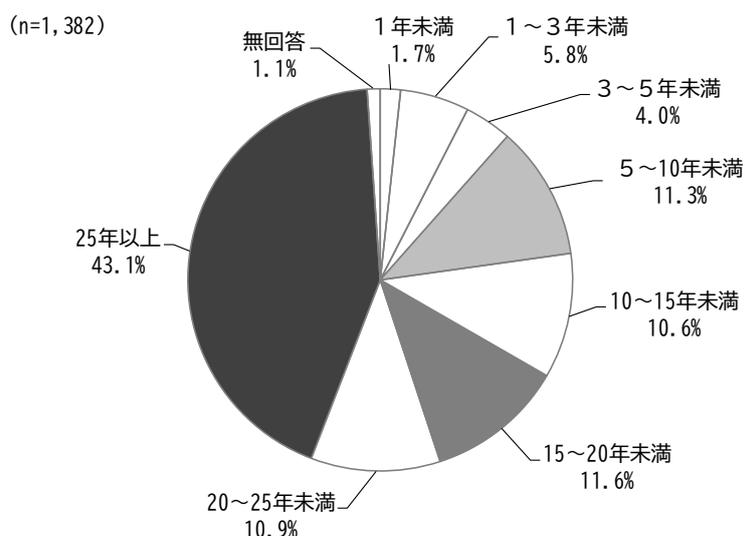
※潜在的な生涯学習実行層とは、学びへの関心が「ある」、最近1年間に生涯学習を行ったことが「ない」、今後の生涯学習について「行いたい」と回答した人。

第3章 社会教育関係団体アンケート調査結果

1 団体全般について

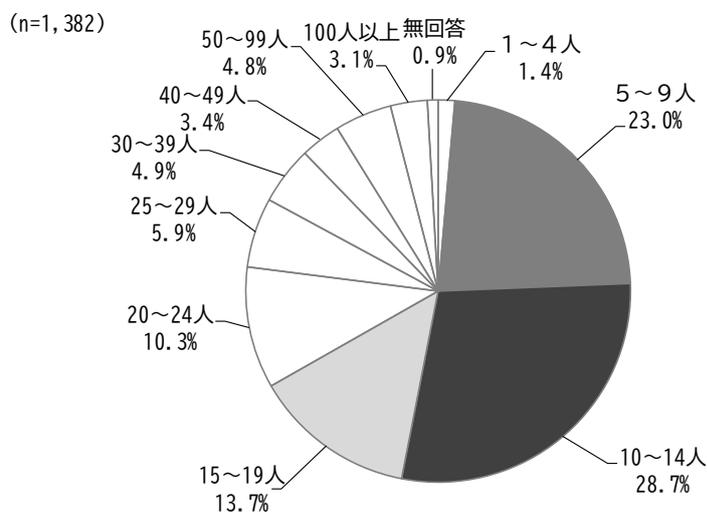
問1 活動年数 (○は1つ)

○活動年数は、「25年以上」(43.1%)が最も高く、次いで「15～20年未満」(11.6%)、「5～10年未満」(11.3%)となっています。



問1 会員数 (○は1つ)

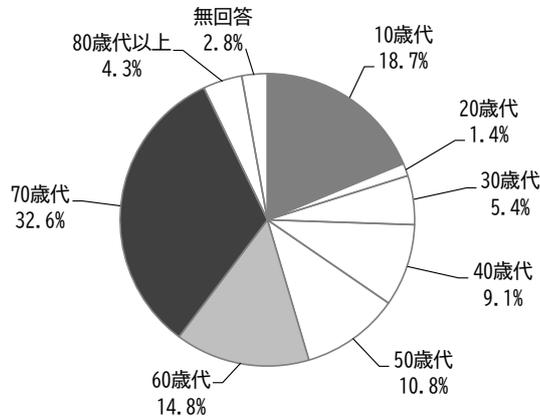
○会員数は、「10～14人」(28.7%)が最も高く、次いで「5～9人」(23.0%)、「15～19人」(13.7%)となっており、「20人未満」が66.8%を占めます。



問1 会員の平均年代 (○は1つ)

○会員の平均年代は、「70 歳代」(32.6%) が最も高く、次いで「10 歳代」(18.7%)、「60 歳代」(14.8%) となっています。

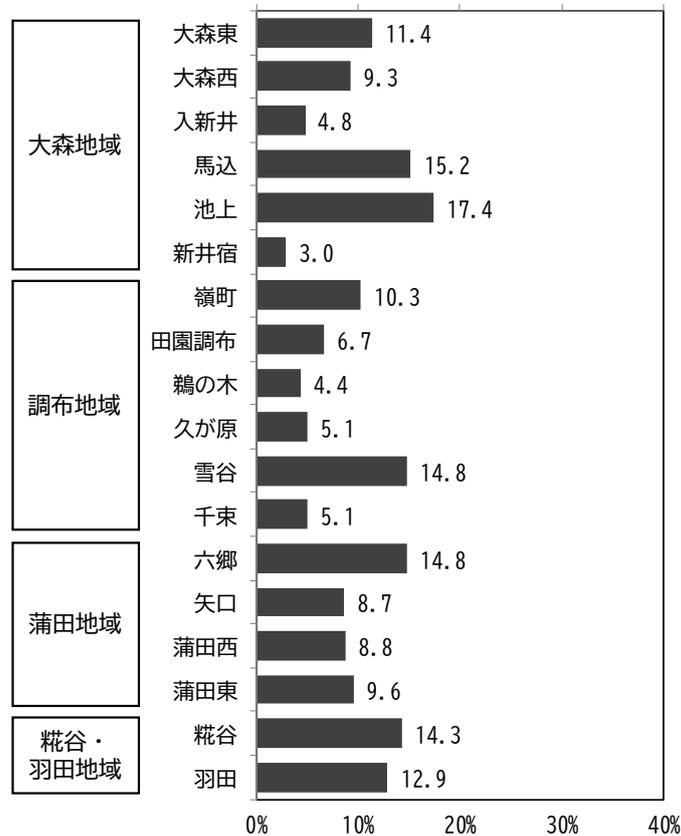
(n=1,382)



問1 活動地域 (○はいくつでも)

○活動地域を4地域の中で比較してみると、大森地域では「池上」(17.4%)、「馬込」(15.2%)、調布地域では「雪谷」(14.8%)、蒲田地域では「六郷」(14.8%)、糎谷・羽田地域では「糎谷」(14.3%) が高くなっています。

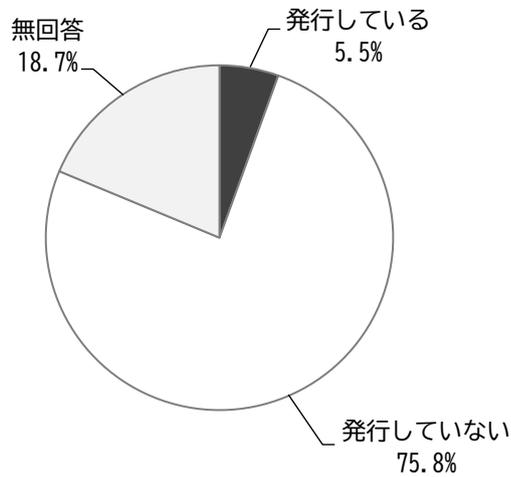
(n=1,382)



問1 会報・広報誌の発行有無 (○は1つ)

○会報・広報誌の発行有無は、「発行している」が5.5%、「発行していない」が75.8%となっています。

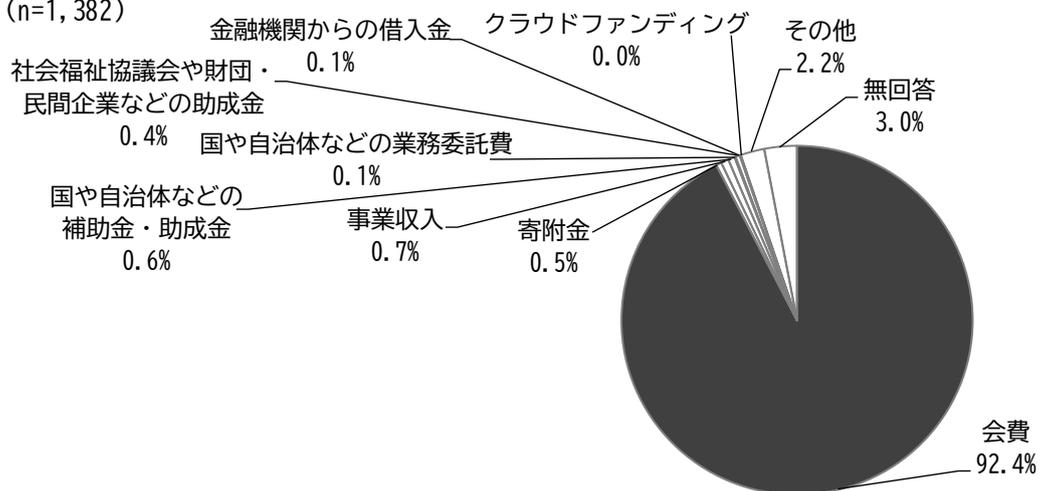
(n=1,382)



問1 主な収入源 (○は1つ)

○主な収入源は、「会費」が92.4%を占めており、その他の収入源は少数となっています。

(n=1,382)

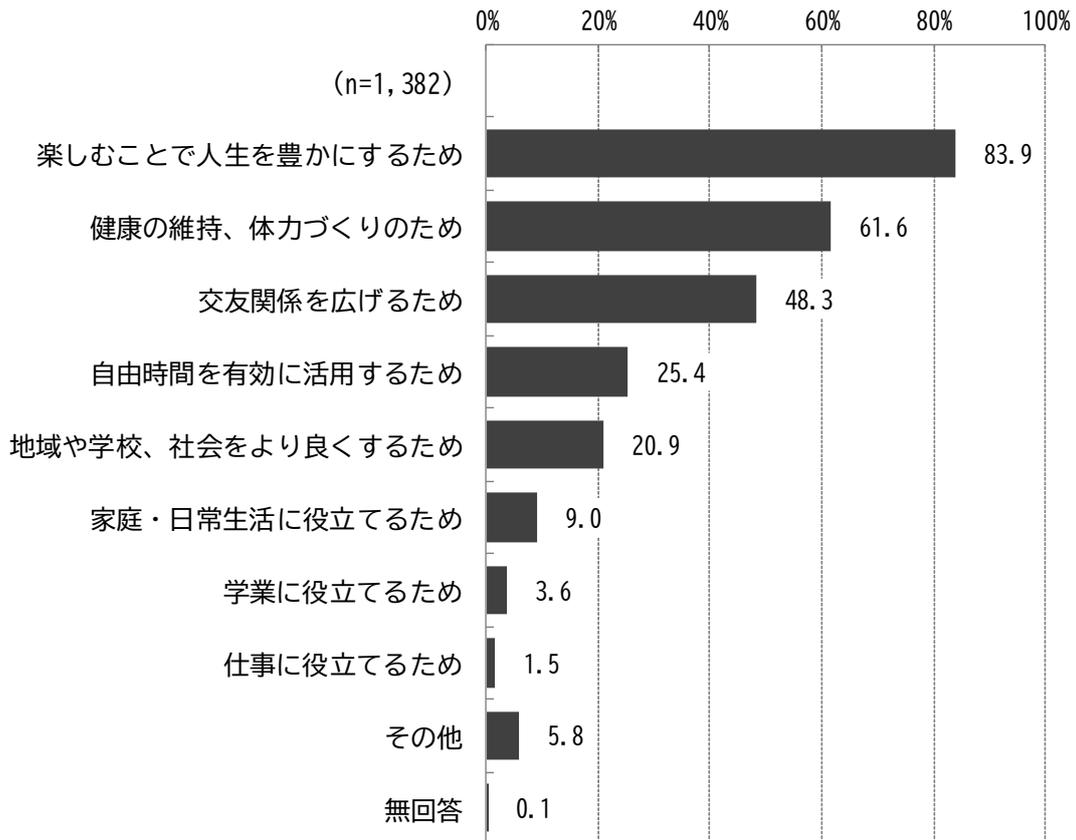


2 団体の活動内容について

問2 貴団体は、どのような目的のために活動されていますか。(〇はいくつでも)

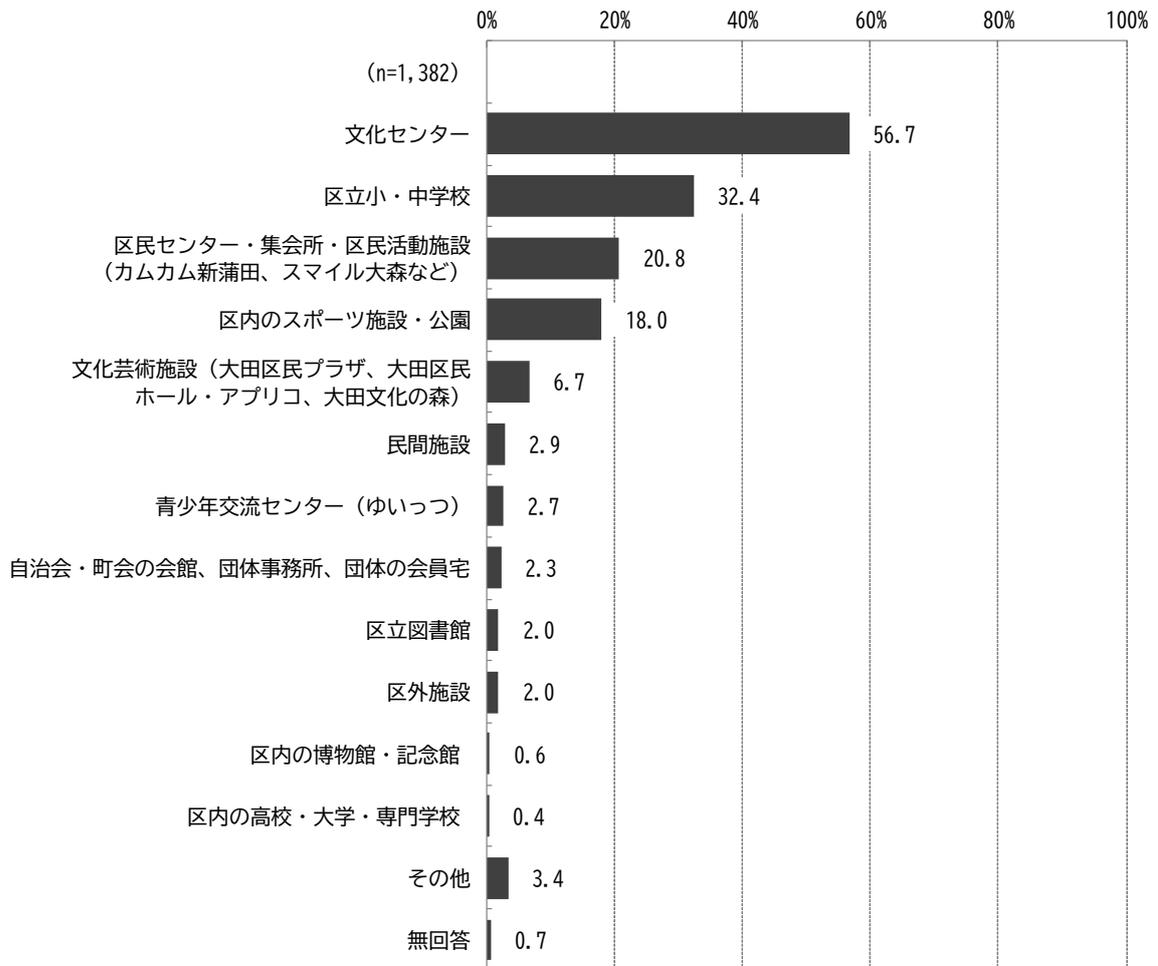
○活動目的は、「楽しむことで人生を豊かにするため」(83.9%)が最も高く、次いで「健康の維持、体力づくりのため」(61.6%)となっています。

○また、「地域や学校、社会をより良くするため」は20.9%となっています。



問3 貴団体の日常的な活動場所について、お答えください。(〇はいくつでも)

○日常的な活動場所について、「文化センター」(56.7%)が最も高く、次いで「区立小・中学校」(32.4%)、「区民センター・集会所・区民活動施設(カムカム新蒲田、スマイル大森など)」(20.8%)となっています。

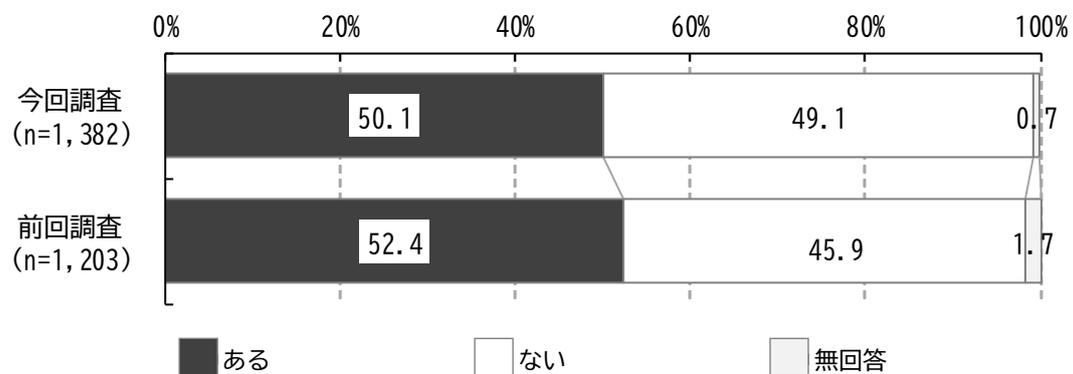
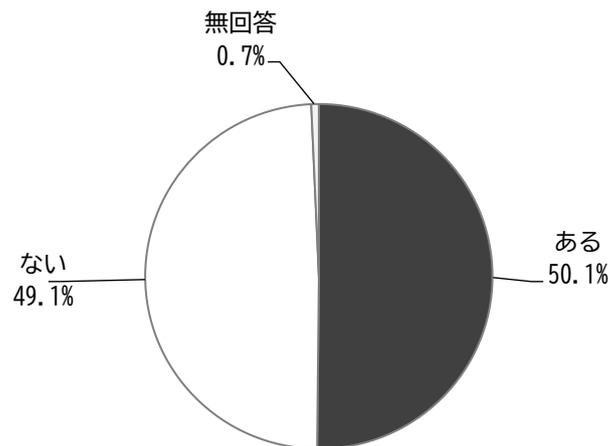


問4 貴団体は、地域の他団体（他の社会教育関係団体、商店街、企業、学校など）と交流した経験がありますか。（〇は1つ）

○地域の他団体（他の社会教育関係団体、商店街、企業、学校等）と交流した経験は、「ある」が50.1%、「ない」が49.1%となっています。

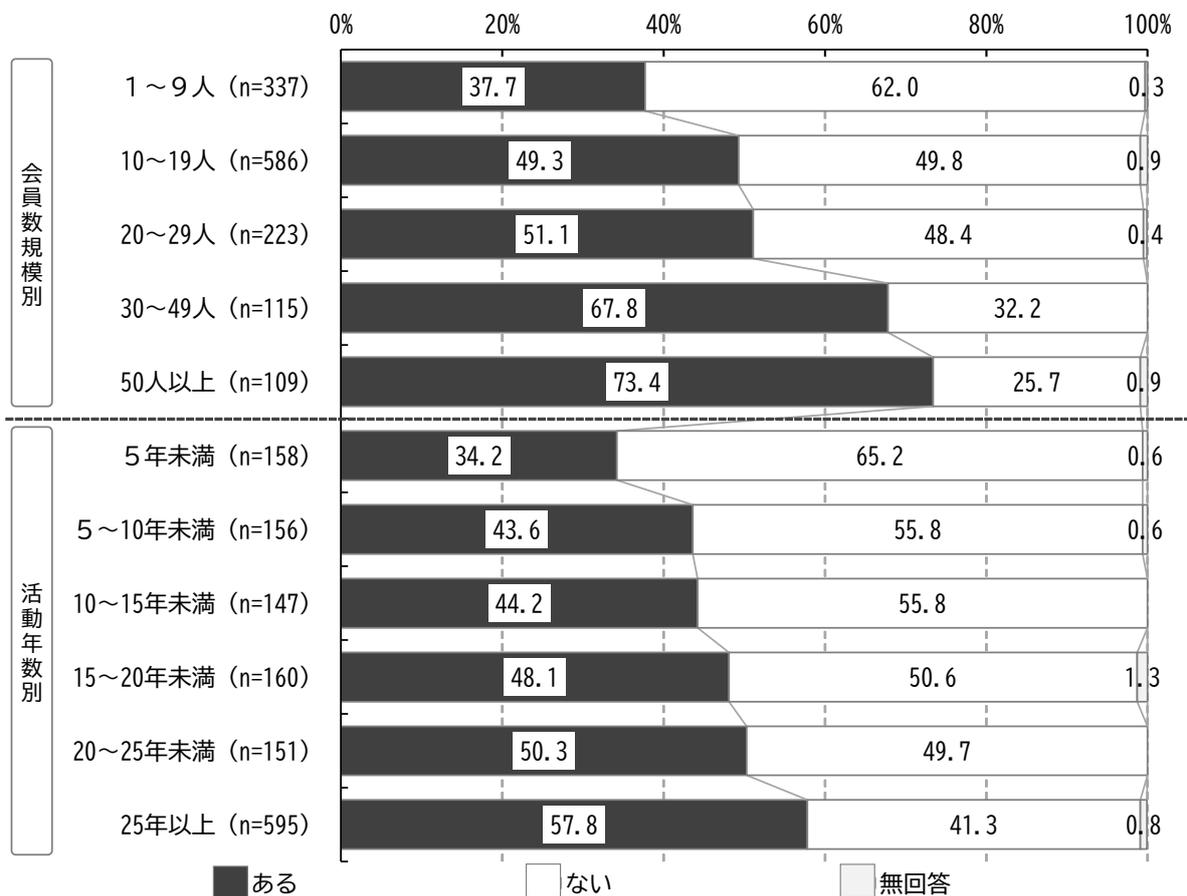
○前回調査と比較すると、「ある」が2.3ポイント減少しています。

(n=1,382)



○会員数規模別では、「50人以上」で「ある」が最も高く、規模が大きい団体ほど「ある」が高くなっています。

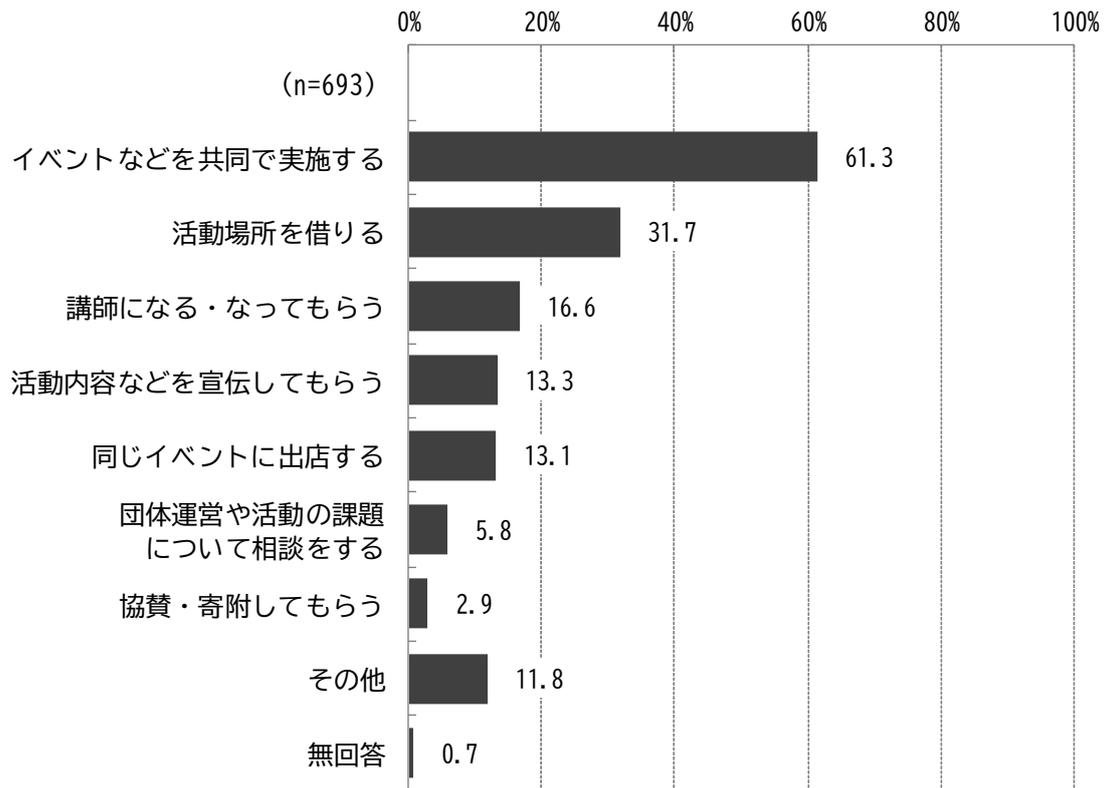
○活動年数別では、「25年以上」で「ある」が最も高く、活動年数が長い団体ほど「ある」が高くなっています。



問5【問4のいずれかで「1. ある」を選択の方】

また、ある場合、どのような交流ですか。(〇はいくつでも)

〇地域の他団体との交流経験が「ある」と回答した方に、交流内容をきいたところ、「イベントなどを共同で実施する」(61.3%)が最も高く、次いで「活動場所を借りる」(31.7%)となっています。

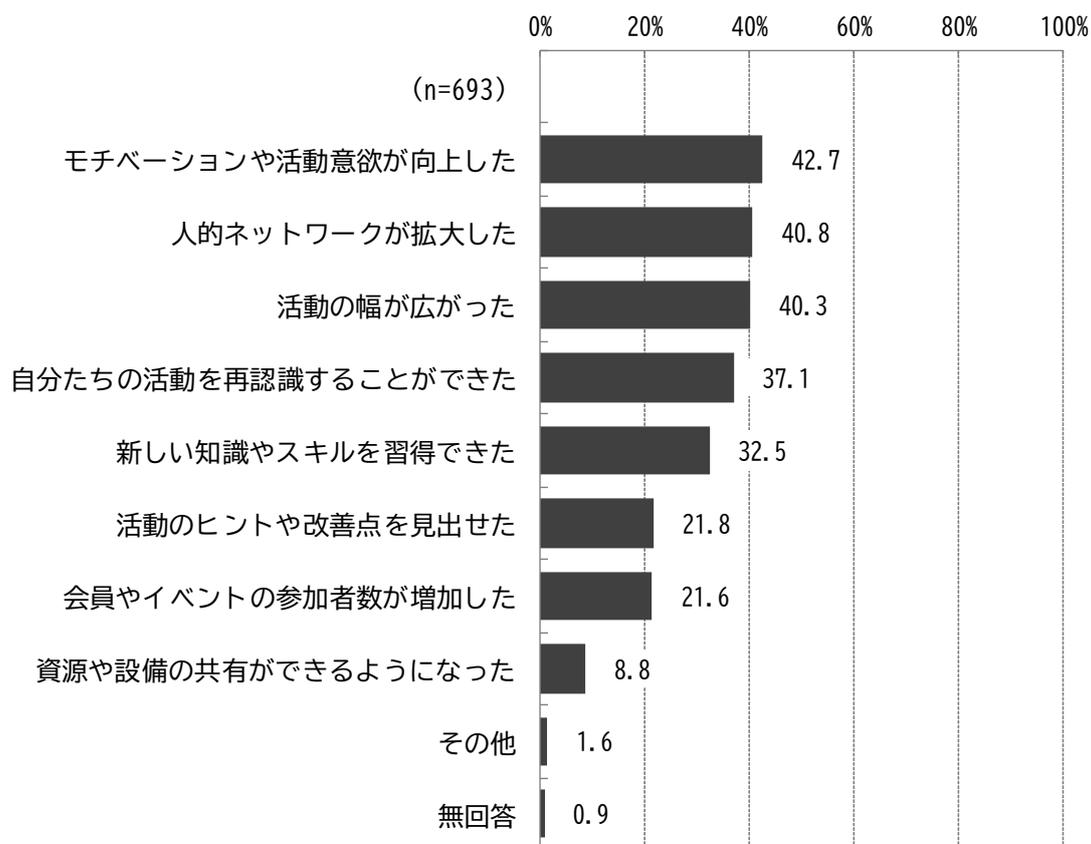


※地域の他団体との交流経験が「ある」と回答した団体 (n=693) が対象。

問6 【問4のいずれかで「1. ある」を選択の方】

他団体と交流・連携したことで、どのようなよい効果を得られましたか。(〇はいくつでも)

○地域の他団体との交流経験が「ある」と回答した方に、どのようなよい効果を得られたかをきいたところ、「モチベーションや活動意欲が向上した」(42.7%)が最も高く、次いで「人的ネットワークが拡大した」(40.8%)、「活動の幅が広がった」(40.3%)、「自分たちの活動を再認識することができた」(37.1%)となっています。

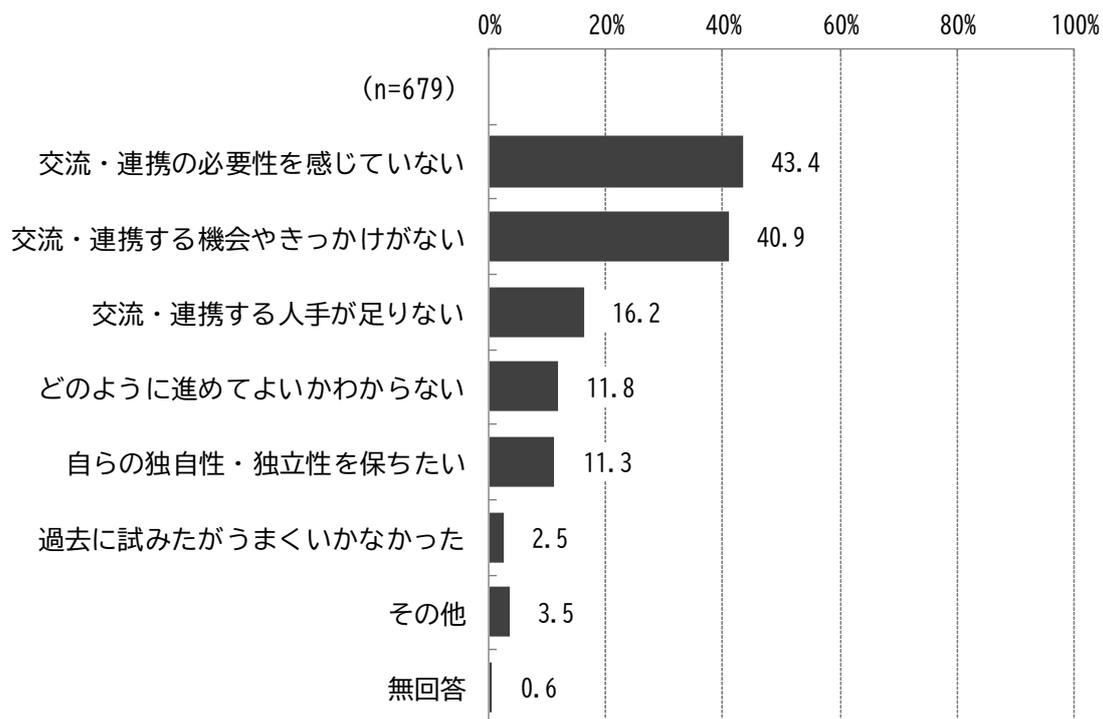


※地域の他団体との交流経験が「ある」と回答した団体 (n=693) が対象。

問7【問4のいずれかで「2. ない」を選択の方】

他団体と交流・連携したことがない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

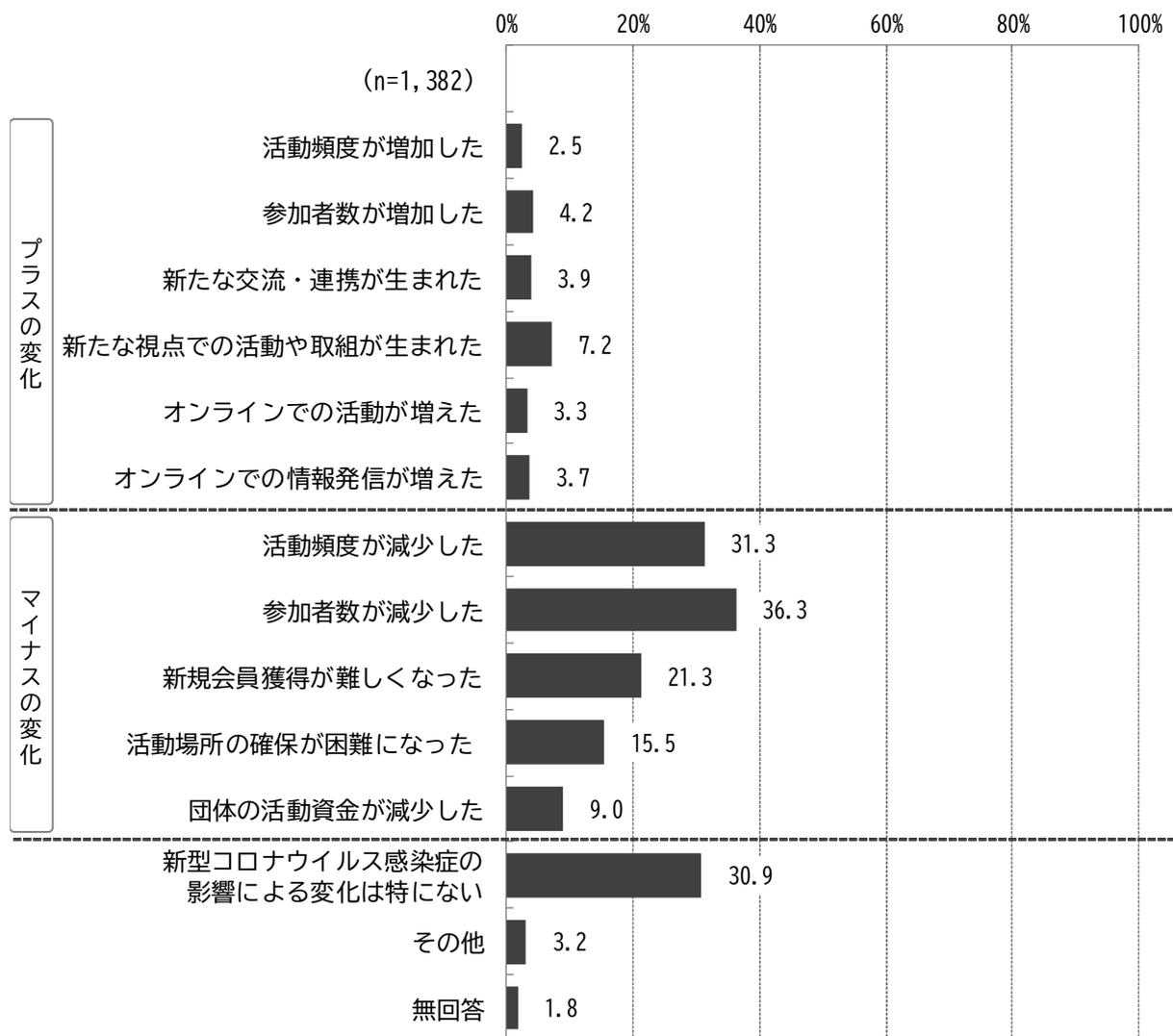
○地域の他団体との交流経験が「ない」と回答した方に、交流・連携したことがない理由をきいたところ、「交流・連携の必要性を感じていない」(43.4%)が最も高く、次いで「交流・連携する機会やきっかけがない」(40.9%)となっています。



※地域の他団体との交流経験が「ない」と回答した団体 (n=679) が対象。

問8 新型コロナウイルス感染症を契機に、貴団体の活動にどのような変化がありましたか。
(〇はいくつでも)

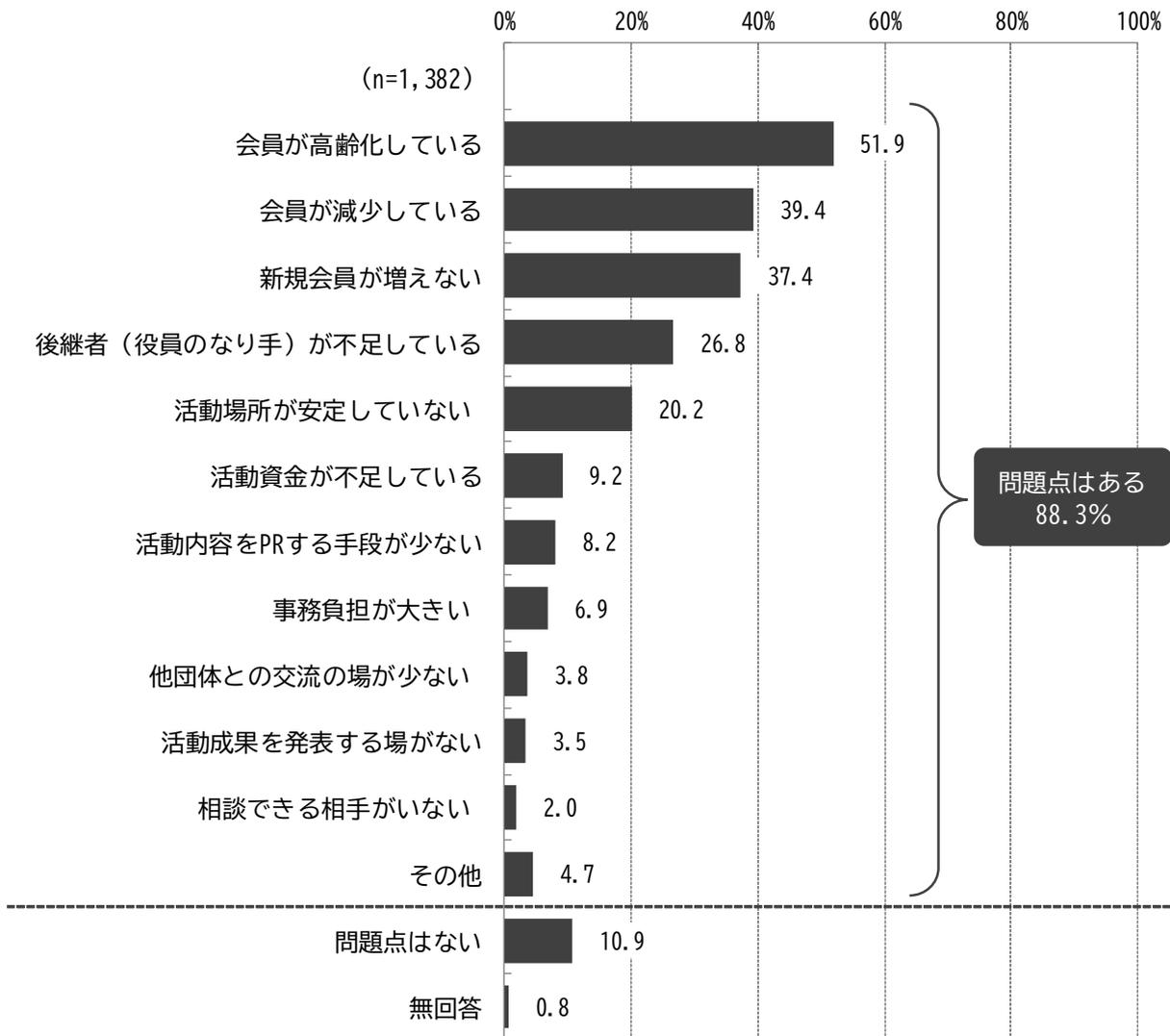
- 新型コロナウイルス感染症を契機とした団体活動の変化について、「参加者数が減少した」(36.3%)が最も高く、次いで「活動頻度が減少した」(31.3%)、「新型コロナウイルス感染症の影響による変化は特にない」(30.9%)となっています。
- プラスの変化とマイナスの変化という観点でみると、マイナスの変化の項目の方が高く、また、プラスの変化では「新たな視点での活動や取組が生まれた」(7.2%)が最も高く、全ての項目で1割未満にとどまっています。



問9 今後、活動を継続していく際の問題点はどのようなことですか。(〇はいくつでも)

〇活動を継続していく際の問題点について、「問題点はある」が88.3%、「問題点はない」が10.9%となっています。

〇また、「問題点はある」の中では、「会員が高齢化している」(51.9%)が最も高く、次いで「会員が減少している」(39.4%)、「新規会員が増えない」(37.4%)、「後継者(役員のなり手)が不足している」(26.8%)、「活動場所が安定していない」(20.2%)となっています。



※問題点はある (%) = 100 - (「問題点はない」 + 「無回答」)

○会員数規模別では、「1～9人」から「20～29人」で「会員が高齢化している」、「30～49人」「50人以上」で「後継者（役員のなり手）が不足している」が最も高くなっています。

○活動年数別では、「5年未満」で「活動場所が安定していない」、「5～10年未満」から「25年以上」で「会員が高齢化している」が最も高くなっています。

	n	会員が高齢化している	会員が減少している	新規会員が増えない	後継者（役員のなり手）が不足している	活動場所が安定していない	
会員数規模別	1～9人	337	60.2	51.0	45.1	17.5	12.2
	10～19人	586	52.9	37.7	37.0	25.4	20.0
	20～29人	223	52.9	29.6	33.2	33.6	26.5
	30～49人	115	35.7	36.5	32.2	37.4	27.0
	50人以上	109	34.9	37.6	33.0	40.4	25.7
活動年数別	5年未満	158	19.0	11.4	21.5	15.8	27.2
	5～10年未満	156	35.3	26.9	30.8	17.3	24.4
	10～15年未満	147	57.1	44.9	39.5	25.2	20.4
	15～20年未満	160	56.9	41.3	37.5	28.8	14.4
	20～25年未満	151	57.0	43.0	36.4	33.1	20.5
	25年以上	595	60.7	47.4	43.0	30.8	18.8

	n	活動資金が不足している	活動内容をPRする手段が少ない	事務負担が大きい	他団体との交流の場が少ない	活動成果を発表する場がない	
会員数規模別	1～9人	337	8.9	8.3	5.6	3.6	2.7
	10～19人	586	8.2	8.0	4.8	3.9	4.6
	20～29人	223	7.6	8.5	7.2	4.9	3.1
	30～49人	115	10.4	6.1	12.2	2.6	2.6
	50人以上	109	14.7	11.9	16.5	2.8	0.9
活動年数別	5年未満	158	5.1	7.0	8.9	2.5	4.4
	5～10年未満	156	14.1	12.2	7.7	6.4	8.3
	10～15年未満	147	9.5	8.2	8.2	4.8	2.7
	15～20年未満	160	6.9	6.3	5.6	4.4	2.5
	20～25年未満	151	7.9	7.9	4.6	5.3	4.0
	25年以上	595	9.9	8.4	6.9	2.7	2.4

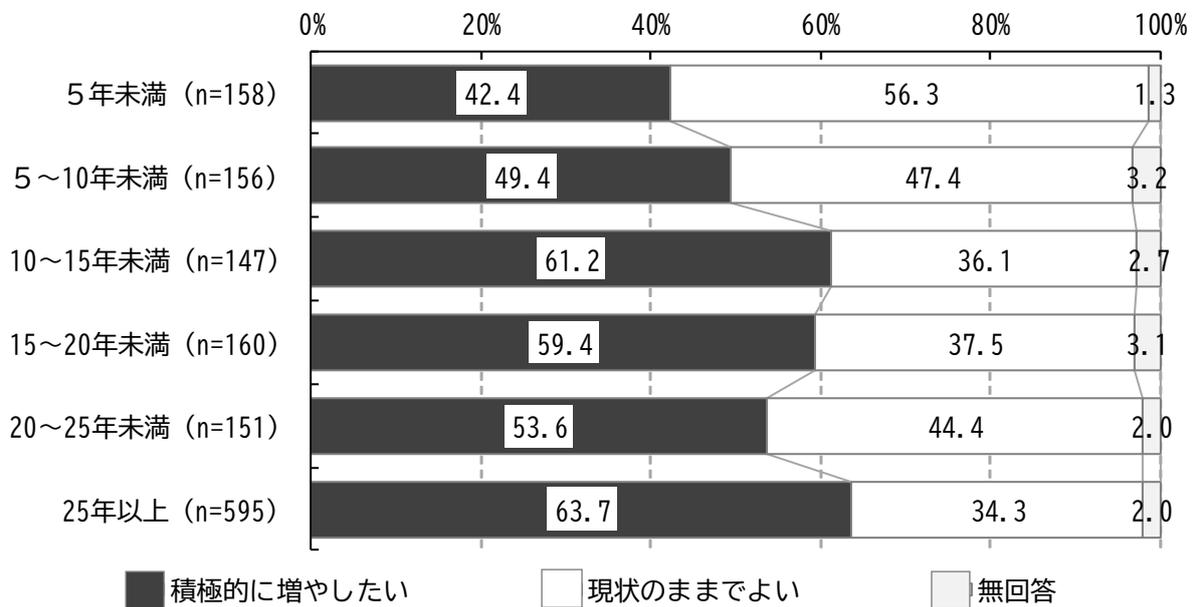
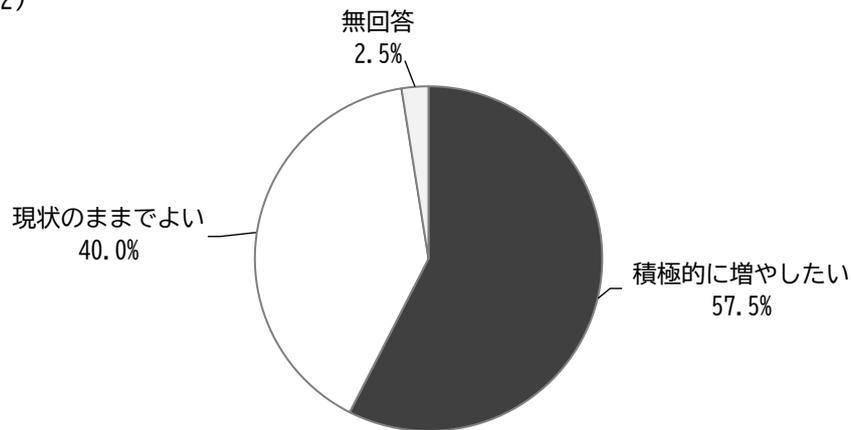
	n	相談できる相手がいない	その他	問題点はない	無回答	
会員数規模別	1～9人	337	2.1	3.9	11.0	0.6
	10～19人	586	1.9	3.2	12.6	0.7
	20～29人	223	3.6	4.9	9.4	0.9
	30～49人	115	0.9	4.3	7.0	0.0
	50人以上	109	0.9	12.8	8.3	0.9
活動年数別	5年未満	158	2.5	7.0	22.8	0.6
	5～10年未満	156	1.9	3.8	16.0	0.6
	10～15年未満	147	0.7	6.8	9.5	0.0
	15～20年未満	160	0.0	5.0	11.3	0.6
	20～25年未満	151	4.0	3.3	10.6	0.7
	25年以上	595	2.4	4.0	6.7	1.0

問 10 貴団体では、新しい会員の獲得について、どのようにお考えですか。(○は1つ)

○新しい会員の獲得について、「積極的に増やしたい」が57.5%、「現状のままで良い」が40.0%となっています。

○活動年数別では、「25年以上」(63.7%)で「積極的に増やしたい」が最も高く、次いで「10～15年未満」(61.2%)となっています。

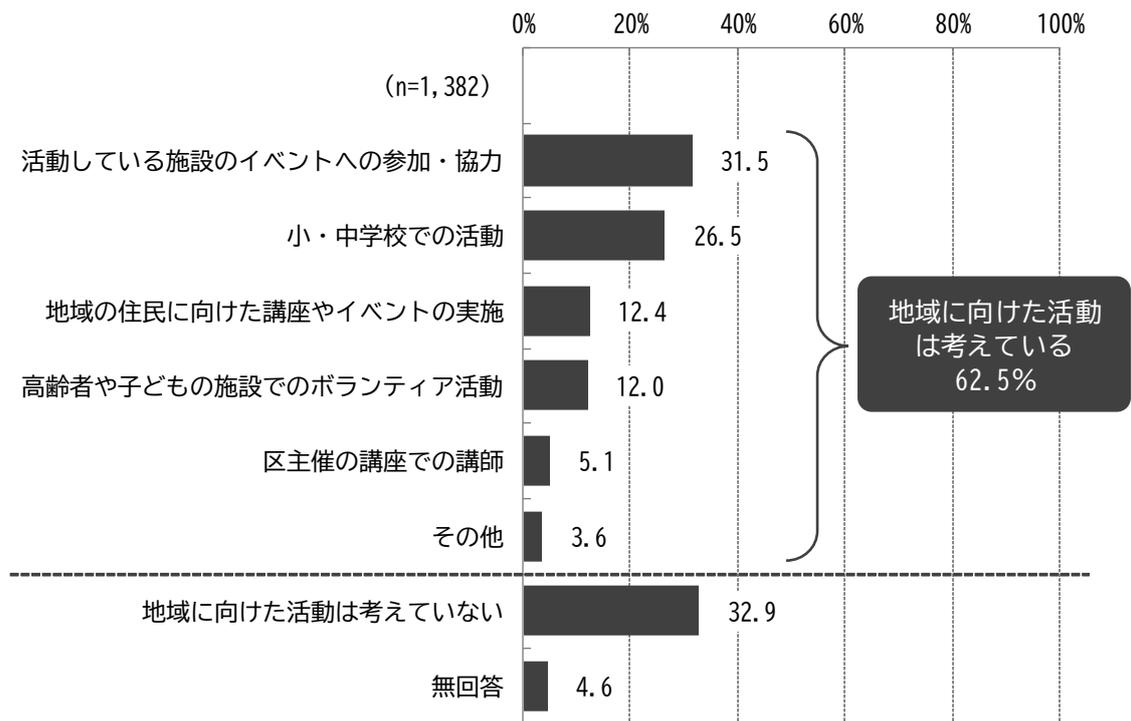
(n=1,382)



問 11 今後、貴団体として行っていききたい地域活動について、あてはまるものをお選びください。(〇はいくつでも)

○今後、行っていききたい地域活動について、「地域に向けた活動は考えている」が62.5%、「地域に向けた活動は考えていない」が32.9%となっています。

○また、「地域に向けた活動は考えている」の中では、「活動している施設のイベントへの参加・協力」(31.5%)が最も高く、次いで「小・中学校での活動」(26.5%)となっています。

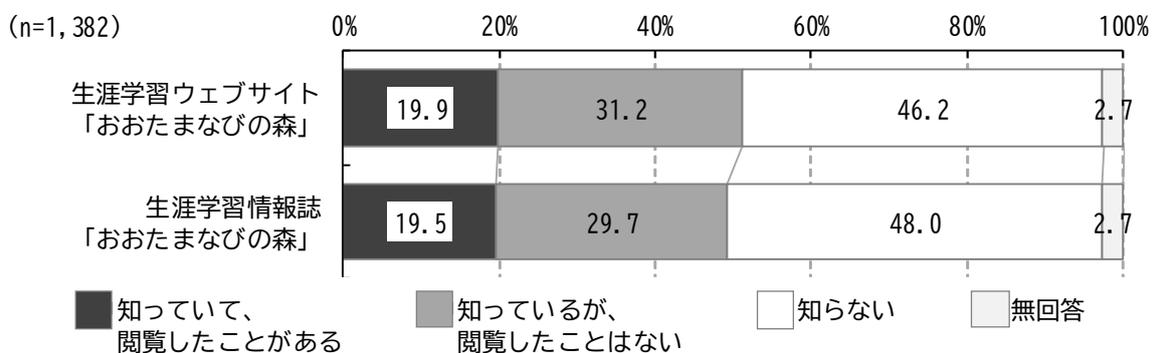


※問題点はある (%) = 100 - (「問題点はない」 + 「無回答」)

3 大田区の生涯学習施策・事業について

問 12 大田区の生涯学習に関する情報誌などについて、ご存じのものはありますか。
(○は各1つ)

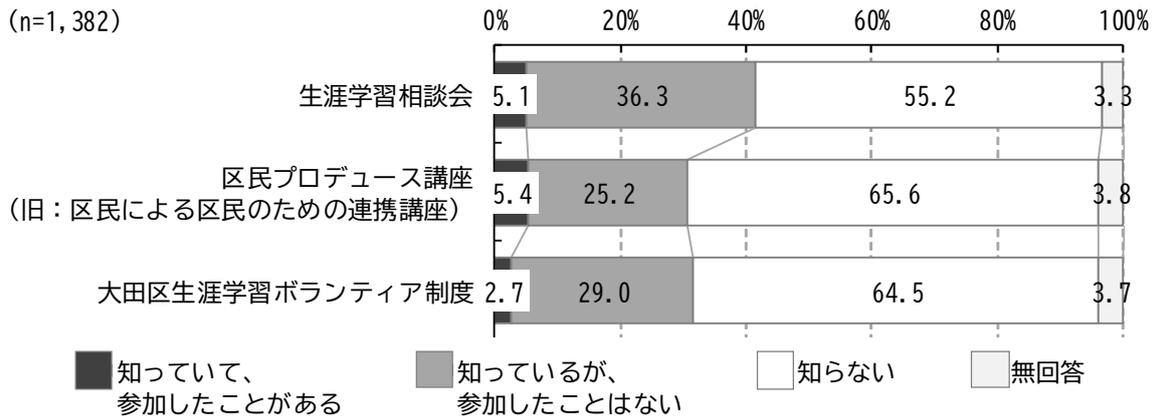
- 大田区の生涯学習に関する情報誌などについての認知度（「知っていて、閲覧したことがある」と「知っているが、閲覧したことはない」の合計）は、「生涯学習ウェブサイト「おおたまなびの森」」では51.1%、「生涯学習情報誌「おおたまなびの森」」では49.2%となっています。
- 閲覧経験については、「生涯学習ウェブサイト「おおたまなびの森」」では19.9%、「生涯学習情報誌「おおたまなびの森」」では19.5%となっています。



問 13 大田区の団体向けの事業などについて、ご存じのものはありますか。(○は各1つ)

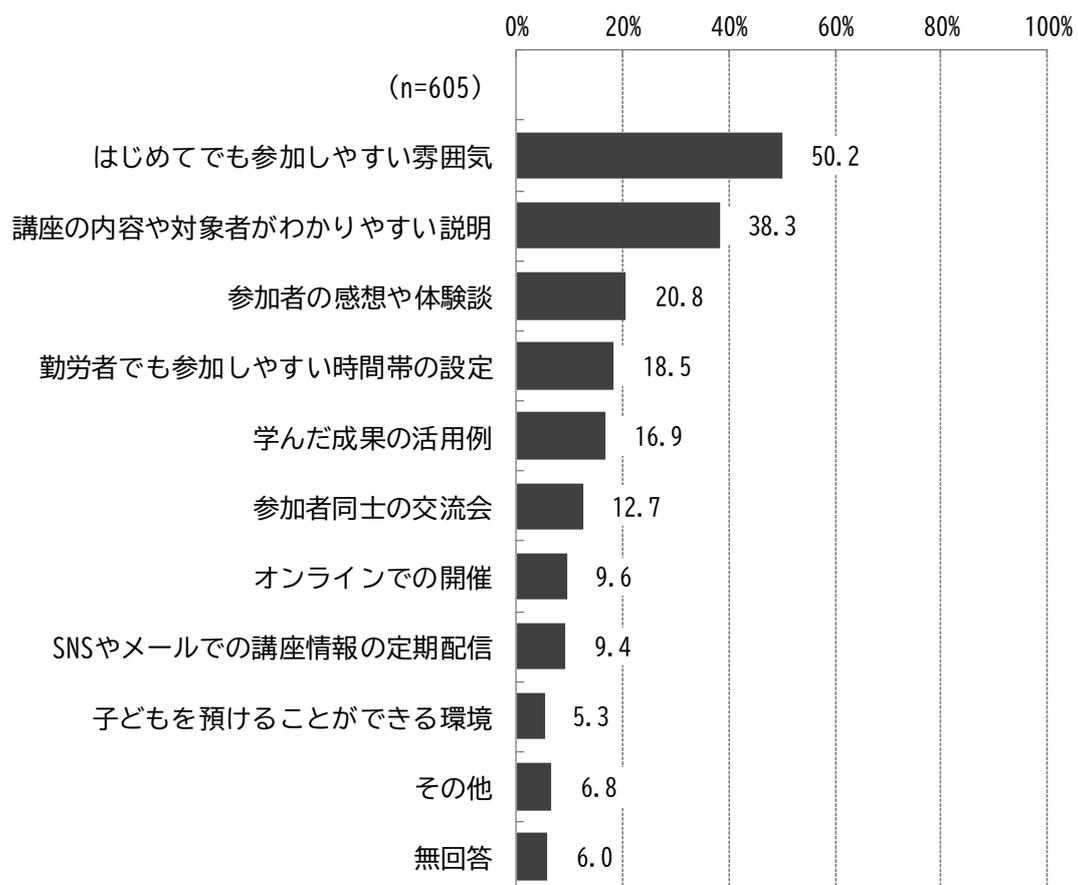
○大田区の生涯学習に関する事業などについての認知度は、「生涯学習相談会」(41.4%)が最も高く、次いで「大田区生涯学習ボランティア制度」(31.7%)、「区民プロデュース講座(旧：区民による区民のための連携講座)」(30.6%)となっています。

○参加経験については、「区民プロデュース講座(旧：区民による区民のための連携講座)」(5.4%)が最も高くなっていますが、3事業全てについて1割未満となっています。



問 14 【問 13 のいずれかで「2. 知っているが、参加したことはない」を選択の方】
 どのような情報や環境があれば、生涯学習事業（講座など）に参加したいと思いますか。（〇はいくつでも）

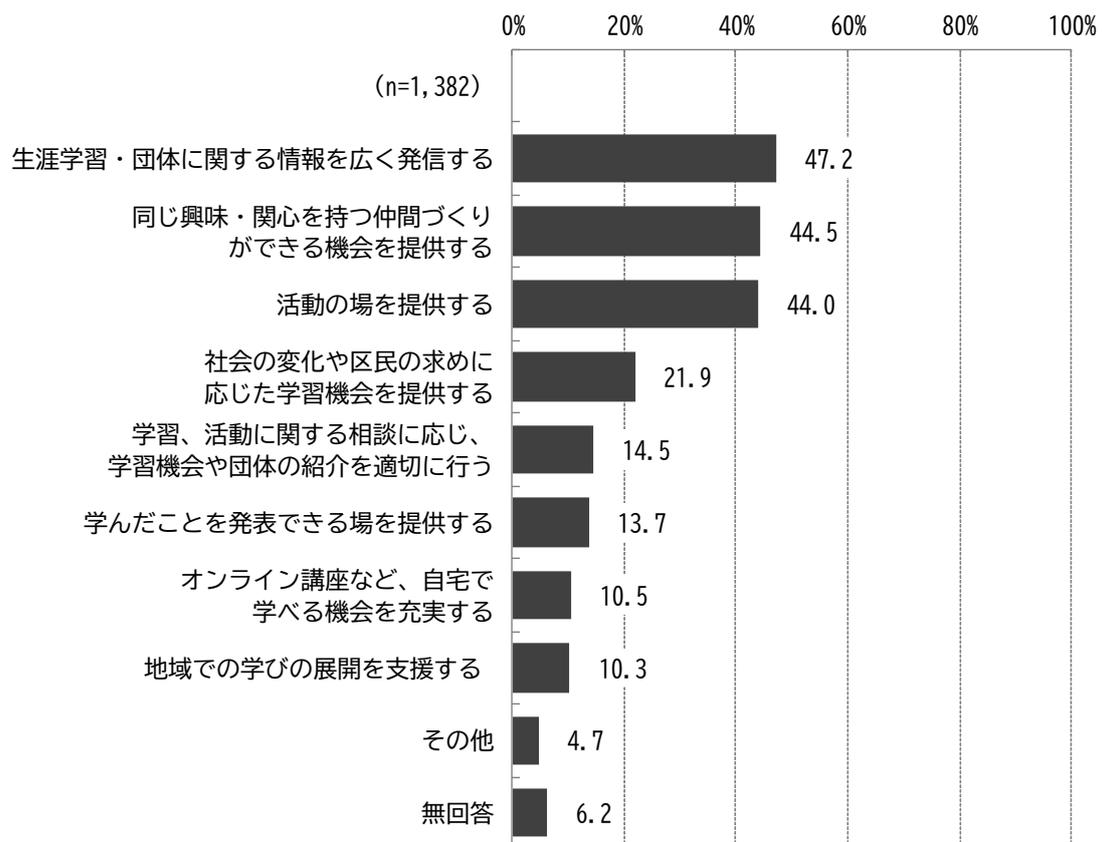
○大田区の生涯学習に関するいずれかの事業について、知っているが、参加したことはないと回答した方に、どのような情報や環境があれば、生涯学習事業（講座など）に参加したいと思うかについて、「はじめてでも参加しやすい雰囲気」（50.2%）が最も高く、次いで「講座の内容や対象者がわかりやすい説明」（38.3%）、「参加者の感想や体験談」（20.8%）となっています。



※大田区の生涯学習に関するいずれかの事業について「知っているが、参加したことはない」と回答した団体（n=605）が対象。

問 15 大田区において、今後、生涯学習をもっと盛んにしていくために、どのような取り組みを重視した方が良いと思いますか。(〇はいくつでも)

○大田区において、今後、生涯学習をもっと盛んにしていくために重視した方が良い取り組みについて、「生涯学習・団体に関する情報を広く発信する」(47.2%)が最も高く、次いで「同じ興味・関心を持つ仲間づくりができる機会を提供する」(44.5%)、「活動の場を提供する」(44.0%)となっています。



○会員数規模別では、「1～9人」で「同じ興味・関心を持つ仲間づくりができる機会を提供する」、「10～19人」「50人以上」で「生涯学習・団体に関する情報を広く発信する」、「20～29人」「30～49人」で「活動の場を提供する」が最も高くなっています。

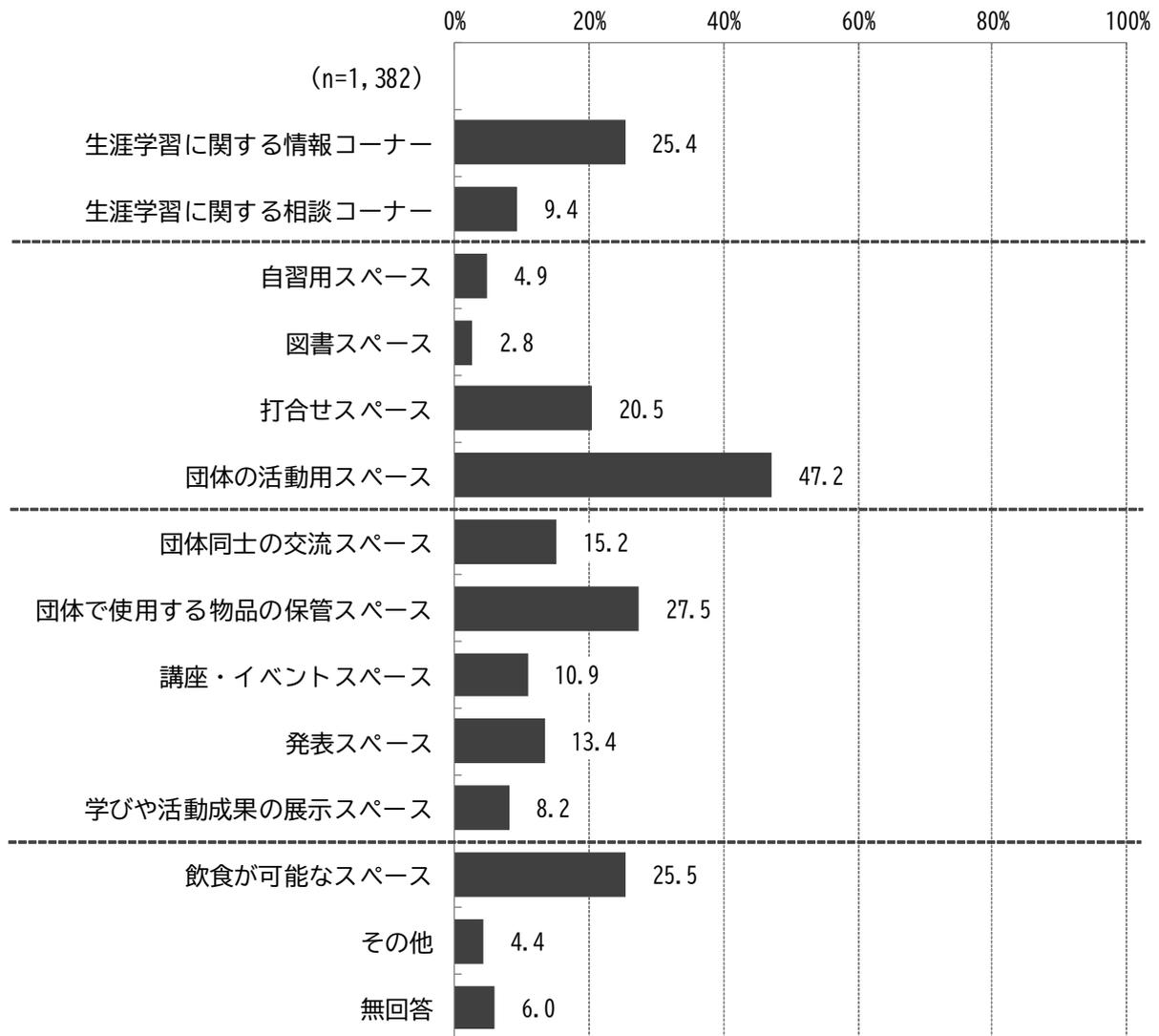
○活動年数別では、「5年未満」「15～20年未満」で「活動の場を提供する」、「5～10年未満」「10～15年未満」「25年以上」で「生涯学習・団体に関する情報を広く発信する」、「20～25年未満」で「生涯学習・団体に関する情報を広く発信する」「同じ興味・関心を持つ仲間づくりができる機会を提供する」が最も高くなっています。

	n	生涯学習・団体に関する情報を広く発信する	同じ興味・関心を持つ仲間づくりができる機会を提供する	活動の場を提供する	社会の変化や区民の求めに応じた学習機会を提供する	学習、活動に関する相談に応じ、学習機会や団体の紹介を適切に行う	
会員数規模別	1～9人	337	45.4	46.9	36.2	22.3	12.5
	10～19人	586	48.0	47.4	43.2	21.2	14.0
	20～29人	223	43.0	41.7	46.6	22.9	14.8
	30～49人	115	50.4	40.0	66.1	16.5	20.9
	50人以上	109	56.0	33.0	45.9	31.2	18.3
活動年数別	5年未満	158	36.7	39.9	53.8	20.3	11.4
	5～10年未満	156	52.6	44.2	43.6	23.7	14.7
	10～15年未満	147	53.1	48.3	42.9	20.4	16.3
	15～20年未満	160	44.4	45.6	48.8	18.8	11.3
	20～25年未満	151	45.7	45.7	42.4	24.5	13.2
	25年以上	595	48.4	44.4	41.0	22.5	16.3

	n	学んだことを発表できる場を提供する	オンライン講座など、自宅で学べる機会を充実する	地域での学びの展開を支援する	その他	無回答	
会員数規模別	1～9人	337	14.8	11.9	11.0	5.6	6.5
	10～19人	586	14.0	8.7	8.5	3.9	4.8
	20～29人	223	10.3	11.2	11.7	5.4	6.3
	30～49人	115	17.4	9.6	15.7	0.9	7.8
	50人以上	109	12.8	15.6	11.0	7.3	7.3
活動年数別	5年未満	158	15.2	13.3	10.8	2.5	3.8
	5～10年未満	156	17.9	12.2	11.5	6.4	3.2
	10～15年未満	147	15.0	13.6	12.9	4.8	2.7
	15～20年未満	160	9.4	10.0	6.3	6.9	5.0
	20～25年未満	151	13.2	7.9	5.3	5.3	7.3
	25年以上	595	13.4	9.4	11.8	4.2	8.1

問 16 社会教育関係団体が活動するための施設には、どのような機能・スペースがあると良いと思いますか。(〇はいくつでも)

○社会教育関係団体が活動するための施設にはどのような機能・スペースがあると良いかについて、「団体の活動用スペース」(47.2%)が最も高く、次いで「団体で使用する物品の保管スペース」(27.5%)、「飲食が可能なスペース」(25.5%)、「生涯学習に関する情報コーナー」(25.4%)となっています。



○会員数規模別、活動年数別ともに、全ての層で「団体の活動用スペース」が最も高くなっています。

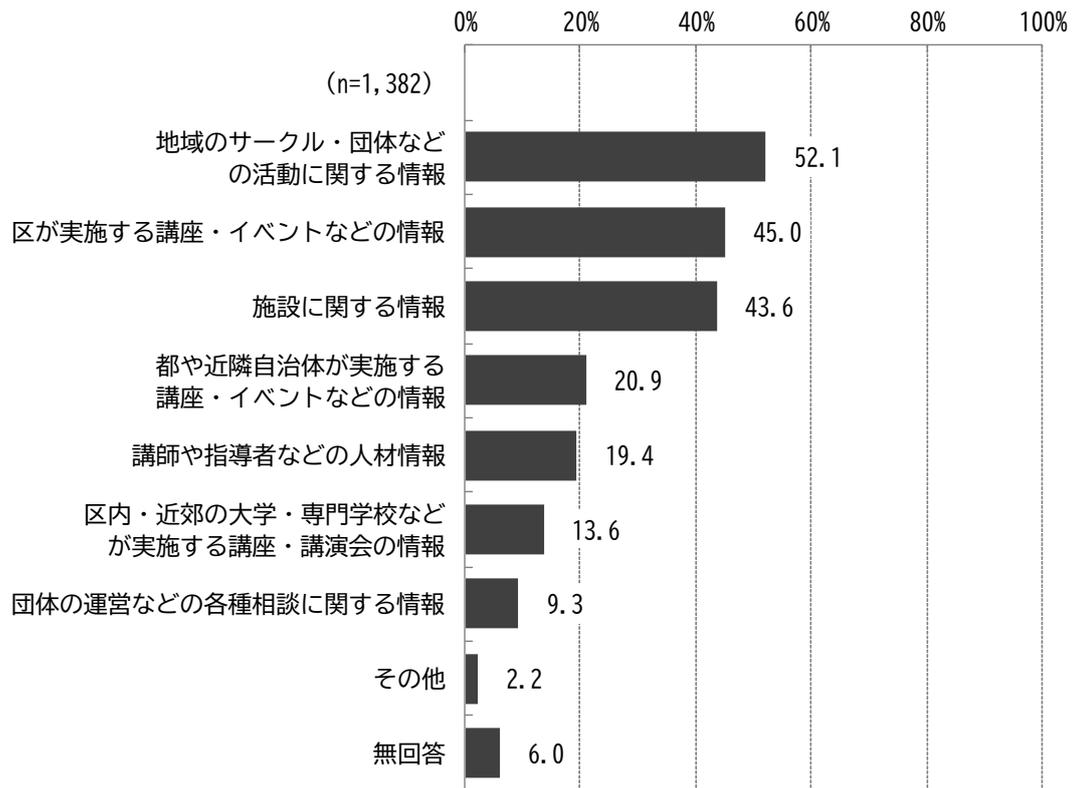
	n	生涯学習に関する情報コーナー	生涯学習に関する相談コーナー	自習用スペース	図書スペース	打合せスペース	
会員数規模別	1～9人	337	34.1	13.9	4.7	3.0	18.7
	10～19人	586	26.1	7.8	5.1	3.2	17.9
	20～29人	223	21.5	9.4	6.3	2.2	20.2
	30～49人	115	15.7	5.2	1.7	1.7	33.0
	50人以上	109	13.8	9.2	4.6	2.8	29.4
活動年数別	5年未満	158	13.9	6.3	7.6	1.3	23.4
	5～10年未満	156	26.3	9.6	7.1	5.1	19.2
	10～15年未満	147	32.7	11.6	2.7	2.0	18.4
	15～20年未満	160	22.5	11.3	5.0	1.9	18.1
	20～25年未満	151	29.8	7.9	4.0	0.7	21.9
	25年以上	595	26.4	9.6	4.5	3.5	21.2

	n	団体の活動用スペース	団体同士の交流スペース	団体で使用する物品の保管スペース	講座・イベントスペース	発表スペース	
会員数規模別	1～9人	337	41.8	11.9	21.4	11.0	16.0
	10～19人	586	46.6	15.0	27.6	10.8	13.1
	20～29人	223	54.3	16.6	30.9	9.0	10.3
	30～49人	115	54.8	18.3	35.7	13.0	16.5
	50人以上	109	47.7	22.0	32.1	14.7	10.1
活動年数別	5年未満	158	53.8	15.2	25.3	10.8	12.7
	5～10年未満	156	51.3	17.3	34.0	14.1	19.2
	10～15年未満	147	40.1	15.0	28.6	17.0	15.6
	15～20年未満	160	49.4	13.1	26.3	10.0	11.9
	20～25年未満	151	47.7	17.2	30.5	8.6	7.9
	25年以上	595	45.5	15.1	26.1	9.7	13.3

	n	学びや活動成果の展示スペース	飲食が可能なスペース	その他	無回答	
会員数規模別	1～9人	337	8.9	24.0	4.5	6.8
	10～19人	586	7.8	26.6	4.3	4.9
	20～29人	223	6.7	22.9	3.6	4.9
	30～49人	115	7.8	22.6	2.6	5.2
	50人以上	109	11.0	31.2	6.4	9.2
活動年数別	5年未満	158	4.4	32.3	2.5	3.2
	5～10年未満	156	10.3	26.3	4.5	2.6
	10～15年未満	147	7.5	23.1	5.4	2.0
	15～20年未満	160	9.4	22.5	3.1	7.5
	20～25年未満	151	9.3	23.8	5.3	7.3
	25年以上	595	8.2	25.7	4.2	7.6

問 17 社会教育関係団体が、生涯学習を進めていくためには、どのような情報が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

○社会教育関係団体が、生涯学習を進めていくために必要な情報について、「地域のサークル・団体などの活動に関する情報」(52.1%)が最も高く、次いで「区が実施する講座・イベントなどの情報」(45.0%)、「施設に関する情報」(43.6%)となっています。



○活動年数別では、「5年未満」で「施設に関する情報」、「5～10年未満」から「25年以上」で「地域のサークル・団体などの活動に関する情報」が最も高くなっています。

		n	地域のサークル・団体などの活動に関する情報	区が実施する講座・イベントなどの情報	施設に関する情報	都や近隣自治体が実施する講座・イベントなどの情報	講師や指導者などの人材情報
活動年数別	5年未満	158	46.2	37.3	48.1	20.3	21.5
	5～10年未満	156	59.0	48.1	46.8	23.7	21.8
	10～15年未満	147	55.8	53.1	43.5	24.5	17.7
	15～20年未満	160	57.5	34.4	38.1	15.6	19.4
	20～25年未満	151	46.4	43.7	43.7	23.8	20.5
	25年以上	595	51.1	47.6	43.4	20.5	18.8

		n	区内・近郊の大学・専門学校などが実施する講座・講演会の情報	団体の運営などの各種相談に関する情報	その他	無回答
活動年数別	5年未満	158	15.2	11.4	1.3	4.4
	5～10年未満	156	17.3	9.6	3.2	3.2
	10～15年未満	147	17.7	7.5	2.0	4.1
	15～20年未満	160	9.4	5.0	1.3	5.0
	20～25年未満	151	17.9	9.3	5.3	8.6
	25年以上	595	11.4	10.4	1.7	7.1

第4章 団体ヒアリング調査実施概要・調査結果

現在、調査中

資料編（調査票）

1. 区民アンケート調査

日頃より、区の生涯学習施策の推進について、御理解と御協力をいただき誠にありがとうございます。

大田区では、令和4年3月に「おおた生涯学習推進プラン」を策定しました。

現行のプランが令和8年度に終了することから、この度、次期プラン策定のための基礎資料として、アンケート調査を行うこととなりました。区民のみなさまの日頃の学習活動や地域での活動状況、学びに関するニーズなどをお伺いするものです。

対象者は、大田区にお住まいの3,000人（18歳以上）の方を無作為で抽出させていただいております。調査は無記名で行い、回答内容は統計的に処理され、個人が特定されることはありません。また、回答内容は本調査の目的以外に利用することはありません。

御多忙のところ恐れ入りますが、本調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

【問い合わせ先】大田区 地域未来創造部 地域力推進課 生涯学習担当
電話 03-5744-1443

*お問い合わせは、平日午前9時から午後5時まで
(正午から午後1時までを除く) 承ります。

回答方法は、以下の2つからお選びください。

■郵送で回答する場合

①調査票に回答内容をご記入ください。	②同封の返信用封筒に入れ、お近くのポストに投函してください。切手は不要です。 令和7年10月31日まで
--------------------	--

■インターネットで回答する場合

スマートフォンなどで二次元コードを読みとるか、URLから回答フォームにアクセスし、以下のIDを入力の上、ご回答ください。	回答期限 令和7年10月31日
二次元コード	(ID)
	(URL) https://logoform.jp/form/8BrJ/1092848

【回答にあたって】

アンケートは、封筒の宛名の御本人がお答えてください。ただし、御本人の心身の状況などにより回答が困難な場合は、御家族、介助者の方などが御本人の立場でお答えてください。

1 学ぶことの意識について

問1 あなたは、何かを学ぶことに関心がありますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 関心がある | 3. どちらかというに関心がない |
| 2. どちらかというに関心がある | 4. 関心がない |

2 生涯学習について

本調査での「生涯学習」の定義

生涯学習とは、区民一人ひとりが、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において取り組む学習のことをいいます。具体的には、読書、語学や資格の習得、趣味・教養、スポーツ、芸術・文化活動、生活・健康や仕事などに関する学習、サークル活動、自治会・町会、NPO、PTA、子ども会、ボランティアなどの地域活動が含まれます。

問2 あなたは、最近1年間に生涯学習を行ったことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|-------------------|
| 1. ある → 問3へ | 2. ない → 4ページの間10へ |
|-------------|-------------------|

問3 問2で「1. ある」を選択した方におうかがいします。

あなたが生涯学習を行う目的は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 楽しむことで人生を豊かにするため | 7. 交友関係を広げるため |
| 2. 自己肯定感を得るため | 8. 地域や学校、社会をより良くするため |
| 3. 自由時間を有効に活用するため | 9. 仕事に役立てるため |
| 4. 教養を高めるため | 10. 学業に役立てるため |
| 5. 家庭・日常生活に役立てるため | 11. 特に目的はない |
| 6. 健康の維持、体力づくりのため | 12. その他 () |

問4 問2で「1. ある」を選択した方におうかがいします。

あなたは、どのような生涯学習を行いましたか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 1. 音楽、美術、文芸など、文化芸術に関するもの | 9. 子育てに関するもの |
| 2. スポーツ（武道、ダンスなどを含む） | 10. 教育に関するもの |
| 3. 文学、歴史、語学、観察など、教養を高めるもの | 11. 福祉に関するもの |
| 4. 住んでいる地域に関するもの（地域学） | 12. 防災・防犯に関するもの |
| 5. パソコン、スマートフォンの知識や技術 | 13. ものづくり、観光など、産業に関するもの |
| 6. Web会議・動画配信などの活用方法 | 14. 国際理解・交流に関するもの |
| 7. 仕事・働くために必要な知識や技能 | 15. 人権や環境問題など社会問題に関するもの |
| 8. 健康に関するもの | 16. その他 () |

問5 問2で「1. ある」を選択した方におうかがいします。

あなたが生涯学習を行っている場所はどこですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--|---------------------------|
| 1. 区立図書館 | 7. 区内のスポーツ施設・公園 |
| 2. 区内の博物館・記念館 | 8. 区立小・中学校 |
| 3. 文化センター | 9. 自治会・町会の会館、団体事務所、団体の会員宅 |
| 4. 区民センター・集会所・区民活動施設
(カムカム新蒲田、スマイル大森など) | 10. 区内の高校・大学・専門学校 |
| 5. 青少年交流センター(ゆいっつ) | 11. 民間施設(カルチャースクールなど) |
| 6. 文化芸術施設(大田区民プラザ、大田区民ホール・アプリコ、大田文化の森) | 12. 自宅 |
| | 13. 区外施設 |
| | 14. その他() |

問6 問2で「1. ある」を選択した方におうかがいします。

あなたは、どのような方法で生涯学習を行っていますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|--|
| 1. 区が主催する講座・教室・講演会 | 6. 区内・近郊の大学・専門学校など教育機関の講座・講演会(社会人大学生を含む) |
| 2. 社会教育関係団体などサークル、グループ活動 | 7. 民間の教室・講座 |
| 3. NPO、区民活動団体での活動 | 8. 個人学習 |
| 4. 地域のこども会、子育て支援、PTA活動 | 9. その他 |
| 5. 自治会・町会活動 | () |

問7 問2で「1. ある」を選択した方におうかがいします。

あなたは、オンライン※で生涯学習を行ったことがありますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

※オンラインには、リアルタイムのライブ配信形式とともに、オンデマンド(事前に収録されたものを好きな時に視聴できる)形式も含まれます。

問8 問2で「1. ある」を選択した方におうかがいします。

あなたは、生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験をどのように活かしていますか。

(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 人生がより豊かになっている | 5. 地域や社会での活動に活かしている |
| 2. 家庭・日常生活に活かしている | 6. 知人や仲間ができています |
| 3. 心身の健康を維持・増進している | 7. 活かしていない |
| 4. 仕事や学業に活かしている | 8. その他() |

問9 問2で「1. ある」を選択した方におうかがいします。

あなたは、生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験を、地域で活かすために、どのようなサポートが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 学んだ後、同じ分野に関心のある人との交流の場の充実
2. 学びを活かす活動・発表の場の充実
3. 区民向け講座の開催支援
4. 地域で活動しているサークルやボランティアに関する情報の提供
5. 学びたい人と教えたい人とをつなげる制度の充実
6. 地域で活動するサークルの支援
7. その他 ()

問10 問2で「2. ない」を選択した方におうかがいします。

最近1年間に生涯学習を行ったことがない理由をお答えください。(〇はいくつでも)

1. 忙しくて時間がない
2. 時間帯が希望に合わない
3. 一緒に学習する仲間がない
4. 身近なところに学習する場がない
5. 学習するための費用がかかる
6. 学習したい内容の講座が開設していない ()
7. 学習するのに必要な情報(内容・時間・場所・費用など)が入手できない
8. きっかけがつかめない
9. 特に必要がない
10. その他

問11 あなたは、今後、生涯学習を行いたいと思いますか。(〇は1つ)

1. 行いたいと思う → 問12へ
2. 行いたいと思わない → 5ページの問14へ
3. わからない → → → → 5ページの問14へ

問12 問11で「1. 行いたいと思う」を選択した方におうかがいします。

今後、行いたい生涯学習の内容をお答えください。(〇はいくつでも)

1. 音楽、美術、文芸など、文化芸術に関するもの
2. スポーツ(武道、ダンスなどを含む)
3. 文学、歴史、語学、観覧など、教養を高めるもの
4. 住んでいる地域に関するもの(地域学)
5. パソコン、スマートフォンの知識や技術
6. Web会議・動画配信などの活用方法
7. 仕事・働くために必要な知識や技能
8. 健康に関するもの
9. 子育てに関するもの
10. 教育に関するもの
11. 福祉に関するもの
12. 防災・防犯に関するもの
13. ものづくり、観光など、産業に関するもの
14. 国際理解・交流に関するもの
15. 人権や環境問題など社会問題に関するもの
16. その他 ()

問13 問11で「1. 行いたいと思う」を選択した方におうかがいします。

あなたは、生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験をどのように活かしていきたいとおもいますか。(〇はいくつでも)

1. 人生をより豊かにする	4. 仕事や学業に活かす	7. 活かしたいと思わない
2. 家庭・日常の生活に活かす	5. 地域や社会での活動に活かす	8. その他
3. 心身の健康を維持・増進する	6. 知人や仲間をつくる	()

3 普段の生活について

問14 普段の生活について、以下の項目はどの程度あてはまりますか。

あなたのお気持ちに最も近い番号に〇を1つしてください。(〇は各1つ)

項目	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
心身ともに健やかな生活を送っている	1	2	3	4
自分らしく生きている	1	2	3	4
充実した生活を送っている	1	2	3	4
住んでいる地域に愛着を感じる	1	2	3	4
孤立感や孤独感がない	1	2	3	4

4 大田区の生涯学習施策・事業について

問15 大田区の生涯学習に関する情報誌などについて、ご存じのものはありますか。(〇は各1つ)

情報誌名など、概要	知っている、 えつらん 閲覧した ことがある	知っているが、 えつらん 閲覧した ことはない	知らない
生涯学習ウェブサイト「 <u>おおたまなびの森</u> 」 講座・イベント情報などを集め、発信することで、みなさまの学習や活動のきっかけをつくるためのウェブサイトです。動画講座やサークル(社会教育関係団体)の情報も掲載しています。	1	2	3
生涯学習情報誌「 <u>おおたまなびの森</u> 」 区内で行われている講座・講演・催し物などのほか、サークル(社会教育関係団体)の活動内容も掲載しています。	1	2	3

問16 大田区の生涯学習に関する事業について、ご存じのものはありますか。(○は各1つ)

事業名、概要	知っている、 参加した ことがある	知っているが、 参加した ことはない	知らない
深める・つながる講座（旧：おおた区民大学） 社会、歴史、人権など、様々なテーマについて学ぶ学習の場です。	1	2	3
生涯学習相談会 区内の様々な機関や団体が行う講座・イベント、活動などの情報提供や学びに関する相談を受付けています。	1	2	3
区民プロデュース講座（旧：区民による区民のための連携講座） 社会教育関係団体が講師になって、多様な学びの機会を提供する講座です。	1	2	3
まなびバ 文字や文章の読み書き、算数、国語など基礎的な学習を行う大人のための学び直しの場です。	1	2	3
大田区生涯学習ボランティア制度 自身の知識・技術を地域に役立てたいと考える方のボランティア登録を行います。	1	2	3

問17 問16のいずれかで「2. 知っているが、参加したことはない」を選択した方におうかがいします。

どのような情報や環境があれば、生涯学習事業（講座など）に参加したいと思えますか。

(○はいくつでも)

1. 参加者の感想や体験談	6. はじめてでも参加しやすい雰囲気
2. 講座の内容や対象者がわかりやすい説明	7. 勤労者でも参加しやすい時間帯の設定
3. 学んだ成果の活用例	8. 子どもを預けることができる環境
4. 参加者同士の交流会	9. オンラインでの開催
5. SNSやメールでの講座情報の定期配信	10. その他 ()

問18 現在の大田区の生涯学習について、以下の項目はどの程度あてはまりますか。

あなたのお気持ちに最も近い番号に○を1つしてください。(○は各1つ)

項目	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
いつでも学びたいときに学びたいことが学べる	1	2	3	4
多世代交流につながる学びの機会が充実している	1	2	3	4
学んだことを活かす機会が充実している	1	2	3	4
学びに関する情報がわかりやすく提供されている	1	2	3	4
学びや活動を充実させる施設が整っている	1	2	3	4

問19 あなたが生涯学習をするうえで、重要だと思ふ場所はどこですか。(〇はいくつでも)

1. 区の公共施設 (区立図書館、文化センター、区民センター、博物館、スポーツ施設・公園、区立小・中学校など)
2. 高校・大学・専門学校
3. 民間施設 (カルチャーセンター・社会人向けスクール・貸会議室など)
4. 地域の身近な場所 (カフェ、個人宅など)
5. 自宅
6. オンラインでの学びの空間
7. その他 ()

問20 あなたが生涯学習を行う施設には、どのような機能・スペースがあるとよいと思ひますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 生涯学習に関する情報コーナー | 7. サークル同士の交流スペース |
| 2. 生涯学習に関する相談コーナー | 8. 講座・イベントスペース |
| 3. 自習用スペース | 9. 発表スペース |
| 4. 図書スペース | 10. 学びや活動成果の展示スペース |
| 5. 打合せスペース | 11. 飲食が可能なスペース |
| 6. サークルの活動用スペース | 12. その他 () |

問21 区が生涯学習を推進することで、まちにどのような効果があると思ひますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 充実した生活を送る人が増える | 6. 地域に愛着を感じる人が増える |
| 2. 他人の意見や価値観を尊重する人が増える | 7. 特に効果はない |
| 3. 自分らしく生きる人が増える | 8. わからない |
| 4. 地域における人と人のつながりが増える | 9. その他 |
| 5. 地域やコミュニティで活動する人が増える | () |

問22 大田区において、今後、生涯学習をもっと盛んにしていくために、どのような取り組みを重視した方がよいと思ひますか。(〇はいくつでも)

1. 生涯学習に関する情報を広く発信する
2. 社会の変化や区民の求めに応じた学習機会を提供する
3. オンライン講座など、自宅で学べる機会を充実する
4. 学習、活動に関する相談に応じ、学習機会やサークルの紹介を適切に行う
5. 社会教育関係団体など区内で活動するサークルを支援・育成する
6. 地域で学びを展開する区民を支援・育成する
7. 同じ興味・関心を持つ仲間づくりができる機会を提供する
8. 学んだことを発表できる場を提供する
9. 身近な場所で学べる環境を整備する
10. その他 ()

問23 あなたが大田区で自主的に学ぶことや学んだことを活かす場・機会などについて、御意見があれば御記入ください。

5 回答者情報

問24 あなたご自身のことについて、お教えてください。

性別 (○は1つ)	1. 男性	2. 女性	3. その他	4. 回答しない
年齢 (○は1つ)	1. 18～19歳	4. 40～49歳	7. 65～69歳	
	2. 20～29歳	5. 50～59歳	8. 70～74歳	
	3. 30～39歳	6. 60～64歳	9. 75歳以上	
職業 (○は1つ)	1. 役員を含む、正規の職員・従業員 2. 期間従業員、契約社員、派遣社員を含む、非正規の職員・従業員 3. 自分で、または共同で事業を営んでいる自営業主、自由業 4. 家族従業者・家族が営んでいる事業を手伝っている者 5. 主婦・主夫 6. 学生 7. 勤めていない 8. その他 ()			
世帯類型 (○は1つ)	1. ひとり暮らし		4. 三世帯世帯 (親と子と孫)	
	2. 夫婦・パートナーのみ		5. その他	
	3. 二世帯世帯 (親と子)		()	
現在一緒に暮らす方 (○はいくつでも)	1. 夫婦・パートナー		5. 65歳以上の方	
	2. 小学校入学前の子ども		6. 介護が必要な方	
	3. 小学生		7. 1～6以外の方	
	4. 中・高・大・専門などの学生		8. いない	
居住地区 (○は1つ)	1. 大森東	6. 新井宿	11. 雪谷	16. 蒲田東
	2. 大森西	7. 嶺町	12. 千束	17. 糺谷
	3. 入新井	8. 田園調布	13. 六郷	18. 羽田
	4. 馬込	9. 鵜の木	14. 矢口	
	5. 池上	10. 久が原	15. 蒲田西	
居住地区の判断がつかない方は、お手数ですが、差支えない範囲で構いませんので、お住まいの町名・丁目をご記入ください。 町名： 丁目：				

ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

2. 社会教育関係団体アンケート調査

日頃より、区の生涯学習施策の推進について、御理解と御協力をいただき誠にありがとうございます。

大田区では、令和4年3月に「おおた生涯学習推進プラン」を策定しました。

現行のプランが令和8年度に終了することから、この度、次期プラン策定のための基礎資料として、アンケート調査を行うこととなりました。

令和7年8月1日時点で大田区に登録されている全ての社会教育関係団体のみなさまへお送りさせていただきます。

調査は無記名で行い、回答内容は統計的に処理され、個人が特定されることはありません。また、回答内容は本調査の目的以外に利用することはありません。

御多忙のところ恐れ入りますが、本調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

【問い合わせ先】 大田区 地域未来創造部 地域力推進課 生涯学習担当
電話 03-5744-1443

*お問い合わせは、平日午前9時から午後5時まで
(正午から午後1時までを除く) 承ります。

回答方法は、以下の2つからお選びください。

■郵送で回答する場合

①調査票に回答内容をご記入ください。

②同封の返信用封筒に入れ、お近くのポストに投函してください。切手は不要です。

令和7年10月31日まで

■インターネットで回答する場合

スマートフォンなどで二次元コードを読みとるか、URLから回答フォームにアクセスし、以下のIDを入力の上、ご回答ください。

二次元コード



回答期限 令和7年10月31日

(ID)

(URL) <https://logoform.jp/form/8BrJ/1093897>

【回答にあたって】

アンケートは、封筒にある宛名の団体の代表の方が回答してください。なお、代表の方が記入できない場合は、代理の方などが代表の方のお考えを聞きながら、記入してください。

1 貴団体全般について

問1 貴団体について教えてください。

活動年数 (〇は1つ)	1. 1年未満 2. 1～3年未満 3. 3～5年未満	4. 5～10年未満 5. 10～15年未満 6. 15～20年未満	7. 20～25年未満 8. 25年以上		
会員数 (〇は1つ)	1. 1～4人 2. 5～9人	3. 10～14人 4. 15～19人	5. 20～24人 6. 25～29人	7. 30～39人 8. 40～49人	9. 50～99人 10. 100人以上
会員の平均 年代 (〇は1つ)	1. 10歳代 2. 20歳代	3. 30歳代 4. 40歳代	5. 50歳代 6. 60歳代	7. 70歳代 8. 80歳代以上	
活動地域 (〇は いくつでも)	1. 大森東 2. 大森西 3. 入新井 4. 馬込	5. 池上 6. 新井宿 7. 嶺町 8. 田園調布	9. 鶯の木 10. 久が原 11. 雪谷 12. 千束	13. 六郷 14. 矢口 15. 蒲田西 16. 蒲田東	17. 糀谷 18. 羽田
会報・広報誌の発行有無 (〇は1つ)	1. 発行している		2. 発行していない		
主な収入源 (〇は1つ)	1. 会費 2. 寄附金 3. 事業収入 4. 国や自治体などの補助金・助成金 5. 国や自治体などの業務委託費		6. 社会福祉協議会や財団・民間企業などの助成金 7. 金融機関からの借入金 8. クラウドファンディング 9. その他 ()		

2 貴団体の活動内容について

問2 貴団体は、どのような目的のために活動されていますか。(〇はいくつでも)

1. 楽しむことで人生を豊かにするため	6. 地域や学校、社会をより良くするため
2. 自由時間を有効に活用するため	7. 仕事に役立てるため
3. 家庭・日常生活に役立てるため	8. 学業に役立てるため
4. 健康の維持、体力づくりのため	9. その他
5. 交友関係を広げるため	()

問3 貴団体の日常的な活動場所について、お答えください。(〇はいくつでも)

1. 区立図書館	7. 区内のスポーツ施設・公園
2. 区内の博物館・記念館	8. 区立小・中学校
3. 文化センター	9. 自治会・町会の会館、団体事務所、団体の会員宅
4. 区民センター・集会所・区民活動施設(カムカム新蒲田、スマイル大森など)	10. 区内の高校・大学・専門学校
5. 青少年交流センター(ゆいっつ)	11. 民間施設
6. 文化芸術施設(大田区民プラザ、大田区民ホール・アプリコ、大田文化の森)	12. 区外施設
	13. その他
	()

問4 貴団体は、地域の他団体(他の社会教育関係団体、商店街、企業、学校など)と交流した経験がありますか。(〇は1つ)

1. ある→→問5へ	2. ない→→問7へ
------------	------------

問5 問4で「1. ある」を選択した方におうかがいします。

どのような交流ですか。(〇はいくつでも)

1. イベントなどを共同で実施する	5. 団体運営や活動の課題について相談をする
2. 同じイベントに出店する	6. 活動場所を借りる
3. 講師になる・なってもらう	7. 協賛・寄附してもらう
4. 活動内容などを宣伝してもらう	8. その他 ()

問6 問4で「1. ある」を選択した方におうかがいします。

他団体と交流・連携したことで、どのようなよい効果を得られましたか。(〇はいくつでも)

1. 新しい知識やスキルを習得できた	6. モチベーションや活動意欲が向上した
2. 活動のヒントや改善点を見出せた	7. 人的ネットワークが拡大した
3. 会員やイベントの参加者数が増加した	8. 資源や設備の共有ができるようになった
4. 活動の幅が広がった	9. その他
5. 自分たちの活動を再認識することができた	()

問7 問4で「2. ない」を選択した方におうかがいします。

他団体と交流・連携したことがない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

1. 交流・連携の必要性を感じていない	5. 過去に試みたがうまくいかなかった
2. 交流・連携する機会やきっかけがない	6. 自らの独自性・独立性を保ちたい
3. どのように進めてよいかわからない	7. その他
4. 交流・連携する人手が足りない	()

問8 新型コロナウイルス感染症を契機に、貴団体の活動にどのような変化がありましたか。(〇はいくつでも)

1. 活動頻度が増加した	7. 活動頻度が減少した
2. 参加者数が増加した	8. 参加者数が減少した
3. 新たな交流・連携が生まれた	9. 新規会員獲得が難しくなった
4. 新たな視点での活動や取組が生まれた	10. 活動場所の確保が困難になった
5. オンラインでの活動が増えた	11. 団体の活動資金が減少した
6. オンラインでの情報発信が増えた	12. 新型コロナウイルス感染症の影響による変化は特にない
	13. その他 ()

問9 今後、活動を継続していく際の問題点はどのようなことですか。(〇はいくつでも)

1. 会員が減少している	8. 活動場所が安定していない
2. 会員が高齢化している	9. 活動成果を発表する場がない
3. 新規会員が増えない	10. 他団体との交流の場が少ない
4. 後継者(役員のなり手)が不足している	11. 相談できる相手がいない
5. 事務負担が大きい	12. 問題点はない
6. 活動資金が不足している	13. その他
7. 活動内容をPRする手段が少ない	()

問10 貴団体では、新しい会員の獲得について、どのようにお考えですか。(〇は1つ)

1. 積極的に増やしたい	2. 現状のままでよい
--------------	-------------

問11 今後、貴団体として行っていきたい地域活動について、あてはまるものをお選びください。(〇はいくつでも)

1. 小・中学校での活動	5. 区主催の講座での講師
2. 高齢者や子どもの施設でのボランティア活動	6. 地域に向けた活動は考えていない
3. 活動している施設のイベントへの参加・協力	7. その他
4. 地域の住民に向けた講座やイベントの実施	()

3 大田区の生涯学習施策・事業について

問12 大田区の生涯学習に関する情報誌などについて、ご存じのものはありますか。(〇は各1つ)

情報誌名など、概要	知っていて、 閲覧した ことがある	知っているが、 閲覧した ことはない	知らない
生涯学習ウェブサイト「おおたまなびの森」 講座・イベント情報などを集め、発信することで、みなさまの学習や活動のきっかけをつくるためのウェブサイトです。動画講座や社会教育関係団体の情報も掲載しています。	1	2	3
生涯学習情報誌「おおたまなびの森」 区内で行われている講座・講演・催し物などのほか、社会教育関係団体の活動内容も掲載しています。	1	2	3

問 13 大田区の団体向けの事業などについて、ご存じのものはありますか。(○は各1つ)

事業名、概要	知っていて、 参加した ことがある	知っているが、 参加した ことはない	知らない
<u>生涯学習相談会</u> 区内の様々な機関や団体が行う講座・イベント、活動などの 情報提供を行っています。また、学びや団体の運営に関する 相談も受付けています。	1	2	3
<u>区民プロデュース講座(旧:区民による区民のための連携講座)</u> 社会教育関係団体が講師になって、多様な学びの機会を提供 する講座です。	1	2	3
<u>大田区生涯学習ボランティア制度</u> 自身の知識・技術を地域に役立てたいと考える方のボランテ ィア登録を行います。	1	2	3

問 14 問 13 のいずれかで「2. 知っているが、参加したことはない」を選択した方におうかがいします。

どのような情報や環境があれば、生涯学習事業(講座など)に参加したいと思いますか。

(○はいくつでも)

1. 参加者の感想や体験談	6. はじめてでも参加しやすい雰囲気
2. 講座の内容や対象者がわかりやすい説明	7. 勤労者でも参加しやすい時間帯の設定
3. 学んだ成果の活用例	8. 子どもを預けることができる環境
4. 参加者同士の交流会	9. オンラインでの開催
5. SNS やメールでの講座情報の定期配信	10. その他 ()

問 15 大田区において、今後、生涯学習をもっと盛んにしていくために、どのような取組みを重視した方がよい
と思いますか。(○はいくつでも)

1. 生涯学習・団体に関する情報を広く発信する
2. 社会の変化や区民の求めに応じた学習機会を提供する
3. オンライン講座など、自宅で学べる機会を充実する
4. 学習、活動に関する相談に応じ、学習機会や団体の紹介を適切に行う
5. 同じ興味・関心を持つ仲間づくりができる機会を提供する
6. 活動の場を提供する
7. 学んだことを発表できる場を提供する
8. 地域での学びの展開を支援する
9. その他 ()

問 16 社会教育関係団体が活動するための施設には、どのような機能・スペースがあるとよいと思いますか。(○
はいくつでも)

1. 生涯学習に関する情報コーナー	8. 団体で使用する物品の保管スペース
2. 生涯学習に関する相談コーナー	9. 講座・イベントスペース
3. 自習用スペース	10. 発表スペース
4. 図書スペース	11. 学びや活動成果の展示スペース
5. 打合せスペース	12. 飲食が可能なスペース
6. 団体の活動用スペース	13. その他
7. 団体同士の交流スペース	()

問 17 社会教育関係団体が、生涯学習を進めていくためには、どのような情報が必要だと思えますか。(○はい
くつでも)

1. 区が実施する講座・イベントなどの情報	4. 地域のサークル・団体などの活動に関する情報
2. 都や近隣自治体が発する講座・イベントなどの情報	5. 講師や指導者などの人材情報
3. 区内・近郊の大学・専門学校などが実施する講座・ 講演会の情報	6. 施設に関する情報
	7. 団体の運営などの各種相談に関する情報
	8. その他 ()

御協力いただきまして、
誠にありがとうございました。

生涯学習に関する基礎調査報告書

令和8年2月発行

登録印刷物番号

—

編集・発行／大田区地域未来創造部地域力推進課

〒144-8621

東京都大田区蒲田5-13-14

電話：03-5744-1111（代表）